

あんしんスマホ

KY-51B

取扱説明書

はじめに

「KY-51B」をお買い上げいただきまして、誠にありがとうございます。
ご使用前やご利用中に、本書をお読みいただき、正しくお使いください。

取扱説明書について

「かんたん操作ガイド」(本体付属品)

本端末の代表的な機能の操作方法を説明した取扱説明書です。
説明に沿って操作することで、基本的な機能が使えるようになります。

「取扱説明書」アプリ (eトリセツ) (本端末のアプリ)

機能の詳しい案内や操作について説明しています。
フリーワード検索や表示中のページから設定画面やアプリを直接起動できるなど、本端末をより便利にお使いになります。

【ご利用方法】

ホーム画面で【取扱説明書】

※初めてご利用になる場合は、画面の指示に従って本アプリをダウンロードしてインストールする必要があります。

※「my daiz」から「取扱説明書」(eトリセツ) アプリを呼び出すこともできます。



Wi-Fiの
使いかた

「Wi-Fi」を説明書
アプリで調べます。



「取扱説明書」(PDFファイル)

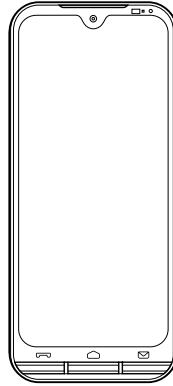
機能の詳しい案内や操作について説明しています。
ドコモのホームページでダウンロードできます。

お知らせ

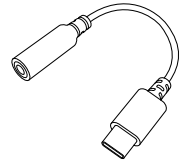
- 本書においては、「KY-51B」を「本端末」と表記しています。
- 本書は、お買い上げ時の内容を記載しています。
- 本端末は、品質改善や機能の追加のため、オペレーティングシステム (OS) のバージョンアップを行うことがあります。その際、操作方法が変更になったりすることがありますので、機能の追加や操作方法の変更などに関する情報は、ドコモのホームページをご覧ください。また、古いOSバージョンで使用していたアプリが使えなくなる場合や意図しない不具合が発生する場合があります。
- お客様のご契約内容により、ご利用になれないアプリやサービスがあります。詳しくは、ドコモのホームページをご覧ください。
- お客様のご契約内容により、ドコモへのお問い合わせ先が異なります。お問い合わせ先について詳しくは、裏表紙をご覧ください。
- 本書は端末カラーが「ピンクゴールド」、ホームアプリが「標準ホーム」の場合で説明しています。
- 本書の内容やホームページのURLに関して、将来予告なしに変更することがあります。

- 本書に記載している画面およびイラストはイメージです。実際の製品とは異なる場合があります。
- 本書の内容の一部または全部を無断転載することは禁止されています。

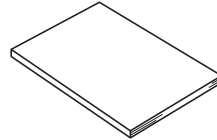
本体付属品



KY-51B本体



USB Type-C
3.5mmイヤホン変換
アダプタ (試供品)



かんたん操作ガイド

- 本端末に対応するオプション品 (別売) は、ドコモのオンラインショップでも確認、購入いただけます。
<https://onlineshop.smt.docomo.ne.jp/options/search.html>

Kyocera
Confidential

目次

取扱説明書について	H2
本端末のご利用について	3
おすすめ機能	3
安全上のご注意 (必ずお守りください)	4
取り扱い上のご注意	8
防水/防塵/耐衝撃性能	11

ご使用前の準備

各部の名称と機能	15
nanoUIMカード	16
microSDカード	17
充電	17
電源を入れる/切る	19
初期設定	19
本端末で利用する暗証番号について	20

基本操作

基本操作	21
文字入力	23
おしらせLED・ボタン	25
画面表示とアイコン	25
タスクマネージャー	27
スグアップ	27

ホーム画面

ホーム画面の見かた	29
アプリやフォルダなどを移動する	29
ホーム画面にフォルダを追加する	29
ホーム画面にウィジェットを追加する	29
壁紙を変更する	29
ナビゲーションポータルを利用する	29
ホーム画面の設定を行う	30
アプリ一覧	30

電話/電話帳

電話をかける	33
電話を受ける	34
通話中の操作	34
通話履歴	34
伝言メモ	35
通話設定	35
電話帳	36

メール/ウェブブラウザ

ドコモメール	38
+メッセージ	38
Gmail	40
緊急速報「エリアメール」	40
ウェブブラウザ	40

カメラ/ギャラリー

カメラ	42
-----	----

ギャラリー	43
-------	----

アプリ

dメニュー	44
dマーケット	44
Playストア	44
おサイフケータイ	44
ラジオ	46
位置情報サービスについて	46
時計/アラーム	46
カレンダー/スケジュール	47
メモ	48
音声レコーダー	48
電卓	48
ドコモデータコピー	48
歩数計	49
ライト	50
スマホの健康診断	50

本体設定

設定メニューを表示する	51
その他の設定メニューを表示する	51
プロフィール	51
ネットワークとインターネット	51
接続済みのデバイス	54
アプリと通知	54
電池	55
ディスプレイ	55
音とバイブレーション	55
ストレージ	56
プライバシー	56
位置情報	56
セキュリティ	56
ドコモのサービス/クラウド	58
アカウント	59
ユーザー補助	59
Digital Wellbeingと保護者による使用制限	60
Google	60
システム	60
デバイス情報	61

ファイル管理

ストレージ構成	62
ファイル操作	62

データ通信

Bluetooth®通信	63
NFC通信	64

外部機器接続

パソコンとの接続	65
----------	----

海外利用

国際ローミング (WORLD WING) の概要	66
海外で利用可能なサービス	66

海外でご利用になる前に	66
滞在先で電話をかける／受ける	67
国際ローミングの設定	68
帰国後の確認	68

付録

試供品	69
トラブルシューティング (FAQ)	69
ソフトウェアアップデート	71
保証とアフターサービス	72
あんしん遠隔サポート	73
主な仕様	74
認証および準拠	75
携帯電話機の比吸収率 (SAR) について	75
Specific Absorption Rate (SAR) Information of Mobile Phones	75
FCC Notice	76
輸出管理規制	76
知的財産権について	77
SIMロック解除	78
索引	79
マナーもいっしょに携帯しましょう	82
オンラインでのご利用料金・ご利用データ量・ご契約内容 の確認・各種手続きなど	82

Kyocera
Confidential

本端末のご利用について

- 本端末は、5G・LTE・W-CDMA・GSM/GPRS・無線LAN方式に対応しています。
- 本端末は無線を使用しているため、トンネル・地下・建物の中などで電波の届かない場所、屋外でも電波の弱い場所、5Gサービスエリア、LTEサービスエリアおよびFOMAサービスエリア外ではご使用になれません。また、高層ビル・マンションなどの高層階で見晴らしの良い場所であってもご使用になれない場合があります。なお、電波が強く電波状態アイコンの■が表示されている状態で、移動せずに使用している場合でも通話が切れる場合がありますので、ご了承ください。
- 本端末は電波を利用している関係上、第三者により通話を傍受されるケースもないとはいえません。しかし、5G・LTE・W-CDMA・GSM/GPRS方式では秘話機能をすべての通話について自動的にサポートしますので、第三者が受信機で傍受したとしても、ただの雑音としか聞き取れません。
- 本端末は、音声をデジタル信号に変換して無線による通信を行っていることから、電波状態の悪い場所へ移動するなど、送信されてきたデジタル信号を正確に復元できない場合には、実際の音声と異なって聞こえる場合があります。
- お客様ご自身で本端末に登録されたデータは、定期的にメモを取ったり、microSDカードやパソコンなどの外部記録媒体に保管してくださるようお願いいたします。本端末の故障や修理、機種変更やその他の取り扱いなどによって、万が一、登録されたデータが消失してしまうことがあっても、当社としては一切の責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- ご利用になるアプリやサイトなどの提供元および動作状況について十分にご確認の上ご利用ください。お客様がインストールを行うアプリやアクセスしたサイトなどによっては、本端末の動作が不安定になったり、お客様の位置情報や個人情報などがインターネットを経由して外部に発信され不正に利用されたりする可能性があります。
- 本端末は、データの同期や最新のソフトウェアバージョンをチェックするための通信、サーバーとの接続を維持するための通信など一部自動的に通信を行う仕様となっています。また、アプリのダウンロードや動画の視聴などデータ量の大きい通信を行うと、パケット通信料が高額になりますので、パケットバック/パケット定額サービスのご利用を強くおすすめします。
- お客様がご利用のアプリやサービスによっては、Wi-Fi通信中であってもパケット通信料が発生する場合があります。
- microSDカードや端末の空き容量が少ない場合、起動中のアプリが正常に動作しなくなることがあります。その場合は保存されているデータを削除してください。
- 紛失に備え画面ロックのパスワードなどを設定し、本端末のセキュリティを確保してください(→P.57)。
- 万が一紛失した場合は、Gmail、Google PlayなどのGoogleサービスやSNSなどを他の人に利用されないように、パソコンより各種サービスアカウントのパスワード変更や認証の無効化を行ってください。
- Google LLCが提供するアプリを含む第三者提供サービスおよびアプリのご利用にあたっては、Googleおよび各提供元が定める利用規約などをご確認ください。当該サービスおよびアプリに起因するすべての不具合について、当社としては一切の責任を負いかねます。
- 利用規約などが表示された場合は、画面の指示に従って操作してください。
- アプリおよびサービス内容は、将来予告なく変更される場合があります。
- ご利用の料金など詳しくは、ドコモのホームページをご覧ください。

- ディスプレイは、非常に高度な技術を駆使して作られていますが、一部に点灯しないドットや常時点灯するドットが存在する場合があります。これはディスプレイの特性であり故障ではありませんので、あらかじめご了承ください。
- 市販のオプション品については、当社では動作保証はいたしませんので、あらかじめご了承ください。

おすすめ機能

電話ボタン/メールボタン

電話の着信時やメールの受信時にボタンが光ってお知らせします。また、電話ボタン、メールボタンを押すことで、かんたんに電話、メールを起動することができます(→P.22)。

通話後録音

通話終了時に、直前の通話内容を音声データとして保存します。通話後に聞き直すことができます(→P.35)。

スマホ健康診断

「いつも通り使えない」など困った時に、診察ボタンを押すと自動で診断・解決してくれるアプリです(→P.50)。

歩数計

歩数をカウントするだけでなく、歩数に応じて「東海道五十三次」の名場面に自動で切り替わる壁紙にすることもできるアプリです(→P.49)。

使い方ナビ

日々の生活に役立つ機能の紹介など、便利な機能の使いかたを紹介するサイトへ接続することができます(→P.29)。

※通信料がかかります。

ナビゲーションポータル




歩数情報やデータ通信量などの端末情報や使い方ナビの情報を表示するアプリです。更新情報があると通知されるため、リアルタイムで情報を確認することができます(→P.29)。

機能の詳細については、京セラのホームページ (<https://www.kyocera.co.jp/prdct/telecom/consumer/lineup/ky-51b>) をご覧ください。

Kyocera
Confidential







安全上のご注意（必ずお守りください）

- ご使用前に、この「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しくお使いください。
- ここに示した注意事項は、お使いになる人や、他の人への危害、財産への損害を未然に防ぐための内容を記載していますので、必ずお守りください。
- 次の表示の区分は、表示内容を守らず、誤った使用をした場合に生じる危害や損害の程度を説明しています。

	この表示は、取り扱いを誤った場合、「死亡または重傷（※1）を負う危険が切迫して生じることが想定される」内容です。
	この表示は、取り扱いを誤った場合、「死亡または重傷（※1）を負う可能性が想定される」内容です。
	この表示は、取り扱いを誤った場合、「軽傷（※2）を負う可能性が想定される場合および物的損害（※3）の発生が想定される」内容です。











- ※1 重傷：失明・けが・やけど（高温・低温）・感電・骨折・中毒などで後遺症が残るもの、および治療に入院・長期の通院を要するものを指します。
- ※2 軽傷：治療に入院や長期の通院を要さない、けが・やけど（高温・低温）・感電などを指します。
- ※3 物的損害：家屋・家財および家畜・ペットなどにかかわる拡大損害を指します。

■ 次の絵表示の区分は、お守りいただく内容を説明しています。

	禁止（してはいけないこと）を示す記号です。
	分解してはいけないことを示す記号です。
	水がかかる場所で使用したり、水に濡らしたりしてはいけないことを示す記号です。
	濡れた手で扱ってはいけないことを示す記号です。
	指示に基づく行為の強制（必ず実行していただくこと）を示す記号です。
	電源プラグをコンセントから抜いていただくことを示す記号です。

1.本端末、アダプタ、nanoUIMカードの取り扱いについて（共通）

⚠危険

-  禁止
高温になる場所や熱のこもりやすい場所（火のそば、暖房器具のそば、こたつや布団の中、直射日光の当たる場所、炎天下の車内など）で使用、保管、放置しないでください。
火災、やけど、けが、感電などの原因となります。
-  禁止
電子レンジ、IH調理器などの加熱調理器、圧力釜などの高压容器に入れたり、近くに置いたりしないでください。
火災、やけど、けが、感電などの原因となります。
-  禁止
砂や土、泥をかけたり、直に置いたりしないでください。また、砂などが付着した手で触れないでください。
火災、やけど、けが、感電などの原因となります。防水/防塵性能については以下をご参照ください。
→P.11「防水/防塵/耐衝撃性能」
-  禁止
水などの液体（飲料水、汗、海水、ペットの尿など）で濡れた状態では、充電しないでください。また、風呂場などの水に触れる場所では、充電しないでください。
火災、やけど、けが、感電などの原因となります。防水性能については以下をご参照ください。
→P.11「防水/防塵/耐衝撃性能」
-  禁止
本端末に強い圧力を加えたり、折損させたりしないでください。特に衣類のポケットに入れて持ち運ぶ場合は、ぶついたり、物に挟んだりしないでください。
内蔵電池の破損により、火災、やけど、けがなどの原因となります。
※ご注意ください例
●ズボンやスカートのポケットに入れた状態で座ったり、しゃがんだりする
●上着のポケットに入れた状態で、扉や自動車のドアに挟む
●ソファやベッド、布団など柔らかい物の上や、床の上で踏みつける
●電車やバスなどの座席シートに挟み込む
-  禁止
本端末の内蔵電池を取り外そうとしないでください。
火災、やけど、けが、感電などの原因となります。
-  禁止
本端末の背面カバーは取り外せません。取り外そうとしないでください。
火災、やけど、けが
-  分解禁止
分解、改造をしない
火災、やけど、けが
-  水濡れ禁止
水などの液体（飲料水、汗、海水、ペットの尿など）で濡らさないでください。
火災、やけど、けが、感電などの原因となります。防水性能については以下をご参照ください。
→P.11「防水/防塵/耐衝撃性能」
-  水濡れ禁止
充電端子や外部接続端子に水などの液体（飲料水、汗、海水、ペットの尿など）を入れないでください。
火災、やけど、けが、感電などの原因となります。防水性能については以下をご参照ください。
→P.11「防水/防塵/耐衝撃性能」

Kyocera
Confidential



オプション品は、NTTドコモが指定したものを使用してください。
 指定以外のものを使用すると、火災、やけど、けが、感電などの原因となります。



落下させる、踏みつける、投げつけるなど強い力や衝撃、振動を与えないでください。
 火災、やけど、けが、感電などの原因となります。



充電端子や外部接続端子に導電性異物（金属片、鉛筆の芯など）を接触させたり、ほこりが内部に入ったりしないようにしてください。
 火災、やけど、けが、感電などの原因となります。



使用中や充電中に、布団などで覆ったり、包んだりしないでください。
 火災、やけどなどの原因となります。



水濡れ禁止

お手入れの際は、消毒液や水分が隙間、外部接続端子、受話口/スピーカー、送話口/マイク部に入らないようにしてください。
 本端末の破損により、けが、感電などの原因となります。



指示

所定の充電時間を超えても充電が完了しない場合は、充電を中止してください。
 過充電などにより、火災、やけど、けがなどの原因となります。



指示

可燃性ガスが発生する可能性のある場所や粉塵が発生する場所に立ち入る場合は必ず事前に本端末の電源を切り、充電をしている場合は中止してください。
 可燃性ガスなどへの引火により、爆発や火災などの原因となります。



指示

ガソリンスタンド構内などでの使用については、各施設の指示に従ってください。
 ガソリンスタンド構内などでは充電をしないでください。
 また、ガソリンスタンド構内などでご使用になる際は落下などに注意し、特に給油中は使用しないでください。
 可燃性ガスなどへの引火により、爆発や火災などの原因となります。



指示

使用中、充電中、保管中に、異臭、異音、発煙、発熱、変色、変形などの異常がみられた場合は安全に注意し、次の作業を行ってください。
 ●電源プラグをコンセントやアクセサリソケットから抜く。
 ●本端末の電源を切る。
 上記の作業を行わないと、火災、やけど、けが、感電などの原因となります。

警告



禁止

破損したまま使用しないでください。
 火災、やけど、けがなどの原因となります。



禁止

ぐらついた台の上や傾いた場所など、不安定な場所には置かないでください。パイプレタ設定中は特にご注意ください。
 落下して、けがなどの原因となります。



禁止

湿気やほこりの多い場所や高温になる場所での使用、保管はしないでください。
 火災、やけど、感電などの原因となります。
 防水・防塵性能については以下をご参照ください。
 →P.11「防水/防塵/耐衝撃性能」



禁止

子供が使用する場合は、保護者が取り扱いの方法を教え、誤った使いかたをさせないでください。
 誤飲、けが、感電などの原因となります。



禁止

乳幼児の手の届く場所に置かないでください。
 nanoUIMカード/microSDカード/トレイなどの小さい部品の保管場所には特にご注意ください。
 誤飲、けが、感電などの原因となります。



指示

本端末を継続してご使用になる場合や充電中は温度が高くなることがありますのでご注意ください。また、衣類のポケットに入れたり、眠ってしまったりするなどして、意図せず継続して触れることがないようにご注意ください。
 アプリ、通話、データ通信、動画視聴など、長時間の使用や充電中は、本端末やアダプタの温度が高くなることがあります。温度の高い部分に直接長時間触れるとお客様の体質や体調によっては肌の赤みやかゆみ、かぶれ、低温やけどなどの原因となります。

2.本端末の取り扱いについて

危険



禁止

火の中に投入したり、熱を加えたりしないでください。
 火災、やけど、けがなどの原因となります。



禁止

鋭利なもの（釘など）を刺したり、硬いもの（ハンマーなど）で叩いたり、踏みつけたりするなど過度な力を加えないでください。
 火災、やけど、けがなどの原因となります。



指示

本端末内部の物質が目や口などに入った場合は、すぐにきれいな水で洗った後、直ちに医師の診療を受けてください。
 本端末内部の物質などの影響により、失明や体調不良などの原因となります。

警告



禁止

撮影ライト/ライトの発光部を人の目に近づけて点灯、発光させないでください。特に、乳幼児に対しては十分に距離を離してください。
 視力障害などの原因となります。また、目がくらんだり驚いたりしてけがなどの事故の原因となります。



禁止

自動車などの運転者に向けて撮影ライト/ライトを点灯、発光しないでください。
 運転の妨げとなり、事故などの原因となります。



禁止

点滅を繰り返す画面を長時間見ないでください。
 けいれんや意識喪失などの原因となります。



禁止

本端末内のnanoUIMカード/microSDカードスロットに水などの液体（飲料水、汗、海水、ペットの尿など）や金属片（カッターの刃やホチキスの針など）、燃えやすいものなどの異物を入れないでください。
 また、nanoUIMカードやmicroSDカードの挿入場所や向きを間違えないでください。
 火災、やけど、けが、感電などの原因となります。



禁止

カメラのレンズに直射日光などを長時間当てないでください。
 レンズの集光作用により、**Kyocera Confidential** 因となります。



航空機へのご搭乗にあたり、本端末の電源を切るか、機内モードに設定してください。

指示

航空機内での使用については制限があるため、各航空会社の指示に従ってください。
電波により航空機の電子機器に悪影響を及ぼす原因となります。
なお、航空機内での使用において禁止行為をした場合、法令により罰せられることがあります。



指示

病院での使用については、各医療機関の指示に従ってください。

使用を禁止されている場所では、本端末の電源を切ってください。
電波により電子機器や医用電気機器に悪影響を及ぼす原因となります。



指示

ハンズフリーに設定して通話するときや、大きな音で着信音が鳴っているとき、待ち受け中などは、必ず本端末を耳から離してください。

また、イヤホンマイクなどを本端末に装着し、ゲームや動画・音楽再生などをする場合は、適度なボリュームに調節してください。

ハンズフリーに設定して通話すると、本端末から大きな音が出ます。

待ち受け中であっても、突然の着信音やアラーム音が鳴動する場合があります。

大きな音を長時間連続して聞くと、難聴など耳への障害の原因となります。
また、音量が大きすぎると周囲の音が聞こえにくく、事故の原因となります。



指示

心臓の弱い方は、着信バイブレータ（振動）や着信音量の設定に注意してください。

突然の着信バイブレータ（振動）や着信音の鳴動に驚き、心臓に悪影響を及ぼす原因となります。



指示

医用電気機器などを装着している場合は、医用電気機器メーカーもしくは販売業者に、電波による影響についてご確認の上ご使用ください。

電波により医用電気機器などに悪影響を及ぼす原因となります。



指示

高精度な制御や微弱な信号を取り扱う電子機器の近くでは、本端末の電源を切ってください。

電波により電子機器が誤動作するなどの悪影響を及ぼす原因となります。

※ご注意いただきたい電子機器の例
補聴器、植込み型心臓ペースメーカーおよび植込み型除細動器、その他の医用電気機器、その他の自動制御機器など。植込み型心臓ペースメーカーおよび植込み型除細動器、その他の医用電気機器をご使用になる方は、各医用電気機器メーカーもしくは販売業者に電波による影響についてご確認ください。



指示

ディスプレイ部やカメラのレンズなどのガラスを破損した際には、割れたガラスや露出した本端末の内部にご注意ください。

破損部や露出部に触れると、やけど、けが、感電などの原因となります。



指示

内蔵電池内部の物質が漏れたり、異臭がしたりするときは、直ちに使用をやめて火気から遠ざけてください。

漏液した液体に引火し、発火、破裂などの原因となります。



指示

ペットなどが本端末に噛みつかないようにご注意ください。

内蔵電池の破損により、火災、やけど、けがなどの原因となります。

⚠️ 注意



禁止

ストラップなどを持って本端末を振り回さないでください。

けがなどの事故の原因となります。



禁止

モーションセンサーのご利用にあたっては、必ず周囲の安全を確認し、本端末をしっかり握り、必要以上に振り回さないでください。

けがなどの事故の原因となります。



禁止

ディスプレイを破損し、内部の物質が漏れた場合は、顔や手などの皮膚や衣類などにつけないでください。

目や皮膚への傷害などを起こす原因となります。

内部の物質が目や口などに入った場合や、皮膚や衣類に付着した場合は、すぐにきれいな水で洗い流してください。

また、目や口などに入った場合は、洗浄後直ちに医師の診療を受けてください。



禁止

一般のゴミと一緒に捨てないでください。

火災、やけど、けがなどの原因となります。また、環境破壊の原因となります。不要となった本端末は、ドコモショップなど窓口にお持ちいただくか、回収を行っている市区町村の指示に従ってください。



禁止

内蔵電池内部の物質が漏れた場合は、顔や手などの皮膚や衣類などにつけないでください。

目や皮膚への傷害などを起こす原因となります。

内部の物質が目や口などに入った場合や、皮膚や衣類に付着した場合は、すぐにきれいな水で洗い流してください。

また、目や口などに入った場合は、洗浄後直ちに医師の診療を受けてください。



指示

自動車内で使用する場合、自動車メーカーもしくは販売業者に、電波による影響についてご確認の上ご使用ください。

車種によっては、電波により車載電子機器に悪影響を及ぼす原因となりますので、その場合は直ちに使用を中止してください。



指示

本端末の使用により、皮膚に異状が生じた場合は、直ちに使用をやめ、医師の診療を受けてください。

お客様の体質や体調によっては、かゆみ、かぶれ、湿疹などが生じることがあります。

各箇所の材質については以下をご参照ください。

→P.8 「材質一覧」



指示

本端末の受話口／スピーカ部に磁気を発生する部品を使用しているため、金属片（カッターの刃やホチキスの針など）が付着していないことを確認してください。

付着物により、けがなどの原因となります。



指示

ディスプレイを見る際は、十分明るい場所で、ある程度の距離をとってください。

暗い場所や近くで見ると視力低下などの原因となります。

3.アダプタの取り扱いについて

⚠️ 警告



禁止

アダプタのコードを噛みつかないでください。

火災、やけど、感電

Kyocera
Confidential



禁止

DCアダプタはマイナスアース車専用です。プラスアース車には使用しないでください。
火災、やけど、感電などの原因となります。



禁止

雷が鳴り出したら、アダプタには触れないでください。
感電などの原因となります。



禁止

コンセントやアクセサリソケットにつないだ状態で充電端子をショートさせないでください。また、充電端子に手や指など、体の一部を触れさせないでください。
火災、やけど、感電などの原因となります。



禁止

アダプタのコードの上に重いものをのせたり、引っ張るなど無理な力を加えたりしないでください。
火災、やけど、感電などの原因となります。



禁止

コンセントにACアダプタを抜き差しするときは、金属製ストラップなどの金属類を接触させないでください。
火災、やけど、感電などの原因となります。



禁止

ACアダプタに変圧器（海外旅行用のトラベルコンバーターなど）を使用しないでください。
発火、発熱、感電などの原因となります。



禁止

本端末にアダプタを接続した状態で、接続部に無理な力を加えないでください。
火災、やけど、けが、感電などの原因となります。



水濡れ禁止

濡れた手でアダプタのコードや充電端子、電源プラグに触れないでください。
火災、やけど、感電などの原因となります。



指示

指定の電源、電圧で使用してください。
また、海外で充電する場合は、海外で使用可能なACアダプタで充電してください。
誤った電源、電圧で使用すると火災、やけど、感電などの原因となります。
ACアダプタ：AC100V（家庭用交流コンセントのみに接続すること）
海外で使用可能なACアダプタ：AC100V～240V（家庭用交流コンセントのみに接続すること）
DCアダプタ：DC12V・24V（マイナスアース車専用）



指示

DCアダプタのヒューズを交換する場合は、必ず指定のヒューズを使用してください。
指定以外のヒューズを使用すると、火災、やけど、感電などの原因となります。指定のヒューズに関しては、個別の取扱説明書をご確認ください。



指示

電源プラグについたほこりは、拭き取ってください。
ほこりが付着した状態で使用すると、火災、やけど、感電などの原因となります。



指示

アダプタをコンセントやアクセサリソケットに差し込むときは、確実に差し込んでください。
確実に差し込まないと、火災、やけど、感電などの原因となります。



指示

電源プラグをコンセントやアクセサリソケットから抜く場合は、アダプタのコードを引っ張るなど無理な力を加えず、アダプタを持って抜いてください。
アダプタのコードを引っ張るとコードが傷つき、火災、やけど、感電などの原因となります。



指示

本端末にアダプタを抜き差しする場合は、コードを引っ張るなど無理な力を加えず、接続する端子に対してまっすぐ抜き差ししてください。
正しく抜き差ししないと、火災、やけど、けが、感電などの原因となります。



指示

充電端子が曲がるなど変形した場合は、直ちに使用をやめてください。また、変形を元に戻しての使用もやめてください。

充電端子のショートにより、火災、やけど、けが、感電などの原因となります。



電源プラグを抜く

使用しない場合は、電源プラグをコンセントやアクセサリソケットから抜いてください。
電源プラグを差したまま放置すると、火災、やけど、感電などの原因となります。



電源プラグを抜く

水などの液体（飲料水、汗、海水、ペットの尿など）が付着した場合は、直ちに電源プラグをコンセントやアクセサリソケットから抜いてください。
付着物などによるショートにより、火災、やけど、感電などの原因となります。



電源プラグを抜く

お手入れの際は、電源プラグをコンセントやアクセサリソケットから抜いて行ってください。
抜かずに行くと、火災、やけど、感電などの原因となります。

⚠️ 注意



禁止

コンセントやアクセサリソケットにつないだ状態でアダプタに継続して触れないでください。
やけどなどの原因となります。

4. nanoUIMカードの取り扱いについて

⚠️ 注意



指示

nanoUIMカードを取り扱う際は指などの体の一部を傷つけないよう、切断面にご注意ください。
切断面が鋭利になっている場合があり、けがなどの原因となります。

5. USB Type-C 3.5mmイヤホン変換アダプタ（試供品）の取り扱いについて

⚠️ 警告



禁止

雷が鳴り出したら、3.5mmイヤホン変換アダプタには触れないでください。
感電などの原因となります。落下させる、踏みつける、投げつけるなど強い力や衝撃、振動を与えないでください。



禁止

3.5mmイヤホン変換アダプタの上に重いものをのせたり、引っ張るなど無理な力を加えたりしないでください。
火災、やけど、感電などの原因となります。



禁止

本端末に3.5mmイヤホン変換アダプタを抜き差しするときは、金属類を接触させないでください。
火災、やけど、感電などの原因となります。



禁止

3.5mmイヤホン変換アダプタは防水/防塵性能を有しておりません。湿気やほこりの多い場所や高温になる場所での使用、保管はしないでください。
火災、やけど、感電などの原因となります。



水濡れ禁止

濡れた手で3.5mmイヤホン変換アダプタに触れないでください。
火災、やけど、感電などの原因となります。

Kyocera
Confidential



指示

使用中、保管中に、異臭、異音、発煙、発熱、変色、変形などの異常がみられた場合は次の作業を行ってください。

- 3.5mmイヤホン変換アダプタを本端末から抜く。

上記の作業を行わないと、火災、やけど、けが、感電などの原因となります。



指示

3.5mmイヤホン変換アダプタを本端末から抜く場合は、コードを引っ張るなど無理な力を加えず、プラグを持って抜いてください。

コードを引っ張るとコードが傷つき、火災、やけど、感電などの原因となります。

6. 医用電気機器近くでの取り扱いについて

警告



指示

植込み型心臓ペースメーカーおよび植込み型除細動器などの医用電気機器を装着されている場合は、装着部から本端末を15cm以上離して携行および使用してください。

電波により医用電気機器の作動に悪影響を及ぼす原因となります。



指示

自宅療養などにより医療機関の外で、植込み型心臓ペースメーカーおよび植込み型除細動器以外の医用電気機器をご使用になる場合には、電波による影響について個別に医用電気機器メーカーなどにご確認ください。

電波により医用電気機器の作動に悪影響を及ぼす原因となります。



指示

身動きが自由に取れないなど、周囲の方と15cm未満に近づくおそれがある場合には、事前に本端末を電波の出ない状態に切り替えてください（機内モードまたは電源オフなど）。

付近に植込み型心臓ペースメーカーおよび植込み型除細動器などの医用電気機器を装着している方がいる可能性があります。電波により医用電気機器の作動に悪影響を及ぼす原因となります。



指示

医療機関内における本端末の使用については、各医療機関の指示に従ってください。

電波により医用電気機器の作動に悪影響を及ぼす原因となります。

7. 材質一覧

■ 本体

使用箇所	使用材質	表面処理
外装ケース（ディスプレイ側）	PC+GF樹脂	アクリル系UV硬化塗装
外装ケース（側面、底面部、背面側、電話ボタン、ホームボタン、メールボタン、nanoSIM/microSDカバー）	PC樹脂	アクリル系UV硬化塗装
ディスプレイ、アウトカメラ（レンズ部）	化学強化ガラス	防汚コーティング
音量上/下ボタン、ダイレクトボタン、カメラパネル	アルミ合金	アルマイト
モバイルライト	PMMA樹脂	—

使用箇所	使用材質	表面処理
指紋センサー	エポキシ樹脂	ウレタン系塗装
nanoSIM/microSD カバー（パッキン）	シリコンゴム	—
nanoSIM/microSD カードトレイ（本体）	POM樹脂	—
受話口/スピーカー	ポリエステル	撥水加工
USB Type-C接続端子	PA樹脂	—

■ USB Type-C 3.5mmイヤホン変換アダプタ（試供品）

使用箇所	使用材質	表面処理
ケーブル	エラストマー樹脂	—
microUSB プラグ部	エラストマー樹脂 SUS	Niメッキ
イヤホン端子（丸型）部	エラストマー樹脂 銅合金	Niメッキ

取り扱い上のご注意

共通のお願い

- KY-51Bは防水/防塵性能を有しておりますが、本端末内部に水などの液体（飲料水、汗、海水、ベットの尿など）や粉塵などの異物を入れたり、付属品、オプション品にこれらが付着させたりしないでください。
アダプタ、nanoUIMカードは防水/防塵性能を有していません。風呂場などの湿気の多い場所や雨などがかかる場所でのご使用はおやめください。また身に付けている場合、汗による湿気により内部が腐食し故障の原因となります。調査の結果、これらの水濡れによる故障と判明した場合、保証対象外となります。修理につきましては、「保証とアフターサービス」(→P.72)をご確認ください。
- 端子や指紋センサーなどは時々清掃し、きれいな状態で使用してください。
端子などが汚れた状態で使用すると、正常にご利用いただけない場合があります。
また、清掃する際には端子などの破損に十分ご注意ください。
- エアコンの吹き出し口の近くに置かないでください。
急激な温度の変化により結露し、内部が腐食し故障の原因となります。
- 本端末に無理な力がかからないように使用してください。
多くのものが詰まった荷物の中に入れたり、衣類のポケットに入れて座ったりするとディスプレイ、内部基板、内蔵電池などの故障、破損の原因となります。
また、外部接続機器を外部接続端子に差した状態の場合、故障、破損の原因となります。
- オプション品は、NTTドコモが指定したものを使用してください。
指定以外のものを使用すると、故障、破損の原因となります。
- 対応の各オプション品に添付されている個別の取扱説明書をよくお読みください。
- 落としたり、衝撃を与えたりしないでください。
故障、破損の原因となります。

本端末についてのごお願い

- お手入れは乾いた柔らかい布（めがね拭きなど）で拭いてください。
・強く擦ると、ディスプレイに傷がつく場合があります。
・ディスプレイに水滴や汚れなどが付着したまま放置すると、シミになることがあります。
・シンナー、ベンジン、洗剤などで拭くと、印刷が消えたり、色があせたりします。

Kyocera
Confidential

注意事項

- ・柔らかい布に泡ハンドソープやイソプロピルアルコール、エタノール、次亜塩素酸ナトリウムを付けて拭くことができます（→P.13）。

※イソプロピルアルコール、エタノール、次亜塩素酸ナトリウムに浸したり、直接吹きかけると故障の原因になります。必ず柔らかい布に付けて拭くようにしてください。

- 本端末はアルコール除菌シート・アルコールを少量含ませた布（布が湿る程度）で拭き取りをすることができます。耐薬品機能のチェックのため、一般的なアルコール除菌シートに使用される下記の薬品を布に含ませ、拭き取り試験を実施しています。

(1) イソプロピルアルコール、(2) エタノール、(3) 次亜塩素酸ナトリウム

アルコール除菌シートでの拭き取りを想定した試験において、著しい変色・退色のないことを確認しています。ただし、製品の有する性能は試験環境下での確認であり、すべての変色や変形しないことを保証するものではありません。

- ディスプレイを強く押ししたり、先の尖ったもので操作したりしないでください。

傷つくことがあり、故障、破損の原因となります。

- 極端な高温、低温は避けてください。
温度は5℃～35℃、湿度は35%～85%の範囲でご使用ください。

- 家庭用電子機器（テレビ・ラジオなど）をお使いになっている近くで使用すると、悪影響を及ぼす原因となりますので、なるべく離れた場所でご使用ください。

- お客様ご自身で本端末に登録されたデータは、microSDカード、パソコン、クラウドなどにバックアップ、別にメモを取るなどして保管してください。

万一が登録されたデータが消失してしまうことがあっても、当社としては責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

- 外部接続端子に外部接続機器を接続する際に斜めに差したり、差した状態で引っ張ったりしないでください。

故障、破損の原因となります。

- 使用中や充電中に本端末が温かくなることがありますが、異常ではありません。そのままご使用ください。

- カメラのレンズを直射日光の当たる場所に放置しないでください。

素子の退色・焼付きを起こす場合があります。

- 通常はnanoUIMカード／microSDカードトレイを閉じた状態でご使用ください。

水などの液体（飲料水、汗、海水、ペットの尿など）や粉塵などの異物が入り故障の原因となります。

- 指紋センサーに強い衝撃を与えたり、表面に傷をつけたりしないでください。

指紋センサーの故障の原因となるだけでなく、認証操作ができなくなる場合があります。

- microSDカードの使用中は、microSDカードを取り外したり、本端末の電源を切ったりしないでください。

データの消失、故障の原因となります。

- 磁気カードや磁気を帯びたものを本端末に近づけないでください。

キャッシュカード、クレジットカード、交通系ICカードなどのデータが消えてしまうことがあります。

また、強い磁気を近づけると本端末の誤動作の原因となります。

- 本端末をフィルムやシールで装飾しないでください。

近接センサーを使用する各種機能が正常に動作しない場合があります。

近接センサーの位置は、以下をご参照ください。

→P.15「各部の名称と機能」

- 内蔵電池は消耗品のため、保証対象外です。

内蔵電池の使用条件により、寿命が近づくとつれて内蔵電池

が膨れる場合があります。

十分に充電しても使用時間が極端に短くなったときや、内蔵電池が膨らんでいるときは内蔵電池の交換時期です。内蔵電池の交換につきましては、端末をお預かりして有料で承ります。修理受付での対応となりますので「保証とアフターサービス」（→P.72）をご確認ください。

- 充電は、適正な周囲温度（5℃～35℃）の場所で行ってください。

- 内蔵電池の使用時間は、使用環境や内蔵電池の劣化度により異なります。

- 本端末を保管される場合は、内蔵電池の性能や寿命を低下させる原因となるため、下記のような状態で保管しないでください。

- ・フル充電状態（充電完了後すぐの状態）での保管
- ・電池残量なしの状態（本端末の電源が入らない程消費している状態）での保管

なお、保管に適した電池残量の目安は40パーセント程度です。

- 本端末の内蔵電池の種類は次のとおりです。

表示	電池の種類
Li-ion 00	リチウムイオン電池

アダプタについてのご願い

- 充電は、適正な周囲温度（5℃～35℃）の場所で行ってください。

- 次のような場所では、充電しないでください。

- ・湿気、ほこり、振動の多い場所

- ・家庭用電子機器（テレビ・ラジオなど）の近く

- 充電中にアダプタが温かくなることがありますが、異常ではありません。そのままご使用ください。

- DCアダプタを使用して充電する場合は、自動車のエンジンを切ったまま使用しないでください。

自動車のバッテリーを消費させる原因となります。

- 抜け防止機構のあるコンセントをご使用の場合、そのコンセントの取扱説明書に従ってください。

- 強い衝撃を与えないでください。また、充電端子を変形させないでください。

故障の原因となります。

nanoUIMカードについてのご願い

- nanoUIMカードの取り付け／取り外しには、必要以上に力を入れないでください。

- 他のICカードリーダー／ライターなどにnanoUIMカードを挿入して使用した結果として故障した場合は、お客様の責任となりますので、ご注意ください。

- IC部分は時々清掃し、きれいな状態で使用してください。

IC部分が汚れた状態で使用すると、正常にご利用いただけない場合があります。

- お手入れは、乾いた柔らかい布（めがね拭きなど）で拭いてください。

- お客様ご自身で、nanoUIMカードに登録されたデータは、microSDカード、パソコン、クラウドなどにバックアップ、別にメモを取るなどして保管してください。

万一が登録されたデータが消失してしまうことがあっても、当社としては責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

- 環境保全のため、不要になったnanoUIMカードはドコモ

ショップなど窓口にお持ちください。

- ICを傷つけたり、不用意に触れたり、ショートさせたりしないでください。

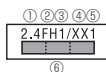
データの消失、故障の原因となります。

Kyocera
Confidential

- nanoUIMカードを落としたり、衝撃を与えたりしないでください。
故障の原因となります。
- nanoUIMカードを曲げたり、重いものをのせたりしないでください。
故障の原因となります。
- nanoUIMカードにラベルやシールなどを貼った状態で、本端末に取り付けしないでください。
故障の原因となります。

Bluetooth®機能を利用する場合のお願い

- 本端末は、Bluetooth機能を利用した通信時のセキュリティとして、Bluetooth標準規格に準拠したセキュリティ機能に対応しておりますが、設定内容などによってセキュリティが十分でない場合があります。Bluetooth機能を利用した通信を行う際にはご注意ください。
- Bluetooth機能を利用した通信時にデータや情報の漏洩が発生しても、責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- 周波数帯について
本端末のBluetooth機能が利用する周波数帯は、ホーム画面で「設定」▶「その他」▶「認証情報」で確認できます。ラベルの見かたは次のとおりです。



- ① 2.4 : 2400MHz帯を利用する無線設備を表します。
- ② FH : 変調方式がFH-SS方式であることを示します。
- ③ 1 : 想定される干渉距離が10m以下であることを示します。
- ④ XX : 変調方式がその他の方式であることを示します。
- ⑤ 1 : 想定される干渉距離が10m以下であることを示します。
- ⑥ ■■■■ : 2400MHz~2483.5MHzの全帯域を利用し、かつ移動体識別装置の帯域を回避不可であることを意味します。

一部の国/地域ではBluetooth機能の使用が制限されることがあります。海外でご利用になる場合は、その国/地域の法規制などの条件をご確認ください。
航空機内での利用は、事前に各航空会社へご確認ください。

Bluetooth機器使用上の注意事項

- 本端末の利用周波数帯では、電子レンジなどの家電製品や産業・科学・医療用機器のほか、工場の製造ラインなどで利用される免許を要する移動体識別用構内無線局、免許を要しない特定小電力無線局、アマチュア無線局など（以下「他の無線局」と略します）が運用されています。
1. 本端末を使用する前に、近くで「他の無線局」が運用されていないことを確認してください。
 2. 万が一、本端末と「他の無線局」との間に電波干渉が発生した場合には、速やかに利用場所を変えるか、「電源を切る」など電波干渉を避けてください。
 3. その他、ご不明な点につきましては、裏表紙のお問い合わせ先までお問い合わせください。

無線LAN (WLAN) についてのごお願い

- 無線LAN (WLAN) は、電波を利用して情報のやり取りを行うため、電波の届く範囲であれば自由にLAN接続できる利点があります。その反面、セキュリティの設定を行っていないときは、悪意ある第三者に通信内容を盗み見られたり、不正に侵入されたりする可能性があります。お客様の判断と責任において、セキュリティの設定を行い、利用することを推奨します。
- 無線LAN機能を利用した通信時にデータや情報の漏洩が発生しましても、責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- 無線LANについて
電気製品・AV・OA機器などの磁気を帯びているところや電磁波が発生しているところで利用しないでください。
磁気や電気雑音の影響を受けると雑音が大きくなったり、通信ができなくなったりすることがあります（特に電子レンジ利用時には影響を受けることがあります）。
テレビ、ラジオなどに近いと受信障害の原因となったり、テレビ画面が乱れたりすることがあります。
近くに複数の無線LANアクセスポイントが存在し、同じチャネルを利用していると、正しく検索できない場合があります。
- 周波数帯について
本端末の無線LAN機能が利用する周波数帯は、ホーム画面で「設定」▶「その他」▶「認証情報」で確認できます。ラベルの見かたは次のとおりです。



- ① 2.4 : 2400MHz帯を利用する無線設備を表します。
- ② DS : 変調方式がDS-SS方式であることを示します。
- ③ 4 : 想定される干渉距離が40m以下であることを示します。
- ④ OF : 変調方式がOFDM方式であることを示します。
- ⑤ 4 : 想定される干渉距離が40m以下であることを示します。
- ⑥ ■■■■ : 2400MHz~2483.5MHzの全帯域を利用し、かつ移動体識別装置の帯域を回避可能であることを意味します。

利用可能なチャネルは国により異なります。
航空機内での利用は、事前に各航空会社へご確認ください。

2.4GHz機器使用上の注意事項

- WLAN搭載機器の使用周波数帯では、電子レンジなどの家電製品や産業・科学・医療用機器のほか工場の製造ラインなどで使用されている移動体識別用の構内無線局（免許を要する無線局）および特定小電力無線局（免許を要しない無線局）ならびにアマチュア無線局（免許を要する無線局）が運用されています。
1. この機器を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局および特定小電力無線局ならびにアマチュア無線局が運用されていないことを確認してください。
 2. 万が一、この機器から移動体識別用の構内無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合には、速やかに使用周波数を変更するかご利用を中断していただいた上で、裏表紙のお問い合わせ先までお問い合わせいただき、混信回避のための処置など（例えば、パーティションの設置など）についてご相談ください。
 3. その他、この機器から移動体識別用の特定小電力無線局あるいはアマチュア無線局に対して電波干渉の事例が発生した場合など何かお困りのことが起きたときは、裏表紙のお問い合わせ先までお問い合わせください。

Kyocera
Confidential

● 5GHz機器使用上の注意事項

5.2/5.3GHz帯無線LANの屋外利用は法律で禁止されています(5.2GHz帯高出力データ通信システムのアクセスポイント/中継局と通信する場合を除く)。

本端末が使用するチャンネルは次の通りです。

- W52 (5.2GHz帯/36,40,44,48ch)
- W53 (5.3GHz帯/52,56,60,64ch)
- W56 (5.6GHz帯/100,104,108,112,116,120,124,128,132,136,140,144ch)

FeliCaおよびNFCリーダー／ライターについてのお願い

- 本端末のFeliCaおよびNFCリーダー／ライター機能は、無線局の免許を要しない微弱電波を利用しています。
- 使用周波数は13.56MHz帯です。周囲で他のFeliCaおよびNFCリーダー／ライター機能をご利用の場合、十分に離してお使いください。また、他の同一周波数帯を利用の無線局が近くにないことを確認してお使いください。
- 航空機内利用は、事前に各航空会社へご確認ください。ご利用の国によっては利用が制限されている場合があります。その国／地域の法規制などの条件を確認の上、ご利用ください。

注意

- 改造された本端末は絶対に使用しないでください。改造した機器を使用した場合は電波法／電気通信事業法に抵触します。本端末は、電波法に基づく特定無線設備の技術基準適合証明等に関する規則、および電気通信事業法に基づく端末機器の技術基準適合認定等に関する規則を順守しており、その証として「技術マーク」が本端末の電子銘板に表示されています。電子銘板は、本端末で次の手順でご確認いただけます。
ホーム画面で [設定] ▶ [その他] ▶ [認証情報]
本端末のネジを外して内部の改造を行った場合、技術基準適合証明などが無効となります。技術基準適合証明などが無効となった状態で使用すると、電波法および電気通信事業法に抵触しますので、絶対に使用されないようお願いいたします。
- 自動車などを運転中の使用にはご注意ください。法令で定める場合を除き、運転中に本端末の画面を注視したり、手で持つて通話することは、罰則の対象となります。
- 本端末のFeliCaおよびNFCリーダー／ライター機能は日本国内での無線規格に準拠しています。海外でご利用になる場合は、その国／地域の法規制などの条件をあらかじめご確認ください。
- 基本ソフトウェアを不正に変更しないでください。ソフトウェアの改造とみなし故障修理をお断りする場合があります。

防水／防塵／耐衝撃性能

KY-51Bは、nanoUIMカード／microSDカードトレイをしっかり閉じた状態でIPX5相当※1、IPX8相当※2の防水性能、IP6X相当※3の防塵性能を有しています。また、MIL規格準拠※4の耐衝撃性能を実現しております(当社試験方法による)。

※1 IPX5相当とは、内径6.3mmのノズルを用いて、約3mの距離から約12.5リットル/分の水を3分以上注水する条件下、あらゆる方向からのノズルによる噴流水によっても、電話機としての性能を保つことです。

※2 IPX8相当とは、常温で水道水、かつ静水の水深1.5mの水槽に静かに本製品を沈めた状態で約30分間、水底に放

置しても本体内部に浸水せず、電話機としての性能を保つことです。

※3 IP6X相当とは、防塵試験用粉塵(直径75μm以下)が入った装置に、電話機を8時間入れても内部に侵入しない機能を有することを意味します。

※4 MIL規格準拠

米国防務省が制定したMIL-STD-810H

Method516.8:Shock-Procedure IVに準拠した規格において、高さ1.22mから銅板に製品を26方向で落下させる試験を実施しています。

※日常生活における使用での耐衝撃性を想定していますので、投げつけたり、無理な落としかたをするなど、過度な衝撃を与えた場合は壊れる可能性がありますのでご注意ください。また、本体の性能に異常がなくても落下衝撃にて傷などが発生します。

● すべての状況での動作を保証するものではありません。お客様の取り扱いの不備による故障と認められた場合は、保証の対象外となります。

KY-51Bが有する防水／防塵性能でできること

- 雨の中で傘をささずに通話ができます(1時間の雨量が20mm程度)。
- 汚れを洗い流すことができます。洗うときは、やや弱めの水流(6リットル/分以下、常温(5℃～35℃)の水道水)で蛇口やシャワーから約10cm離して洗います。nanoUIMカード/microSDカードトレイを取り付けた状態で、ブラシやスポンジなどは使用せず手で洗ってください。洗ったあとは、水抜きをしてから使用してください(→P.13)。
- プールサイドで使用できます。ただし、プールの水をかけたり、プールの水に浸けたりしないでください。

ご使用にあたっての注意事項

- nanoUIMカード/microSDカードトレイをしっかり閉じてください。完全に閉まっていることで防水性能が発揮されます。
- 手や本端末が濡れている状態でのnanoUIMカード/microSDカードトレイの開閉は絶対にしないでください。
- 水道水以外の液体(アルコール、海水、プールの水、温泉の湯、石けん、洗剤、入浴剤の入った水、ジュース、アルコール飲料、調味料など)に浸けたり、かけたりしないでください。また、ペットの尿がかかる場所での使用はしないでください。かかった場合には、速やかに水道水で洗い流してください。
- 砂浜などの上に直に置かないでください。送話口/マイク、受話口/スピーカーなどに砂などが入り音が小さくなったり、本体内部に砂などが混入したりすると発熱や故障の原因となります。
- 水中で使用しないでください。
- お風呂、台所など、湿気の多い場所での長時間の使用、保管はしないでください。
- 水抜き後も、水分が残っている場合があります。ご使用にはさしつかえありませんが、濡れては困るもののそばには置かないでください。また、服やかばんの中などを濡らすおそれがありますのでご注意ください。
- 送話口/マイク、受話口/スピーカーなどに水がたまり、一時的に音が聞こえにくくなった場合は水抜きを行ってください。
- 耐水圧設計ではないので高い水圧を直接かけたり、長時間水中に沈めたりしないでください。
- 洗濯機や超音波洗浄機などで洗わないでください。
- 湯船には浸けしないでください。耐熱設計ではありません。
- 急激な温度変化は、結露が発生し、故障の原因となります。

Kyocera
Confidential

注意事項

寒い場所から暖かいお風呂場などに本端末を持ち込むときは、本体が常温になってから持ち込んでください。

- 本端末は水に浮きません。

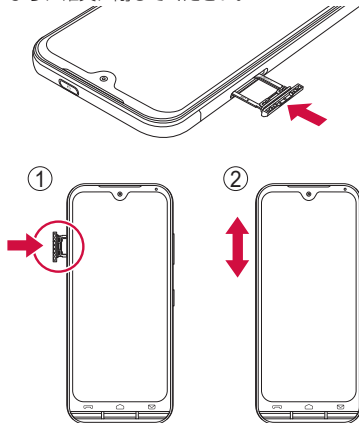
nanoUIMカード／microSDカードトレイについて

- nanoUIMカード／microSDカードトレイはしっかりと閉じ、完全に装着した状態にしてください。接触面に微細なゴミ（髪の毛1本など）がわずかでも挟まると浸水の原因となります。
- nanoUIMカード／microSDカードトレイを開閉する際は手袋などをしてそのまま操作しないでください。接触面に微細なゴミ（髪の毛1本など）がわずかでも挟まると浸水の原因となります。トレイを閉じる際、わずかでも水滴・汚れなどが付着している場合は、乾いた清潔な布で拭き取ってください。
- nanoUIMカード／microSDカードトレイに劣化・破損があるときは、防水性能を維持できません。

nanoUIMカード／microSDカードトレイの閉じかた

nanoUIMカード／microSDカードトレイを本体に水平に奥までしっかりと差し込んでください。

トレイを収納してから①トレイ全体を指の腹で押し込んでください。その後②矢印の方向になぞり、トレイが浮いているこのないように確実に閉じてください。



水以外が付着した場合

- 万一、水以外（海水・洗剤・アルコール飲料など）が付着してしまった場合、すぐに水で洗い流してください。
- 柔らかい布に泡ハンドソープやイソプロピルアルコール、エタノール、次亜塩素酸ナトリウムを付け拭くことができます（→P.13）。
- やや弱め的水流（6リットル/分以下）で蛇口やシャワーより約10cm離れた位置で常温（5℃～35℃）の水道水で洗えます。
- 汚れた場合、ブラシなどは使用せず、nanoUIMカード／microSDカードトレイが開かないように押さえながら手で洗ってください。

水に濡れた後は

- 水濡れ後は水抜きをし、乾いた清潔な布で水を拭き取ってください。
- 寒冷地では本端末に水滴が付着していると、凍結することがあります。凍結したままで使用すると故障の原因となります。水滴が付着したまま放置しないでください。

ゴムパッキンについて

- nanoUIMカード／microSDカードトレイ周囲のゴムパッキン

は、防水性能を維持するため大切な役割をしています。傷付けたり、はがしたりしないでください。

- nanoUIMカード／microSDカードトレイを開める際はゴムパッキンを噛み込まないようにご注意ください。噛み込んだまま無理に閉めようとすると、ゴムパッキンが傷付き、防水性能が維持できなくなる場合があります。接触面に微細なゴミ（髪の毛1本など）がわずかでも挟まると浸水の原因となります。
- 水以外の液体が付着した場合は耐久性能を維持できなくなる場合があります。
- nanoUIMカード／microSDカードトレイの隙間に、先のがったものを差し込まないでください。本端末が破損・変形したり、ゴムパッキンが傷付くおそれがあり、浸水の原因となります。
- nanoUIMカード／microSDカードトレイと本体の接触面のゴムパッキンは防水／防塵性能を維持する上で重要な役割を担っています。はがしたり傷つけたりしないでください。また、ゴミが付着しないようにしてください。ゴムパッキンが傷ついたり、変形したりした場合は、ドコモ指定の故障取扱窓口へご連絡ください。

耐熱性について

- 熱湯に浸けたり、熱湯をかけたりしないでください。また、サウナでの使用やドライヤーなどで熱風を当てないでください。本端末は耐熱設計ではありません。

防塵について

- 塵埃が本端末に付着したときには、直ちに水で洗い流すなどして完全に塵埃を除去してからご使用ください。

衝撃について

- 本端末は耐衝撃性能を有しておりますが、日常生活における使用での耐衝撃性を想定していますので、投げつけたり、無理な落とし方をするなど、過度な衝撃を与えた場合は壊れる可能性がありますのでご注意ください。

お知らせ

- 防水／防塵性能を維持するため、異常の有無に関わらず、2年に1回、部品の交換をおすすめします。部品の交換は、ドコモ指定の故障取扱拠点にて端末をお預かりして有料にて承ります。お問い合わせ先については、裏表紙をご覧ください。

お手入れのしかた

本端末の汚れは泡ハンドソープやアルコールなどを使用して拭き取ることができます。

- お手入れは電源を切って、ケーブル類をすべて取り外してから行ってください。

泡ハンドソープ／泡ボディソープを使用する場合

- 1 柔らかい布に泡ハンドソープ／泡ボディソープを付けて本端末を手早く拭き取る
 - 送話口／マイク、受話口／スピーカーなどの穴部に泡ハンドソープなどが入り込まないように注意してください。
- 2 泡が完全になくなるまですすぐ
 - 送話口／マイク、受話口／スピーカーなどの穴部を約30秒洗い流します。
- 3 送話口／マイク、受話口／スピーカーなどの穴部の水抜きを十分に（→P.13）
- 4 十分に乾燥させて、水滴が残っていないことを確認する（→

Kyocera
Confidential

注意事項

アルコールを使用する場合

① 繊維くすの出ない柔らかい布にイソプロピルアルコール、エタノール、次亜塩素酸ナトリウムを少量(布が湿る程度)含ませ、本端末を拭き取ります。

- ※アルコール除菌シートでの拭き取りを想定した試験において、著しい変色・退色のないことを確認しています。ただし、製品の有する性能は試験環境下での確認であり、すべての変色や変形しないことを保証するものではありません。
- ※イソプロピルアルコール、エタノール、次亜塩素酸ナトリウムは消毒用として販売されているものを、それぞれの取扱説明書をよく読んでお使いください。誤った使いかたは人体への影響や引火などのおそれがあります。
- ※イソプロピルアルコール、エタノール、次亜塩素酸ナトリウムに浸したり、直接吹きかけると故障の原因になります。必ず柔らかい布に付けて拭くようにしてください。

お知らせ

- 市販のアクセサリ商品（ストラップなど）は取り外してください。なお、市販のアクセサリ商品の取り扱いについては、各商品の注意事項をご確認ください。
- 耐水圧設計ではありませんので高い水圧を直接かけたり、長時間水中に沈めたりしないでください。
- お手入れの際はnanoUIMカード/microSDカードトレイがしっかり閉じていることを確認してください。
※国内メーカー製の泡タイプのハンドソープ/ボディソープをご使用ください。種類の異なる泡ハンドソープ/泡ボディソープは混ぜないでください。
キッチン用・業務用・無添加・アルカリ性のハンドソープ、業務用・無添加・アルカリ性のボディソープや、石けん、洗剤、入浴剤、シャンプー、リンス、洗顔料、メイク落とし、歯磨き粉などを使用しないでください。
付着した場合にはすぐに水で洗い流してください。

充電のときは

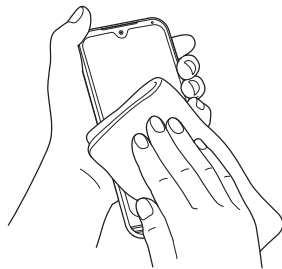
- 付属品、オプション品は防水/防塵性能を有しておりません。充電時、および充電後は次の点をご確認ください。
- 本端末が濡れている状態では絶対に充電しないでください。火災、やけど、けが、感電などの原因となります。
- 本端末が濡れていないかご確認ください。水に濡れた後に充電する場合は、よく水抜きをして乾いた清潔な布などで拭き取り、常温で1時間以上放置して乾燥させてから充電してください。
- 濡れた手で指定のACアダプタ（別売）に触れないでください。感電の原因となります。
- 指定のACアダプタ（別売）は、水のかからない状態で使用し、お風呂場、シャワー室、台所、洗面所などの水回りでは使用しないでください。火災、やけど、感電、故障などの原因となります。また、充電しないときでも、お風呂場などに持ち込まないでください。火災、やけど、感電、故障などの原因となります。
- USB Type-C接続端子に水滴や異物が入っていないか確認の上、ご使用ください。

水に濡れたときの吸水について

本端末を水に濡らした場合、必ず送話口/マイク、受話口/スピーカーなどの吸水をしてください。そのまま使用すると衣服やかばんなどを濡らす場合や音が聞こえにくくなる場合があります。

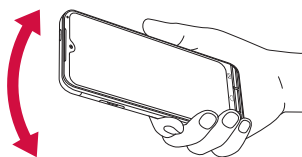
① 本端末表面の水分を繊維くすの出ない乾いた清

潔な布などでよく拭き取る

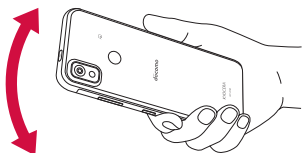


② 振りかたについて

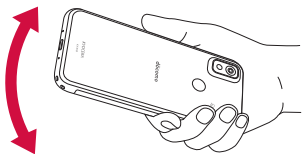
- ① 本端末をしっかり持ち、水が出なくなるまで矢印方向に振る
 - 振る際は周りに危険がないことを確認してください。
 - 本端末が飛び出さないように、しっかりと持ち水抜きをしてください。



● nanoUIMカード/
microSDカード
トレイ側：
20回以上



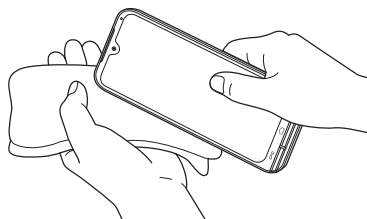
各ボタン側：
20回以上



送話口/マイク・
USB Type-C接続端子・
空気穴・
ストラップ取付部側：
20回以上

- ② 出てきた水分を拭き取る
 - 送話口/マイク、受話口/スピーカー、USB Type-C接続端子や各ボタンは特に水が抜けにくいいため、押し付けるように各部分を下側にして拭き取ってください。
- ③ 乾いたタオルや布の上に置き、常温でしばらく放置する

③ 繊維くすの出ない乾いた清潔な布などに本端末を軽く押し当て、送話口/マイク、受話口/スピーカーなどの隙間に入った水分を拭き取る



Kyocera
Confidential

4 本端末から出た水分を十分に取り除いてから常
温で1時間以上放置して乾燥させる

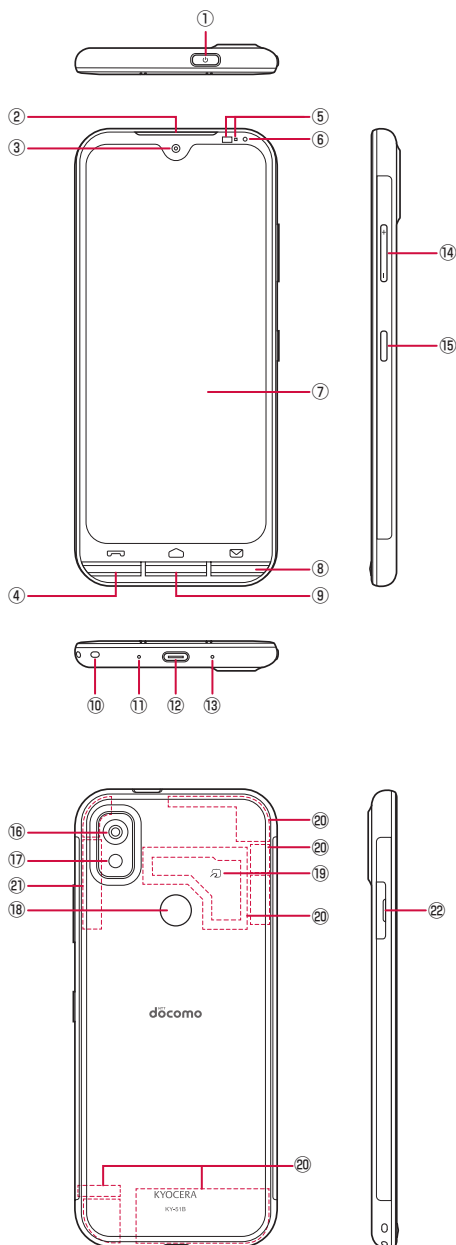
- 本端末に水分が残っている場合があります。濡れて困るものそばには置かないでください。また、衣服やかばんなどを濡らしてしまうおそれがありますのでご注意ください。

Kyocera
Confidential

ご使用前の準備

電話や電話帳を利用したり、通話音声・伝言メモ、着信時の動作などについて設定できます。

各部の名称と機能



- ① : 電源ボタン
 - スリープモードの移行/解除をします(→P.19)。
 - 2秒以上押して電源を入れます(→P.19)。
 - 電源が入っている状態で1秒以上押すとメニューが表示され、[電源を切る][再起動][緊急発信]の操作ができます(→P.19)。
- ② 受話口/スピーカー
 - 通話中の相手の声や、着信音、音楽、アラーム音などが聞こえます。
- ③ インカメラ
- ④ : 電話ボタン
 - 電話をかけるときや受けるとき、通話中の電話を切るときに使用します。また、不在着信があるときには点滅してお知らせします。
- ⑤ 近接センサー/光センサー*1
 - 近接センサーは通話中に顔の接近を検知してタッチパネルの誤操作を防ぎます。
 - 光センサーは周囲の明るさを検知して、ディスプレイの明るさを調整します。
- ⑥ 充電ランプ
 - 充電中は赤色で点灯します。
- ⑦ ディスプレイ (タッチパネル)
- ⑧ : メールボタン
 - ドコモメール/+メッセージを送信するときや確認するときに使用します。また、ドコモメール/+メッセージ受信時には点滅してお知らせします。
- ⑨ : ホームボタン
 - ホーム画面を表示します。
- ⑩ ストラップ取付部
- ⑪ 空気穴
 - 本端末は防水/防塵仕様のため、本体の密閉度が高くなっています。そのため、空気抜き用の穴を設けています。
 - ・ 空気穴は防水/防塵性能に影響を与えません。
 - ・ 保護シートやシールで穴をふさがらないください。
- ⑫ USB Type-C接続端子
 - 充電時やイヤホンの接続時*2などに使用します。USB Power Deliveryに対応しています。
- ⑬ 送話口/マイク
 - 通話中に自分の声を伝えたり、通話音声の録音時に使用したりします。
- ⑭ : 音量上/下ボタン
 - 音量を調節します。
- ⑮ : ダイレクトボタン
 - 長く押すと、設定した機能が動作します。
- ⑯ アウトカメラ
- ⑰ 撮影ライト/ライト
- ⑱ 指紋センサー*1
 - 指紋認証を行うときに使用します(→P.57)。
- ⑲ : マーク→P.44
- ⑳ 5G/LTE/FOMAアンテナ*3
- ㉑ GPS/Wi-Fi/Bluetoothアンテナ*3
- ㉒ nanoUIMカード/microSDカードトレイ

- ※1 センサー部分にはシールなどを貼らないでください。
※2 USB Type-Cのイヤホン/イヤホン変換ケーブルを接続して、イヤホンマイクを使用する場合はアナログ方式のみ対応しております。
※3 本体に内蔵されています。手で覆うと通信品質に影響を及ぼす場合があります。

お知らせ

- 背面カバーは取り外せません。無理に取り外そうとすると破損や故障の原因となります。

Kyocera
Confidential

- 本端末の電池は内蔵されており、お客様ご自身では交換できません。

nanoUIMカード

nanoUIMカードは、お客様の電話番号などの情報が記憶されているICカードです。

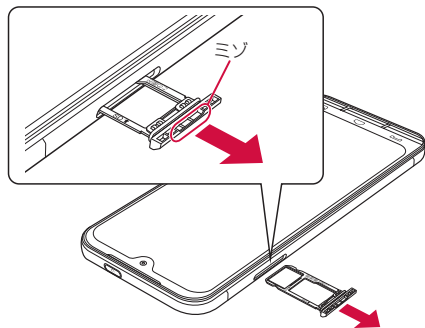
- 本端末では、nanoUIMカードのみご利用できます。ドコモ miniUIMカード、ドコモUIMカード、FOMAカードをお持ちの場合は、ドコモショップ窓口にてお取り替えください。
- nanoUIMカードを取り付けないと、電話、パケット通信などの機能を利用できません。
- nanoUIMカードを取り付ける／取り外すときは、本端末の電源を切ってから行ってください。
- nanoUIMカードを取り扱うときは、IC（金色）に触れたり傷つけたりしないようにご注意ください。また、無理に取り付けようしたり、取り外そうとするとnanoUIMカードが破損したり、nanoUIMカード／microSDカードトレイが変形したりするおそれがありますので、ご注意ください。
- 日本国内では、nanoUIMカードを取り付けしないと緊急通報番号（110番、119番、118番）に発信できません。
- nanoUIMカードについて詳しくは、ドコモ nanoUIMカードの取扱説明書または、ドコモのホームページをご覧ください。

nanoUIMカードの暗証番号について

nanoUIMカードには、PINコードという暗証番号があります（→P.12）。

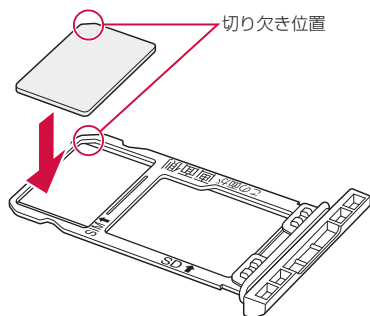
nanoUIMカードを取り付ける

- 1 nanoUIMカード／microSDカードトレイのミゾに指先をかけて、まっすぐに引き出す



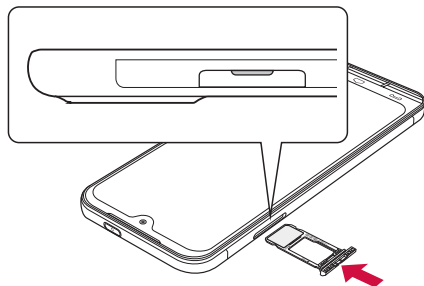
- 2 nanoUIMカードのIC（金属）部分を下にして nanoUIMカード／microSDカードトレイにはめ込む

- 切り欠きの位置にご確認ください。
- nanoUIMカードがnanoUIMカード／microSDカードトレイから浮かないようにはめ込んでください。



- 3 nanoUIMカード／microSDカードトレイを本体に差し込んで、奥までまっすぐ押し込む

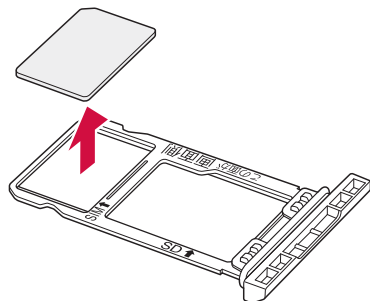
- トレイが浮いていることのないように確実に閉じてください（→P.20）。



nanoUIMカードを取り外す

- 1 nanoUIMカード／microSDカードトレイのミゾに指先をかけて、まっすぐに引き出す

- 2 nanoUIMカードをnanoUIMカード／microSDカードトレイから取り外す



- 3 nanoUIMカード／microSDカードトレイを本体に差し込んで、奥までまっすぐ押し込む

Kyocera
Confidential

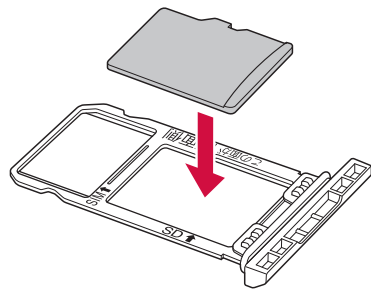
microSDカード

本端末内のデータをmicroSDカードに保存したり、microSDカード内のデータを本端末に取り込んだりすることができます。

- 本端末では市販の2GバイトまでのmicroSDカード、32GバイトまでのmicroSDHCカード、1TバイトまでのmicroSDXCカードに対応しています(2021年12月現在)。
- 市販されているすべてのmicroSDカードの動作を保証するものではありません。対応のmicroSDカードについては、各microSDカードメーカーへお問い合わせください。
- microSDカードを取り付ける/取り外すときは、本端末の電源を切ってから行ってください。
- 本端末にmicroSDカードを挿入した直後(本端末で使用するための情報を書き込み中)や、microSDカード内のデータ編集中に電源を切らないでください。データが壊れることや正常に動作しなくなることがあります。
- 初期化されていないmicroSDカードを使うときは、本端末で初期化する必要があります(→P.56)。パソコンなどで初期化したmicroSDカードは、本端末では正常に使用できないことがあります。
- 他の機器からmicroSDカードに保存したデータは、本端末で表示、再生できないことがあります。また、本端末からmicroSDカードに保存したデータは、他の機器で表示、再生できないことがあります。
- microSDカードに保存されたデータはバックアップを取るなどして別に保管してください。万が一、保存されたデータが消失または変化しても、当社としては責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- microSDXCカードは、SDXC対応機器でのみご利用いただけます。SDXC非対応の機器にmicroSDXCカードを取り付けると、microSDXCカードに保存されているデータが破損することなどがあるため、取り付けないでください。
- データが破損したmicroSDXCカードを再度利用するためには、SDXC対応機器にてmicroSDXCカードを初期化する必要があります(microSDXCカードのデータはすべて削除されます)。
- SDXC非対応機器とのデータコピーについては、コピー先やコピー元の機器の規格に準拠したカード(microSDHCカードやmicroSDカードなど)をご利用ください。
- microSDカードのスピードクラスは、最大クラス10まで使用できます。
- microSDカードのUHSスピードクラスは、クラス3まで使用できます。
- スピードクラスはmicroSDカードの性能であり、スピードクラスの性能のすべての動作を保証するものではありません。

microSDカードを取り付ける

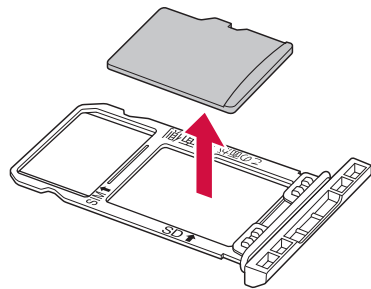
- 1 nanoUIMカード/microSDカードトレイのミゾに指先をかけて、まっすぐに引き出す(→P.16)
- 2 microSDメモ리카ードの端子(金属)面を下にしてnanoUIMカード/microSDカードトレイにはめ込む
 - nanoUIMカード/microSDカードトレイのツメの破損を防ぐため、microSDメモ리카ードを矢印の方向にすべり込ませるように取り付けてください。
 - microSDメモ리카ードがnanoUIMカード/microSDカードトレイから浮かないように、はめ込んでください。



- 3 nanoUIMカード/microSDカードトレイを本体に差し込んで、奥までまっすぐ押し込む(→P.16)

microSDカードを取り外す

- 1 nanoUIMカード/microSDカードトレイのミゾに指先をかけて、まっすぐに引き出す(→P.16)
- 2 microSDメモ리카ードをnanoUIMカード/microSDカードトレイから取り外す



- 3 nanoUIMカード/microSDカードトレイを本体に差し込んで、奥までまっすぐ押し込む(→P.16)

充電

お買い上げ時の内蔵電池は十分に充電された状態ではありません。

- 充電時間の目安について→P.74

十分に充電したときの使用可能時間(目安)

使用環境や内蔵電池の状態により、本端末を使える時間は異なります。

- 使用可能時間の目安について→P.74

内蔵電池の寿命について

- 内蔵電池は消耗品です。充電を繰り返すごとに1回で使える時間が、次第に短くなっていきます。
- 充電しながらアプリの使用や動画撮影などを長時間行うと、内蔵電池の寿命が短くなる場合があります。
- 1回で

Kyocera
Confidential

ご使用前の準備

ら、内蔵電池の寿命が近づいていますので、早めに交換することをおすすめします。



充電について

- 充電時間や十分に充電したときの利用可能時間の目安については→P.74
- 端末の電源を入れておいても充電できます（充電中は電池マークに【★】が重なって表示されます）。
- 電源を入れたまま長時間充電しないでください。充電完了後、端末の電源が入っていると内蔵電池の充電量が減少します。このような場合、ACアダプタ（別売）やDCアダプタ（別売）は再び充電を行います。ただし、ACアダプタやDCアダプタから端末を取り外す時期により、内蔵電池の充電量が少ない、短時間しか使えない、などの現象が起こることがあります。
- 充電完了後でも、端末を長時間放置している場合は電池残量が減少している場合があります。
- 電池が切れた状態で充電開始時に、充電ランプがすぐに点灯しない場合がありますが、充電は始まっています。
- 電池切れの表示がされたあと、電源が入らない場合は、しばらく充電してください。
- 充電中に充電ランプが赤色で点灯していても、電源を入れることができない場合があります。このときは、しばらく充電してから電源を入れてください。
- 電池残量が十分ある状態で、頻繁に充電を繰り返すと、電池の寿命が短くなる場合がありますので、ある程度使用してから（電池残量が減ってからなど）充電することをおすすめします。
- 電池温度が高くなった場合、充電完了前でも自動的に充電を停止する場合があります。充電ができる温度になると自動的に充電を再開します。
- 本端末に対応する最新の充電機器は、ドコモのオンラインショップで確認ください。
<https://onlineshop.smt.docomo.ne.jp/options/search.html>

ACアダプタ、DCアダプタ

- 詳しくはACアダプタ 07（別売）、DCアダプタ 05（別売）の取扱説明書をご覧ください。
- ACアダプタ 07は、AC100Vから240Vまで対応していません。
- ACアダプタのプラグ形状はAC100V用（国内仕様）です。AC100Vから240V対応のACアダプタを海外で使用する場合は、渡航先に適合した変換プラグアダプタが必要です。なお、海外旅行用の変圧器を使用しての充電は行わないでください。

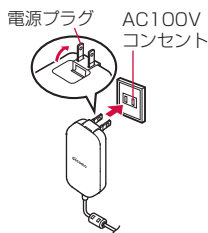
自動調整バッテリー

使用頻度の低いアプリの電池使用を制限して電池の消費を抑えることができます（→P.55）。

ACアダプタを使って充電する

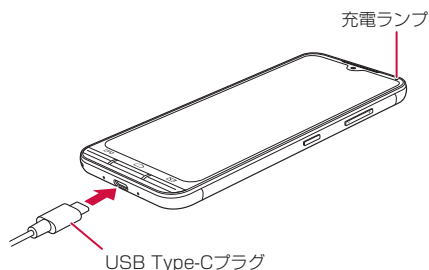
- ACアダプタ 07（別売）を使って充電する場合は次の操作を行います。

① ACアダプタの電源プラグを起こし、コンセントに差し込む



② ACアダプタのUSB Type-Cプラグを本端末のUSB Type-C接続端子にまっすぐに差し込む

- USB Type-Cプラグは表裏どちらの向きでも差し込むことができます。
- 端末の充電ランプが赤色に点灯したことを確認してください。
- 端末の充電ランプが青色点滅の場合は、青色点滅が優先になります。
- 充電が完了すると、充電ランプの色が緑色に変わります。



③ 充電が完了したら、ACアダプタの電源プラグをコンセントから抜く

④ ACアダプタのUSB Type-Cプラグを本端末のUSB Type-C接続端子から抜く

DCアダプタを使って充電する

DCアダプタ 05（別売）は、自動車のアクセサリーソケット（12V/24V）から充電するための電源を供給するアダプタです。

- DCアダプタ 05を使用する場合は、USBケーブル A to C 02（別売）が必要です。
- 取り扱いについて詳しくは、DCアダプタ 05、USBケーブルA to C 02の取扱説明書をご覧ください。

パソコンを使って充電する

本端末とパソコンをUSBケーブル A to C 02（別売）で接続すると、端末を充電することができます。

端末とパソコンの接続方法

- ① USBケーブル A to C 02（別売）のUSB Type-Cプラグを本端末のUSB Type-C接続端

Kyocera
Confidential

子に水平に差し込む

2 USBケーブル A to C 02のUSBプラグをパソコンのUSBコネクタに水平に差し込む

お知らせ

- 本端末が対応するUSBケーブルをご利用ください。プラグ部の形状が異なるものは使用できません。
- USB HUBや変換プラグを使用すると、正常に動作しない場合があります。
- パソコンとデータのやりとりをしているときは、USBケーブル A to C 02を取り外さないでください。データが壊れることがあります。
- 接続可能なパソコンのOSは、Windows 8.1、Windows 10（いずれも日本語版）です。

電源を入れる／切る

電源を入れる

1 (2秒以上)

- はじめて端末の電源を入れたときに初期設定を行ってください（→P.19）。

電源を切る

1 (1秒以上)

- 次の項目のメニューが表示されます。





電源を切る	本端末の電源を切ります。
再起動	本端末を再起動します。
緊急発信	緊急通報番号（110番、119番、118番）に発信します（→P.33）。

2 [電源を切る] ▶ [OK]




スリープモードにする

スリープモードにすると、画面が消灯してタッチパネルの誤操作を防止したり、電池の消費を抑えたりすることができます。

1 を押す

- 再度  を押すと、スリープモードが解除され、画面が点灯します。
- お買い上げ時は  /  /  を押してスリープモードを解除することもできます。

お知らせ

- スリープモードに移行するまでの時間を変更するには、ホーム画面で [設定] ▶ [その他] ▶ [ディスプレイ] ▶ [画面消灯] と操作して、時間を選択します。
- ディスプレイ消灯時の  /  /  の操作を無効にすることもできます。詳しくは、「画面消灯中のボタン操作を許可」（→P.59）をご参照ください。



画面ロックを解除する

ロック画面（スタート画面）は電源を入れたときやスリープモードを解除したときに表示されます。

1 スタート画面で左にスライド

- ホーム画面、またはスリープモードに移行する前の画面が表示されます。

Kyocera
Confidential

- スタート画面の画面右上に  が表示されている場合は、スタート画面の「セキュリティの種類」（→P.57）が「パターン」／「ロックNo.」／「パスワード」に設定されています。セキュリティロックを解除するとホーム画面が表示されます。
- Smart Lock（→P.56）が設定されている状態でSmart Lockが一時的に解除されている場合は、画面上部に  が表示され、設定しているセキュリティ解除方法が実行されます。
- 「指紋」を登録すると、指紋認証で画面ロックを解除できます（→P.57）。

初期設定

はじめて本端末の電源を入れた場合は、初期設定画面が表示されます。画面の指示に従って設定してください。

- 設定を行わない場合は、各操作で「スキップ」「次へ」などをタップした後、画面の指示に従って操作してください。

1 「日本語(日本)」が表示されていることを確認して[開始]

- 「日本語(日本)」をタップすると、使用する言語を変更できます。
- 「視角補助」をタップすると、ユーザー補助機能に関する設定ができます。
- 「緊急通報」をタップすると、緊急通報番号（110番、119番、118番）に発信します（→P.33）。
- 以降は画面の指示に従って各項目を設定してください。
 - Wi-Fi接続の設定
 - アプリとデータのコピーの操作
 - Googleアカウントの設定
 - Googleサービスの設定
 - スマートフォンの保護の設定
 - Googleアシスタントの設定
 - Google Payの設定

2 ドコモ初期設定画面が表示されたら内容を確認して[次へ]

- 以降は画面の指示に従って各項目を設定してください。
 - dアカウントの設定
 - ドコモの機能・サービスの一括設定
 - ドコモクラウドの設定

3 その他の設定項目の設定を行う

- 設定しないで続ける場合は「いいえ」をタップします。

4 ご案内が表示されたら[今すぐはじめる]または内容を確認して[OK]

- ホーム画面が表示されます。

お知らせ

- Googleアカウントの設定や、設定の状況により表示される項目が異なる場合があります。
- 設定は後から変更することもできます。

Googleアカウントの設定を行う

Googleアカウントとは、Googleの各種サービスを利用するためのユーザー名／パスワードです。本端末にGoogleアカウントを設定することで、Gmailを利用してEメールを送受信したり、Google Playを利用してアプリやゲームなどのコンテンツをダウンロードしたりできます。

1 ホーム画面で[設定] ▶ [その他] ▶ [アカウント] ▶ [アカウントを追加] ▶ [Google]

- 以降は画面の指示に従って操作してください。

お知らせ

- Googleアカウントを設定しない場合でも本端末をお使いになれますが、GmailやGoogle PlayなどのGoogleサービスがご利用になれません。

dアカウントの設定を行う

dアカウントとは、スマートフォン、タブレット、パソコンなどでdアカウント対応のサービスやdポイントを利用するときに必要なID/パスワードです。

1 ホーム画面で[設定] ▶ [その他] ▶ [ドコモのサービス/クラウド] ▶ [dアカウント設定]

- 以降は画面の指示に従って操作してください。

本端末で利用する暗証番号について

本端末には、便利にお使いいただくための各種機能に、暗証番号の必要なものがあります。各種端末操作の暗証番号のほかに、ネットワークサービスでお使いになるネットワーク暗証番号などがあります。用途ごとに上手に使い分けて、本端末を活用してください。

■各種暗証番号に関するご注意

- 設定する暗証番号は「生年月日」、「電話番号の一部」、「所在地番号や部屋番号」、「1111」、「1234」などの他人にわかりやすい番号は避けてください。また、設定した暗証番号はメモを取るなどしてお忘れにならないようお気をつけください。
- 暗証番号は、他人に知られないように十分ご注意ください。万が一、暗証番号が他人に知られ悪用された場合、その損害については、当社は一切の責任を負いかねます。
- 各種暗証番号を忘れてしまった場合は、契約者ご本人であることが確認できる書類（運転免許証など）や本端末、nanoUIMカードをドコモショップ窓口までご持参いただく必要があります。詳しくは裏表紙のお問い合わせ先までご相談ください。
- PINロック解除コードは、ドコモショップでご契約時にお渡しする契約申込書（お客様控え）に記載されています。ドコモショップ以外でご契約されたお客様は、裏表紙のお問い合わせ先までご相談ください。

dアカウントのパスワード

dアカウントは、ドコモアプリで利用するアカウントです。dアカウントのパスワードは、初期設定時に任意の番号を設定いただけますが、お客様ご自身で番号を変更できます（→P.20）。
●dアカウントの詳細については、ドコモのホームページをご覧ください。

画面ロック用のロックNo./パスワード

本端末の画面ロック機能を使用するための暗証番号です（→P.57）。

ネットワーク暗証番号

ドコモショップまたはドコモ インフォメーションセンターや「お客様サポート」でのご注文受付時に契約者ご本人を確認させていただく際や各種ネットワークサービスご利用時などに必要な数字4桁の番号です。ご契約時に任意の番号を設定いただけますが、お客様ご自身で番号を変更できます。

- ネットワーク暗証番号の詳細については、ドコモのホームページをご覧ください。

PINコード

nanoUIMカードには、PINコードという暗証番号があります。ご契約時は「0000」に設定されていますが、お客様ご自身で番号を変更できます（→P.20）。PINコードは、第三者によるnanoUIMカードの無断使用を防ぐため、nanoUIMカードを取り付ける、または本端末の電源を入れるたびに使用者を認識するために入力する4～8桁の暗証番号です。PINコードを入力することにより、発着信および端末操作が可能となります。

- 別の端末で利用していたnanoUIMカードを差し替えてお使いになる場合は、以前にお客様が設定されたPINコードをご利用ください。設定を変更されていない場合は「0000」となります。
- PINコードの入力を3回連続して間違えると、PINコードがロックされて使えなくなります。この場合は、「PINロック解除コード」でロックを解除してください。

PINロック解除コード（PUKコード）

PINロック解除コードは、PINコードがロックされた状態を解除するための8桁の番号です。なお、お客様ご自身では変更できません。

- PINロック解除コードの入力を10回連続して間違えると、nanoUIMカードが完全にロックされます。その場合は、裏表紙のお問い合わせ先までお問い合わせください。

PINコードを設定する

PINコードを設定すると、電源を入れたときにPINコードを入力する画面が表示され、不正使用から保護できます。

- 1 ホーム画面で[設定] ▶ [その他] ▶ [セキュリティ] ▶ [SIM カードロック]
- 2 [SIM カードをロック] ▶ PINコードを入力 ▶ [OK]

PINコードを変更する

- 1 ホーム画面で[設定] ▶ [その他] ▶ [セキュリティ] ▶ [SIM カードロック]
- 2 [SIM PINの変更] ▶ PINコードを入力 ▶ [OK]

お知らせ

- PINコードはSIMカードロックを設定しているときのみ変更できます。

Kyocera
Confidential

基本操作

基本操作

ディスプレイ（タッチパネル）の使いかた

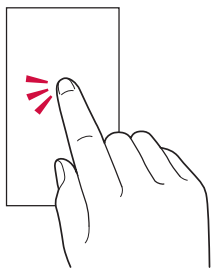
本端末は指で直接ディスプレイ（タッチパネル）に触れて操作します。

ディスプレイ（タッチパネル）利用上のご注意

- 次の場合はタッチパネルに触れても動作しないことがあります。また、誤動作の原因となりますのでご注意ください。
 - ・ 手袋をしたままでの操作
 - ・ 爪の先での操作
 - ・ 異物を操作面に乗せたままでの操作
 - ・ シート類（市販の保護フィルムや覗き見防止シートなど）やシールなどを貼っての操作
 - ・ ディスプレイに水滴が付着または結露している状態での操作
 - ・ 濡れた指または汗で湿った指での操作
 - ・ 水中での操作

タップ

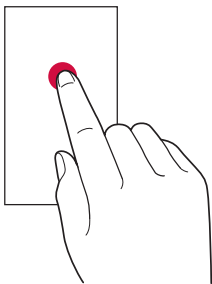
画面に軽く触れて、すぐに指を離します。



ロングタッチ

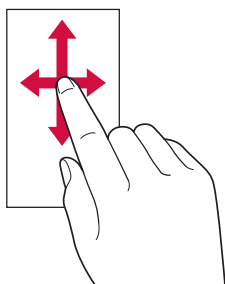
項目などに指を触れた状態を保ちます。

- ・ ロングタッチの時間は設定することができます（→P.59）。



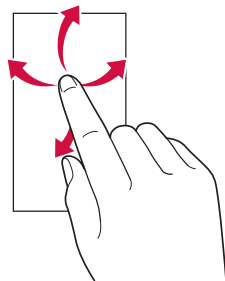
スライド/スワイプ

画面内で表示しきれないときなど、画面に軽く触れたまま、目的の方向へなぞります。



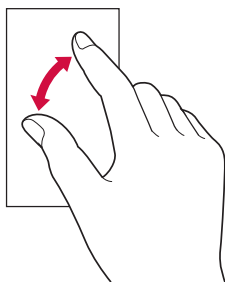
フリック

画面を指ですばやく上下左右にはらうように操作します。



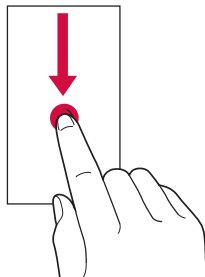
ズーム

2本の指で画面に触れたまま指を開いたり（ズームアウト）、閉じたり（ズームイン）します。



ドラッグ

項目やアイコンを移動するときなど、画面に軽く触れたまま目的の位置までなぞります。



Kyocera
Confidential

タッチキーの基本操作

画面下部に次のタッチキーが表示されます。

表示	概要
戻る	1つ前の画面に戻ります。
画面メモ	現在表示されている画面を画像や動画として保存します(→P.22)。
アプリ履歴	最近使用したアプリが表示されます(→P.27)。

お知らせ

- 写真や動画再生中などで画面下部にタッチキーが表示されない場合は、画面をタップすると表示されます。

電話ボタン／ホームボタン／メールボタンの基本操作

画面の下にある☎️/🏠/✉️を押すと、次のように動作します。

ボタン	動作
☎️	電話アプリが起動します。不在着信がある場合は点滅してお知らせします。
🏠	ホーム画面を表示します。
✉️	メールアプリの選択画面を表示します。新着メールがある場合は点滅してお知らせします。

ダイレクトボタン

ダイレクトボタン(🔘)を長く押しと、あらかじめ設定したアプリを利用することができます。ダイレクトボタンで設定できるアプリは次の通りです。

- 音声検索
- radiok+FM
- カメラ

ダイレクトボタンを設定する

- 1 ホーム画面で[設定] ▶ [その他] ▶ [ダイレクトボタン]
- 2 [長押しした時の動作]
 - 「画面消灯中のボタン操作を許可」を「ON」にすると、ディスプレイが消灯中でもダイレクトボタンを利用できるように設定されます。
- 3 設定したいアプリをタップ
 - 「何も動作しない」をタップすると、ダイレクトボタンを利用しません。

お知らせ

- お買い上げ時は「音声検索」が設定されています。

縦または横画面表示を自動で切り替える

本端末の向きに合わせて、自動的に縦／横画面表示を切り替えることができます。

- 1 ホーム画面で[設定] ▶ [その他] ▶ [ディスプレイ] ▶ 「画面の自動回転」を「ON」にする

お知らせ

- 本端末を垂直に立てた状態で操作してください。本端末を水平に近い状態で操作すると、画面表示が切り替わらない場合があります。
- 表示中の画面によっては、本端末の向きや設定にかかわらず画面表示が切り替わらない場合があります。

マナーモードを設定する

公共の場所などで、本端末の音を周囲に出さないように設定します。

- 1 **[+]** または **[=]** を押す
 - 音量調節バーが表示されます。
- 2 **[🔕]**
 - 「マナーモード種別」の設定に従いアイコンが切り替わります。

マナーモードの種別を変更する

- 1 ホーム画面で[設定] ▶ [その他] ▶ [音とバイブレーション] ▶ [マナーモード] ▶ [マナーモード種別]
- 2 [マナーモード] / [サイレントモード] / [ドライブモード]

お知らせ

- マナーモード設定中でも、カメラのシャッター音、録画開始／終了音、アラーム音は鳴動します。
- 「ドライブモード」を選択した場合、着信時は運転中であることをお知らせするアナウンスが流れ、自動的に伝言メモが起動します。
- マナーモード設定中に「着信・通知音の音量」(→P.55)の音量を調節すると、マナーモードは解除されます。
- マナーモード設定中でも**[+]** / **[=]** を押して、動画やラジオなどの音量(メディアの音量)を調節することができます。

表示されている画面を撮影する

現在表示されている画面を画像として保存することができます(スクリーンショット)。

- 1 撮影したい画面で画面下部の[画面メモ]
- 2 [画面を保存]
 - 表示中の画面が保存されます。
- 3 [閉じる]
 - 「見る」をタップすると保存した画像を確認することができます。
 - 「送る」をタップすると保存した画像をメールなどで送信することができます。

お知らせ

- 表示中の画面によっては画像を保存できない場合があります。
- **[📷]** と **[=]** を同時に押ししても、表示している画面を画像として保存することができます。

表示されている画面を録画する

現在表示されている画面の動画を録画することができます（スクリーンレコード）。

1 録画したい画面で画面下部の「画面メモ」

2 「画面を録画」

- 画面下部が赤色に変わり、表示している画面の録画が開始されます。
- 必要に応じて録画したい操作をしてください。

3 「停止」

4 保存するファイル名を入力 ▶ 「OK」

- 画面録画リストが表示され、録画した動画を確認できます。

お知らせ

- 表示中の画面によっては録画できない場合があります。

利用するアプリを選択する

メールを送信するときや画像を表示するときなど、特定の操作で複数のアプリを利用できる場合は、アプリを選択する画面が表示されます。

例：メールを送信するアプリを選択する場合

1 ホーム画面で「ドコモ電話帳」▶「連絡先を選択」▶

メールアドレスを選択

- 送信に使用するアプリの選択画面が表示されます。

2 アプリを選択 ▶ 「1回のみ」／「常時」

- 利用するアプリを毎回確認する場合は、「1回のみ」を選択します。常に同じアプリを利用する場合は、「常時」を選択します。
- 「常時」を選択すると、次回同じ操作をしたとき、アプリの選択画面は表示されません。
- 「1回のみ」を選択すると、次回同じ操作をしたとき、アプリが選択された状態の画面が表示されます。別のアプリを利用する場合は「別のアプリを使用」からアプリを選択してください。

お知らせ

- 「常時」に設定したアプリは次の操作で解除できます。ホーム画面で「設定」▶「その他」▶「アプリと通知」▶「XX個のアプリをすべて表示」▶「常時」に設定したアプリをタップ▶「デフォルトで開く」▶「設定を消去」

アプリの権限を設定する

本製品の機能や情報にアクセスするアプリ／機能を初めて起動すると、アクセス権限の許可を求める画面が表示されます。確認画面が表示された場合は、内容をご確認のうえ、「許可」／「許可しない」をタップしてください。

- アプリ／機能によっては「常に許可する」「アプリの使用のみ許可」などが表示される場合があります。

例：写真／動画を初めて起動した場合

1 アクセス権限の確認画面 ▶ 「許可」／「許可しない」

- 通常は「許可」をタップし、機能の利用を許可してください。
- 利用する機能が複数ある場合、以降も同様に操作してください。

アプリごと／機能ごとに設定する

■ アプリごとに設定する場合

- 1 ホーム画面で「設定」▶「その他」▶「アプリと通知」
- 2 「XX個のアプリをすべて表示」▶「アプリを選択」▶「権限」▶「機能を選択」▶「許可」／「許可しない」

■ 機能ごとに設定する場合

- 1 ホーム画面で「設定」▶「その他」▶「アプリと通知」
- 2 「権限マネージャ」▶「機能を選択」▶「アプリを選択」▶「許可」／「許可しない」

お知らせ

- 許可をしないとアプリ／機能を起動できない場合や、機能の利用が制限される場合があります。
- アプリ／機能によっては、許可についての説明画面が表示される場合があります。また、確認画面が複数回表示される場合や、表示が異なる場合があります。表示内容をよくご確認の上、画面の指示に従って操作してください。
- 本書では、確認画面の表示の記載については省略している場合があります。

バッテリーセーバー

バッテリーセーバーをONにすると、電池の消費を抑えることができます。

- 1 ホーム画面で「設定」▶「その他」▶「電池」▶「バッテリーセーバー」▶「今すぐONにする」

文字入力

文字入力は、画面に表示されるソフトウェアキーボードを使用します。

ソフトウェアキーボードは、連絡先の登録時やメール作成時など文字入力画面で入力欄をタップすると表示されます。

入力方法の切り替え

お買い上げ時に設定されている入力方法以外に切り替えて使用することができます。

- 他の入力方法をインストールする必要があります。

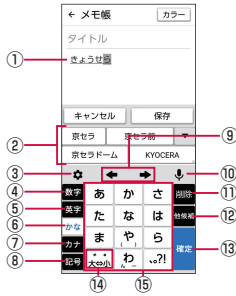
- 1 ホーム画面で「その他」▶「システム」▶「言語と入力」▶「現在のキーボード」▶「入力方法を選択」

ソフトウェアキーボード

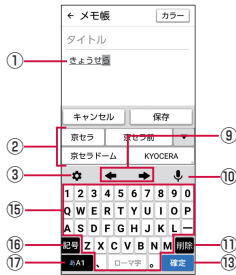
本製品では、次のキーボードを利用できます。

テンキーボード	一般的な携帯電話と同じ順序で文字が並んでいるキーボードです。キーをタップするたびに文字が切り替わります（トグル入力）。フリック入力もできます。
QWERTYキーボード	一般的なパソコンと同じ順序で文字が並んでいるキーボードです。タップしたキーに表示されている文字が入力されます。日本語は「ローマ字」で入力します。

文字入力のかた



文字入力画面（テンキーボード）



文字入力画面（QWERTYキーボード）

- ① 文字入力エリア
- ② 通常変換候補リスト／予測変換候補リスト
 - 文字を入力すると、予測変換候補リストが表示されます。
 - ▼ をタップすると候補リストの表示エリアを拡大できます。元の表示に戻すには、▲ をタップします。
- ③ 設定キー
 - iWnn IME設定を表示します（→P.25）。
- ④ 数字キー
 - キーボードを数字入力に切り替えます。
- ⑤ 英字キー
 - キーボードを英字入力に切り替えます。
- ⑥ かなキー
 - キーボードをひらがな入力に切り替えます。
- ⑦ カナキー
 - キーボードをカタカナ入力に切り替えます。
- ⑧ 記号キー
 - キーボードを絵文字／記号／顔文字入力に切り替えます。
- ⑨ カーソルキー
 - 文字を音声で入力します。
- ⑩ 音声入力キー
 - 文字を音声で入力します。
- ⑪ 削除キー
- ⑫ 空白／他候補キー
 - 空白：スペースを入力します。
 - 文字未入力時や数字／英字入力中などに表示されます。
 - 予測候補の一覧画面を表示します。
 - ひらがな入力中に表示されます。
- ⑬ 改行／確定キー
 - 確定：入力中の文字を確定します。
 - 改行：カーソルの位置で改行します。
 - アプリや入力中の項目によって、表示が切り替わります。
- ⑭ 大文字／小文字切替キー
 - 大文字：入力した文字（ひらがな／カタカナ）を大文字／小文字

字に切り替えたり、濁点／半濁点を付けたりします。

大文字：入力した文字（英字）を大文字／小文字に切り替えます。

15 ソフトウェアキーボード

16 記号／シフトキー

大文字：キーボードを絵文字／記号／顔文字入力に切り替えます。

● ひらがな入力中に表示されます。

上：タップするたびに、大文字入力／大文字入力ロック／小文字入力を切り替えます。

● 英字／数字入力中に表示されます。

17 文字種切り替えキー

● タップするたびに入力する文字種が切り替わります。

※ 操作する画面やアプリなどによっては、入力できない文字種があります。

お知らせ

- 「日本語ワイルドカード予測」（→P.25）または「ワイルドカード予測」（→P.25）を設定している場合は、字数を指定して変換させることができます。カーソルが文末または未確定の文字の右位置にあるとき、▶ をタップするたびに「○」が表示されます。「○」は任意の1文字とし、変換候補には入力文字数以上の候補を表示します。

トグル入力について

テンキーボードで同じキーを連続してタップすると、キーに割り当てられた文字や数字、記号を入力できます。

同じキーに割り当てられた文字などを続けて入力する場合は、▶ をタップしてから入力します。

例：「あお」と入力する場合

1 「あ」を1回タップ ▶ [▶] ▶ 「あ」を5回タップ

フリック入力について

テンキーボードでキーを上下左右にフリックして入力できます。キーに触れると入力できる候補が表示されます。そのまま入力したい文字が表示されている方向にフリックすると、文字を入力できます。

例：「お」と入力する場合

1 「あ」に触れる ▶ 下にフリック



Kyocera
Confidential

テキストの編集

文字を切り取り／コピーしてから貼り付ける

文字の切り取りやコピー、貼り付けができます。

- 1 文字入力画面▶文字列をロングタッチ▶「**●**」／「**●**」をドラッグして範囲を選択
- 2 [切り取り]／[コピー]
- 3 貼り付ける位置をタップしてカーソルを移動▶「**●**」▶[貼り付け]

引用入力を利用する

引用入力を利用すると、プロフィールや電話帳に登録した情報を引用して入力できます。

- 1 文字入力画面▶[**☆**]▶[引用]
- 2 [プロフィール引用]／[電話帳引用]
 - 引用する情報を選択し「OK」をタップすると、選択した情報が文字入力欄に入力されます。

ユーザー辞書

よく利用する単語などを登録しておく、その読みを入力したときに変換候補リストとして表示されます。

- 1 文字入力画面▶[**☆**]▶[その他の設定]▶[辞書]
 - ▶[日本語]／[英語・その他]
 - ユーザー辞書単語一覧画面が表示されます。
- 2 [:]▶[登録]
- 3 読み／単語を入力▶[OK]

お知らせ

- 登録した単語を編集する場合は、ユーザー辞書単語一覧画面▶編集する単語を選択▶[:]▶[編集]と操作します。
- ユーザー辞書単語一覧画面▶削除する単語を選択▶[:]▶[削除]▶[OK]と操作すると、選択した単語を削除できます。また、ユーザー辞書単語一覧画面▶[:]▶[すべて削除]▶[OK]と操作すると、すべての単語を削除できます。

文字入力の設定

iWnn IMEでのキー操作時の操作音やバイブレーションなどを設定できます。

- 1 文字入力画面▶[**☆**]▶[その他の設定]
- 2 各項目を設定

表示	キーボードのタイプやフルスクリーンモード、候補表示エリアに関する設定をします。
予測/変換	候補学習や予測変換、ワイルドカード予測など、予測や変換に関する設定をします。
キー操作	キー操作音やキー操作バイブ、フリック入力やトグル入力などキー操作に関する設定をします。
外部アプリ連携	引用入力やプラグインへの全文送信に関する設定をします。
辞書	辞書については→P.25

その他	学習辞書の登録内容をすべて削除したり、iWnn IMEの設定をリセットしたりします。
-----	--

お知らせLED・ボタン

充電ランプ

お知らせLED（充電ランプ）の点灯により、充電中の充電状態が確認できます。

LEDの色と動作	通知内容
赤の点灯	充電中であることを示します。
緑の点灯	充電が完了したことを示します。

電話ボタン／メールボタン

☎／✉の点滅により、不在着信や新着メールをお知らせします。

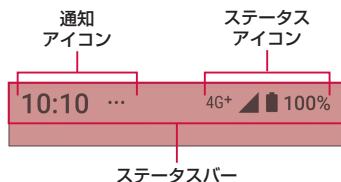
- 1 ホーム画面で[設定]▶[その他]▶[アプリと通知]▶[通知]▶[お知らせLED・ボタン]

すべて点滅	お知らせLEDと☎／✉が点滅します。
電話とメールのみ	☎／✉が点滅します。
点滅しない	お知らせLEDも☎／✉も点滅しません。

画面表示とアイコン

ステータスバー

ステータスバーには、通知があることをお知らせする「通知アイコン」と端末末の状態を示す「ステータスアイコン」が表示されます。



主なステータスアイコン

🔋	電池レベル
🔌	充電が必要な状態
🔋	充電中
🔋	バッテリーセーバー設定中
📶	電波の強さ（5段階）※1
🌐	圏外
5G	5G使用可能※1
4G+	4G（LTE）使用可能※1※2
🌐	国際ローミング中
📶	機内モード設定中
📶	Wi-Fi接続中（5段階）※1※3
📶	インターネット利用不可のWi-Fiに接続中またはWi-Fiの電波が不安定な状態※3
🔔	アラーム設定中

Kyocera
Confidential

	マナーモード (パイプ) 設定中
	マナーモード (サイレント) 設定中
	マナーモード (ドライブ) 設定中
	通知の鳴動制限中
	Bluetooth機器接続中
	Wi-Fiテザリング中※3
	スピーカーで通話中
	伝言メモ設定中
	GPS測位中
	VPN接続中
	データセーバー設定中
	画面を録画中

- ※1 通信中はアイコンの左側に が表示されます。
- ※2 本端末は、LTE接続時は常に が表示されます。
- ※3 アイコンの右側に表示される数字は、接続中の無線LAN (Wi-Fi) の規格により異なります。

主な通知アイコン

	新着メールあり
	新着+メッセージあり/新着SMSあり
	新着Gmailあり
	不在着信あり
	通話中または着信中
	伝言メモあり
	留守番電話あり
	データを送信/アップロード
	データを受信/ダウンロード
	エラー/注意などの通知あり
	radiko+FMを再生中
	アラーム鳴動中/アラームのスヌーズ中/ 次のアラームあり
	メモの通知あり
	カレンダーの通知あり
	画面メモで画面を保存完了 ソフトウェア更新あり
	本体メモリの空き容量低下
	表示しきれない通知あり

通知パネル

通知パネルでは、通知の内容を確認したり、対応するアプリを起動したりできます。

① ステータスバーを下にスライド

- 通知パネルが表示されます。
- 通知パネルを上にもスライドまたは「通知表示」をタップすると、不在着信などをお知らせする通知内容が表示されます。



通知パネル表示画面

通知内容表示画面

- ① 日付時刻のエリア
- ② 画面の明るさ
 - スライダを左右にドラッグして、画面の明るさを調節します。
- ③ ON/OFF設定アイコン
 - よく使う機能のオン/オフなどを設定します。
- ④ 通知消去
 - タップすると通知をすべて消去できます。ただし、消去できない通知もあります。
- ⑤ 通知表示
 - 不在着信などをお知らせする通知内容を表示します。
- ⑥ 通知管理
 - アプリからの通知をするかどうかを設定します。
- ⑦ 閉じるタブ
 - タップすると通知パネルを非表示にします。
- ⑧ パネル表示
 - よく使う機能のON/OFFを切り替える通知パネルを表示します。
- ⑨ お知らせ (通知) エリア
 - 本端末の状態やお知らせの内容を確認できます。情報によっては、タップすると対応するアプリが起動します。

お知らせ

- 画面下部から上にスライドしても、通知パネルを非表示にすることができません。
- 通知を個別に消去するには、消去したい通知を左右にフリックします。ただし、消去できない通知もあります。


タスクマネージャー

画面下部の「アプリ履歴」をタップすると、最近使用したアプリをサムネイル表示して、アプリの確認や起動、切り替え、終了ができます。

1 [アプリ履歴]

- 最近使用したアプリがサムネイル表示されます。
- 上下にフリックするとサムネイルを切り替えることができます。
- サムネイルを左右にフリックまたは「消去する」をタップすると、サムネイルが削除され、アプリを終了できます。すべてのサムネイルを削除するには、「すべて消去する」をタップします。

お知らせ

- 「アプリ固定」(→P.56) がONの場合、「」をタップすると、画面が固定されて表示中のアプリ以外の操作ができなくなります。
- アプリ固定中は以下の制限があります。
 - 着信や第三者による位置検索ができなくなります。
 - 他のアプリが正しく動作しなかったり、通知が表示されない場合があります。
- 固定を解除するには、「戻る」と「アプリ履歴」を同時にロングタッチします。

スグアップ

スマホを振るなどの直感操作で、スグにアプリの起動や電話の操作ができる「スグアップ」の設定を行います。

1 ホーム画面で[設定] ▶ [その他] ▶ [ドコモのサービス/クラウド] ▶ [スグアップ設定]

- 説明画面などが表示された場合は、画面の指示に従って操作してください。

2 各項目を設定

スグアップ

2種類のアプリを設定しておくことで、振るだけでアプリを起動することができます。

また、端末を振ってアプリを起動した画面上に他のアプリアイコンを表示することができます。

1回振り	本端末を1回振ることで起動するアプリを設定できます。
アイコン同時表示 (1回振り)	1回振り機能を使用時に同時に画面上に表示するアプリを設定できます。
2回振り	本端末を2回振ることで起動するアプリを設定できます。
アイコン同時表示 (2回振り)	2回振り機能を使用時に同時に画面上に表示するアプリを設定できます。
スグアップ動作抑止	スグアップによるアプリ起動を抑止するアプリを設定できます。

スグ電設定

モーションおよび音声キーワードだけで、電話の操作ができます。

スグ電設定	電話の操作 (応答、切断、発信、消音、拒否) が設定できます。
-------	---------------------------------

お知らせ

- 次の場合は、スグアップが正しく動作しません。
 - 通話中にさらに発信や着信を行う場合
 - 寝ている体勢の場合
 - 走る、階段の上り下りをするなどの激しい運動をしている場合
- お買い上げ時の「1回振り」には「d払い」アプリが設定されています。
- 画面消灯中、スタート画面表示中、および通話中はスグアップの機能を利用することができません。
- 画面を点灯したまま、かばんやポケットにいれると、まれにモーションが実行されたとみなされ、アプリが起動することがあります。
- スグアップの機能が利用可能な状態であるときに、通知アイコンを表示しています。通知パネルから通知詳細情報を確認することができます。
- スグアップの詳細については、ドコモのホームページをご覧ください。

スグ電設定

モーションおよび音声キーワードだけで電話の操作ができる「スグ電」の設定を行います。

1 ホーム画面で[電話] ▶ [メニュー] ▶ [通話設定]

2 [スグ電設定]

3 各項目を設定

- ホーム画面で [設定] ▶ [その他] ▶ [ドコモのサービス/クラウド] ▶ [スグアップ設定] ▶ [スグ電設定] と操作しても設定できます。

応答	本端末を耳に当てることで応答できます。
切断 (モーション)	通話中に画面を下向きにして本端末を水平に置く、または本端末を2回振ることで電話を切ることができます。
切断 (音声)	通話中に切断キーワードを発した後に端末を耳から離すことで電話を切ることができます。
発信	ホーム画面で本端末を1回振ってから耳に当てることで、あらかじめ登録した相手に発信できます。
消音・拒否	着信中に画面を下向きにして本端末を水平に置く、または本端末を2回振ることで消音・拒否できます。「消音」「拒否」「拒否してSMS送信」から選択して設定できます。
ローミング時スグ電無効	海外渡航時にスグ電機能を自動的にOFFにできます。

お知らせ

- 次の場合は、スグアップが正しく動作しません。
 - スピーカーフォン利用時
 - イヤホンやヘッドセット利用時
 - 通話機能を持つBluetooth機器と接続中の場合 (切断 (音声)、発信 (モーション))
 - 通話中にさらに発信や着信を行う場合
 - 寝ている体勢の場合
 - 走る、階段の上り下りをするなどの激しい運動をしている場合
 - ブックタイプのスマートフォンケースなどでディスプレイを覆って

Kyocera
Confidential

- 着信中に着信画面のまま、かばんやポケットにいれると、まれにモーションが実行されたとみなされ、応答または拒否される場合があります。
- 近接センサーは黒いものに反応しにくい特性があります。
 - 応答をする際に、髪の毛の上から受話口をあてている場合、近接センサーが正常に動作しにくいため、電話に応答できない場合があります。その場合は耳に直接受話口をあててください。
 - 切断（モーション）／消音・拒否をする際に、黒い机などの上で本端末を裏返すと反応しない（切断（モーション）／消音・拒否されない）場合があります。その場合は直接置かず、机などから1cm程度浮かせるように本端末を裏返すと反応（切断（モーション）／消音・拒否）します。
- スグ電の機能が利用可能な状態であるときに、通知アイコンを表示しています。通知パネル内から通知詳細情報を確認することができます。
- スグ電の詳細については、ドコモのホームページをご覧ください。

の場合はスグ電設定より、ローミング時スグ電無効をOFFにしてからお使いください。

切断（モーション）について

- モーションが実行されると、次の場合は切断が有効となり、通話が切断されます。
 - 相手が保留中の場合
 - 伝言メモ起動中の場合（応答メッセージ再生中／伝言メモ録音中）
- 切断する際に、本端末を下向きに置く動作が速いと反応しない（切断できない）場合があります。その場合は、動作をゆっくり行くと反応（切断）します。
- 本端末を強く振ると、モーションが実行されたとみなされ、切断される場合があります。

切断（音声）について

- 切断キーワードを発すると、次の場合は切断が有効となり、通話が切断されます。
 - 相手が保留中の場合
 - 相手が伝言メモ起動中の場合（応答メッセージ再生中／伝言メモ録音中）
- 切断（音声）をONにしている状態で通話している時は、他のマイクを利用するアプリや通話中の音声を利用するアプリ（例：通話録音アプリ）は使用できない場合があります。通話中にご利用になりたい場合は、通話終了後に切断（音声）の機能をOFFにすることで利用可能になります。
- 伝言メモの起動中（応答メッセージの再生中／伝言メモの録音中）は、音声での切断ができません。伝言メモの録音中に電話に出た場合には、音声での切断が可能になります。
- 「はなして翻訳」を利用した通話の場合は、音声での切断はできません。
- スグ電音声機能の提供には音声認識技術や言語処理技術を用いておりますが、当社はそれらの技術の精度などについて何らの保証をするものではありません。
- 通話時に声量が小さすぎたり、騒音下で通話したり、または発話の仕方によっては、音声認識ができない場合があります。

発信について

- ホーム画面またはスタート画面（解除方法がスワイプの場合のみ）表示中に発信が可能です。

消音・拒否について

- 本端末を強く振ると、モーションが実行されたとみなされ、消音・拒否で設定している機能が実行される場合があります。

ローミング時スグ電無効について


- スグ電機能は海外では自動で無効になります。海外でご使用

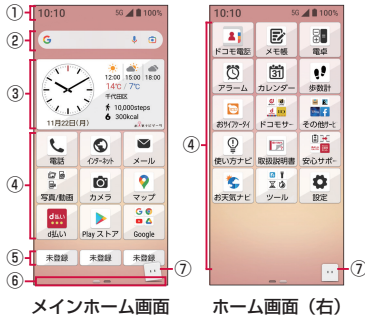
Kyocera
Confidential

ホーム画面

ホーム画面の見かた

ホーム画面は、複数の画面で構成されており、左右にスライド／フリックすると画面を切り替えることができます。

また、を押すと、メインホーム画面を表示できます。



- 1 ステータスバー
- 2 検索
- 3 時刻 / 天気
- 4 アプリ / フォルダ
 - インストールされているアプリのアイコン / フォルダが表示されます。
- 5 ワンタッチボタン
- 6 インジケータ
- 7 マチキャラ
 - タップすると知りたいことに対話で応えてくれます。

お知らせ

- 本書では、お買い上げ時の配置タイプのホーム画面からの操作を例に説明しています。
- ダウンロードしたアプリは、ホーム画面に追加されます。
- ウィジェットを追加した場合は、ホーム画面を左にスライド／フリックすると、ウィジェット画面が表示されます。
- メールやSMSなどの新着 / 未読メールがある場合、アイコンの右上に合計の件数が表示されます。

アプリやフォルダなどを移動する

- 1 移動するアプリやフォルダなどをロングタッチ
- 2 移動する位置へドラッグして指を離す ▶ [完了]

ホーム画面にフォルダを追加する

複数のアプリが収納されたアイコンを「フォルダ」と呼びます。フォルダをタップすると、収納されたアプリを選択できます。

- 1 収納するアプリをロングタッチ ▶ ドラッグして他のアプリに重ねる
 - フォルダが作成され、複数のアイコンが収納されます。

お知らせ

- フォルダ名（新規作成時は「名前のないフォルダ」）をタップして、文字入力欄をタップすると、フォルダ名を変更 / 入力できます。

- アプリをフォルダの外へ移動するには、フォルダをタップ ▶ 表示されるアプリをロングタッチ ▶ ドラッグしてフォルダの外に移動します。
- アプリが1つになると、フォルダ表示は解除されます。
- フォルダを閉じるときは、「閉じる」をタップします。

ホーム画面にウィジェットを追加する

- 1 ホーム画面の空いたスペースをロングタッチ
 - 画面下部にホーム画面メニューが表示されます。
- 2 [ウィジェットを追加] ▶ ウィジェットをロングタッチ ▶ 追加する位置へドラッグして指を離す ▶ [完了]

お知らせ

- ウィジェットをホーム画面から削除するには、ウィジェットをロングタッチし、画面上部の「×削除」までドラッグして指を離します。

壁紙を変更する

ホーム画面とスタート画面の壁紙を変更できます。例：「壁紙」アプリで画像を選択するとき

- 1 ホーム画面の空いたスペースをロングタッチ
 - 画面下部にホーム画面メニューが表示されます。
- 2 [壁紙設定] ▶ 「壁紙」アプリを選択
- 3 画像を選択 ▶ [壁紙に設定] ▶ [ホーム画面] / [スタート画面] / [ホーム画面とスタート画面]

ナビゲーションポータルを利用する

ホーム画面（右）で、左にスライド／フリックするとナビゲーションポータルの画面が表示されます。ナビゲーションポータルでは、歩数情報やデータ通信量などの端末情報、スマホの便利な使い方やお得な情報などが一覧で表示されます。

- 1 ホーム画面（右）で左にスライド／フリック
- 2 [私のデータ] タブまたは [使い方ナビ] タブをタップ ▶ 確認したい情報をタップ
 - 使い方ナビの情報をタップすると、使い方ナビのサイトへアクセスします。

お知らせ

- 一覧の一番下にある「設定」をタップすると、更新情報があるときに通知するかどうかを設定することができます。
- 「使い方ナビ」の一番下にある「もっと見る」をタップすると、他の情報が表示されます。すべての情報が表示されている場合は「トップへ戻る」が表示されます。「トップへ戻る」をタップすると、一番上の情報が表示されます。

Kyocera
Confidential

ホーム画面の設定を行う

1 ホーム画面の空いたスペースをロングタッチ

- 画面下部にホーム画面メニューが表示されます。

2 [ホームの設定]

通知件数の表示	ホーム画面のアプリアイコンに表示される通知件数の表示のON/OFFを設定します。
ワンタッチボタンの表示	ホーム画面にワンタッチボタンを表示するかどうかを設定します。
Googleアプリの表示	ホーム画面にGoogleアプリの画面を表示するかどうかを設定します。メインホーム画面を右にフリックすると表示できます。
ご案内	ホーム画面のガイドを確認できます。

アプリ一覧

お買い上げ時に表示されるアプリは次の通りです。

- アプリによっては、ヘルプから機能や操作手順などを確認できます。

アイコン	アプリ	概要
	+メッセージ	携帯電話番号を宛先にして、テキストメッセージを送受信できるメッセージングアプリです。テキスト以外にも画像や動画、スタンプ等を送ることができます。
	Amazonショッピング	Amazonでよりお得に、より便利にオンラインショッピングをご利用いただける公式アプリです。
★	APN切替制御	◆◆
	Chrome	ウェブページの閲覧を行うことができます。
	dcard	dカードのご利用明細、たまったdポイント、おトクな情報のエントリーを簡単に確認できるアプリです。また、ドコモが提供する電子マネー「iD」の設定ができます。
	Disney DX	Disney DX (ディズニードX) は、ディズニード公式動画配信サービス「ディズニードプラス」がもっと楽しくなる特別映像や限定特典が満載のアプリです。
	Duo	ビデオ通話を利用できるアプリです。
	dフォト	スマホやパソコンにある写真・動画を「無料で5GBまで」ドコモのクラウドにお預かりするサービスです。撮影した写真をフォトブックにする「プリントサービス機能」のご利用には、別途お申し込みとdフォト プリントアプリのインストールが必要です。
★	dヘルスケア	歩数計測や体重管理などが行える健康アプリです。
	dポイント	dポイントを「確認する」「ためる」「つかう」ことができるアプリです。

Kyocera
Confidential

アイコン	アプリ	概要
	dマーケット	音楽、動画、書籍などのデジタルコンテンツの販売や、ショッピングサイトや旅行予約サイトなどさまざまなサービスを提供しています。
	dメニュー	「dメニュー」へのショートカットアプリです。dメニューでは、ドコモのおすすめするサイトや便利なアプリに簡単にアクセスすることができます。
	d払い	ドコモが提供するスマホ決済サービス「d払い」を利用するためのアプリです。対象の街のお店で、アプリに表示されたバーコードを提示するだけで、簡単・便利・おトクにお買い物をすることができます。
	Facebook	Facebookは、友達や家族、同僚や同級生たちとのつながりを深めたり、今世界で何が起きているかを知ることができます。
	Files	画像や動画、音楽、ダウンロードしたデータなどのファイルを探すことができます。
	Gmail	Googleや一般のサービスプロバイダが提供するEメールを利用できます。
	Google	キーワードから本端末内やウェブサイトを対象に検索できます。
	Google Playムビー&TV	Google Playで映画などをレンタルしたり、購入したりすることができます。
	iDアプリ	ドコモが提供する電子マネー「iD」を利用するためのアプリです。「iD」を設定したおサイフケータイをお店の読み取り機に近づけて簡単・便利にショッピングができます。
	Kindle	Amazonで購入した書籍を読むための電子書籍リーダーアプリです。
	my daiz	話しかけるだけで簡単に情報検索を行ったり、あなたに必要な情報を最適なタイミングでお届けするサービスです。天気や乗換への他に、レシピ検索や宅配調整などの提携サービスを追加でき、便利にご利用いただくことができます。
	Mydocomo	お客さまのご利用データ量・ご利用料金：dポイントなどの確認や各種手続き・お申し込みがオンラインで行えます。
	OfficeSuite	Word、Excelなどのファイルを開覧できます。
	Playストア	アプリやゲームなどをダウンロード・購入できます。
	radiko+FM	インターネットに接続して、インターネットラジオの放送を聞くことができます。
	YouTube	YouTubeで動画の再生や、動画検索、動画のアップロードなどができます。
	YT Music	公式アルバム/ミュージックビデオ/リミックス/カバー/ライブ版の幅広い音楽コンテンツが楽しめます。
	アラーム	指定した時刻をアラーム音やバイブレータでお知らせできます。

アイコン	アプリ	概要
	あんしんセキュリティ	無料で使えるウイルス対策機能に加え、危険サイト、危険Wi-Fi、迷惑電話などのセキュリティ対策や、ダークウェブモニタリングをご利用いただけるアプリです。
	インターネット	Webページを閲覧できます。
★	遠隔サポート	「あんしん遠隔サポート」をご利用いただくためのアプリです。「あんしん遠隔サポート」はお客様がお使いの機種種の画面を、専用コールセンタースタッフが遠隔で確認しながら、操作のサポートを行うサービスです。
	おサイフケータイ	複数の登録済みおサイフケータイに対応サービスを、一覧で表示できるアプリです。おすすめサービスの登録や登録済みサービスの残高、ポイントの確認もできます。
	おすすめアプリ	お客様の利用状況に合わせておすすめするアプリやサービスを確認できます。
	お天気ナビゲータ	知りたい地域の天気などを確認することができます。
	音声レコーダー	音声を録音できるアプリです。
	カメラ	静止画や動画の撮影ができます。
	カレンダー	予定やリマインダーなどを登録して管理できます。
	災害用キット	災害用伝言板と災害用音声お届けサービス、緊急速報「エリアメール」をご利用いただくためのアプリです。
	スケジュール&メモ	スケジュールを作成・管理できるアプリで、メモアプリとデータを共有しています。
	ストップウォッチ	ストップウォッチとして時間を計ったり、ラップタイムを計ったりできます。
	スマホ健康診断	スマホの健康診断を起動して、本製品の状態を確認することができます。
	世界時計	複数の都市を登録して、日付・時刻を確認できます。
	設定	本端末の各種設定ができます。
	タイマー	指定した時間をタイマー音でお知らせできます。
★	地図アプリ	車・徒歩・電車など複数の移動手段に合わせてお出かけをトータルにサポートするアプリです。ナビゲーション機能など一部機能のご利用にあたっては別途有料サービスへのお申し込みが必要です。
	使い方ナビ	オススメの機能や設定、困った時の解決方法などを紹介する、京セラのスマートフォンサイトです。
	データコピー	機種変更時のデータ移行や、microSDカードへのバックアップ・復元ができるアプリです。



アイコン	アプリ	概要
	データスウィッチ	機種変更時などに古い端末から新しい端末へ電話番号などのデータをコピーするデータ移行アプリです。 ※Google Playからインストールする必要があります。
	データ保管BOX	データ保管BOXをご利用いただくためのアプリです。データ保管BOXは、必要なファイルをアップロードし、クラウド上で手軽に管理できるサービスです。
	電卓	四則演算などの計算ができます。
	電話	電話の利用や、通話の設定をすることができます。
	ドコモ位置情報	イマドコサーチ、イマドコかんたんサーチ、ケータイお探しサービスの位置情報サービス機能の設定をします。
	ドコモ電話帳	ドコモが提供する電話帳アプリです。docomoアカウントの電話帳データをクラウド上で管理できます。
	ドコモメール	ドコモのメールアドレス (@docomo.ne.jp) を利用して、メールの送受信ができます。dアカウントを利用すれば、タブレットやPCブラウザなど複数のデバイスから同一のメールアドレスを使ってメールの送受信や閲覧が行えます。
	ドライブ	Google ドライブに保存したファイルを閲覧・編集できます。
	取扱説明書	本端末の取扱説明書です。説明から使いたい機能を直接起動することもできます。
	はなして翻訳	お互いの言葉を相手の言語に翻訳するアプリです。対面翻訳・電話翻訳・うつつて翻訳・定型文機能を利用し言語の異なる相手とのコミュニケーションを楽しむことができます。
	フォト	撮影した静止画や動画を表示・編集したり、Googleのオンラインストレージにバックアップすることができます。
	歩数計	歩数や消費カロリー、目標歩数の設定などができます。
	マイマガジン	マイマガジンは、日々新しい情報や驚きに触れあえる、あんしん・あんぜんの無料ニュースアプリです。
	マップ	現在地を表示したり、目的地までの経路の検索などができます。
	メモ帳	メモを作成できるアプリです。
	ライト	ライトを利用できます。
	画面メモ	画面メモとして保存したデータを確認できます。
	画面録画	画面を録画したデータを確認できます。
	写真/動画	カメラで撮影した写真や動画、画面メモなどのデータを確認できます。

お知らせ

- アプリによっては、ダウンロード、インストールが必要な場合があります。アプリのダウンロードには別途パケット通信料がかかります。
- お買い上げ時に登録されているアプリの一部はアンインストールできます。アンインストールしたアプリは「Play ストア」(→P.44) などから再度ダウンロードできる場合があります。

Kyocera
Confidential

電話をかける

- 1  ▶ [ダイヤル]タブをタップ
 - 電話番号入力画面が表示されます。
- 2 電話番号を入力
 - [削除] をタップすると、番号を削除できます。
- 3 [発信] ▶ 通話
- 4  / [電話を切る]
 - 「あとから録音」(→P.35) についての画面が表示された場合は、画面に従って操作してください。

お知らせ


- VoLTEは、通話やビデオコールを高品質でご利用いただけます。VoLTEのご利用には、自分と相手が以下の条件を満たす必要があります。
 - VoLTE対応機種であること
 - VoLTE利用可能エリアであること
 - モバイルネットワーク設定の「優先ネットワークの種類*1」が「5G/4G/3G/GSM」または「4G/3G/GSM」のいずれかに設定され、「4G 回線による通話*2」が「ON」に設定されていること
 - ドコモのLTEサービスエリアでは、「4G 回線による通話」が「OFF」の場合、データ通信も一時的に3Gとなることがあります。
- ※1 ホーム画面で [設定] ▶ [その他] ▶ [ネットワークとインターネット] ▶ [モバイル ネットワーク] ▶ [優先ネットワークの種類]
- ※2 ホーム画面で [設定] ▶ [その他] ▶ [ネットワークとインターネット] ▶ [モバイル ネットワーク] ▶ [4G 回線による通話]

プッシュ信号の入力

銀行の残高照会やチケットの予約サービスなど、通話中に番号を入力する必要があるサービスを利用する場合は、あらかじめ電話番号の他に追加する番号を入力して発信できます。


2秒間の停止 (,) の利用

電話がつながると、追加した番号が約2秒後に自動的に送信されます。

- 1  ▶ [ダイヤル]タブをタップ
 - 電話番号入力画面が表示されます。
- 2 [メニュー] ▶ [特番付加] ▶ [自動ポーズ(,)]

待機 (;) の利用

電話がつながったら自動的に待機し、追加した番号を送信するかどうかの確認画面が表示されます。

- 1  ▶ [ダイヤル]タブをタップ
 - 電話番号入力画面が表示されます。
- 2 [メニュー] ▶ [特番付加] ▶ [手動ポーズ(;)]

緊急通報

緊急通報	電話番号
警察への通報	110
消防・救急への通報	119
海上での通報	118


お知らせ

- 本端末は、「緊急通報位置通知」に対応しております。110番、119番、118番などの緊急通報をかけた場合、発信場所の情報（位置情報）が自動的に警察機関などの緊急通報受理機関に通知されます。お客様の発信場所や電波の受信状況により、緊急通報受理機関が正確な位置を確認できないことがあります。
 - なお、「1184」を付加してダイヤルするなど、通話ごとに非通知とした場合は、位置情報と電話番号は通知されませんが、緊急通報受理機関が人命の保護などの事由から、必要であると判断した場合は、お客様の設定に関わらず、機関側がGPSを利用した位置測位による正確な位置情報と電話番号を取得することがあります。
 - また、「緊急通報位置通知」の導入地域／導入時期については、各緊急通報受理機関の準備状況により異なります。
- 日本国内ではnanoUIMカードを取り付けていない場合やPINコードロック中、PINロック解除コードの入力画面では緊急通報番号（110番、119番、118番）に発信できません。
- 本端末から110番、119番、118番通報の際は、携帯電話からかけていることと、警察・消防機関側から確認などの電話をする場合があるため、電話番号を伝え、明確に現在地を伝えてください。
 - また、通報は途中で通話が切れないように移動せず通報し、通報後はすぐに電源を切らず、10分程度は着信のできる状態にしておいてください。
- かけた地域により、管轄の消防署・警察署に接続されない場合があります。
- 着信拒否設定を行っている場合に緊急通報番号（110番、119番、118番）に発信すると、着信拒否設定の項目が「OFF」に設定されます。

国際電話 (WORLD CALL)

WORLD CALLは国内でドコモの端末からご利用になれる国際電話サービスです。

WORLD CALLの詳細については、ドコモのホームページをご覧ください。

- 1  ▶ [ダイヤル]タブをタップ
 - 電話番号入力画面が表示されます。
- 2 +(「0」をロングタッチ) ▶ 国番号を入力 ▶ 地域番号(市外局番)を入力 ▶ 相手先電話番号の順に入力

お知らせ

- 地域番号（市外局番）が「0」で始まる場合には、先頭の「0」を除いて入力してください。ただし、イタリアなど一部の国・地域におかけになるときは「0」が必要な場合があります。

Kyocera
Confidential

電話を受ける

- 1 電話がかかってくると、着信音が鳴り、着信画面が表示される



- 2 を右にスライドしても電話に出ることができます。

- 3 通話が終わったら /【電話を切る】

お知らせ

- 「スグ電設定」(→P.27) の「応答」がONの場合は、電話がかかってきたときに本端末を耳に当てるだけで電話を受けられます。
- 「スグ電設定」(→P.27) の「切断(モーション)」／「切断(音声)」がONの場合は、通話中にモーションや音声で電話を切ることができます。

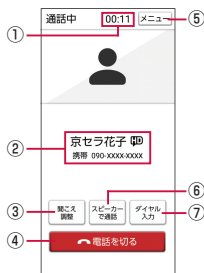
通知パネルから着信画面を表示する

着信は通知パネルからも確認できます。

- 1 着信中にステータスバーを下にスライド
 - 「パネル表示」の場合は「通知表示」をタップして「通知表示」に切り替えます(→P.26)。
- 2 「着信中」の通知をタップ
 - 着信画面に切り替わります。

通話中の操作

通話中の画面ではハンズフリーの利用や通話音量の調節などの操作ができます。



- ① 通話時間
- ② 相手の名前や電話番号
- ③ 聞こえ調整
 - 聞こえ調整のONとOFFを切り替えます。
- ④ 電話を切る
- ⑤ メニュー
 - 電話帳や着信／発信履歴の表示や、通話の保留などができます。
- ⑥ スピーカーで通話／スピーカーを解除
 - ハンズフリー通話のONとOFFを切り替えます。
 - Bluetooth機器を接続している場合は、音声の出力先を切り替えることができます。
- ⑦ ダイヤル入力
 - ダイヤル入力画面が表示されます。

お知らせ

- ハンズフリー通話では次の内容にご注意ください。
 - 屋外や騒音が大きい場所、音の反響が大きい場所で通話を行うときは、イヤホンマイクをご利用ください。
 - ハンズフリー通話中、音が割れて聞き取りにくいときは、通話音量を上げてください。

通話音量

- 1 通話中に または
 - 音量調節バーが表示されます。

通話中に番号を入力

通話中にダイヤルパッドを表示して追加する番号を入力します。

- 1 通話中画面で【ダイヤル入力】
- 2 追加番号を入力

通話履歴

通話履歴を表示する

- 1 ▶「着信履歴」／「発信履歴」タブをタップ
 - 通話履歴一覧画面が表示されます。
 - : 着信
 - : 発信
 - : 伝言メモあり
 - : 不在着信
 - : 発信
 - : 通話音声メモあり

通話履歴の電話番号を電話帳に登録する

- 1 通話履歴一覧画面で電話番号をタップ▶【メニュー】▶【電話帳に登録】▶【連絡先を作成】
 - アカウントの選択画面が表示された場合は、使用するアカウントを選択するか、「新しいアカウントを追加」をタップしてアカウントを登録してください。
- 2 必要な項目を入力▶【保存】

不在着信を表示する

不在着信がある場合は、ステータスバーに「○○○」が表示されます。

- 1 ステータスバーを下にドラッグ
- 2 [不在]

Kyocera
Confidential

伝言メモ

伝言メモを設定すると、留守番電話サービスを契約していない場合でも、電話に応答できないときに応答メッセージを再生し、相手の音声を録音することができます。

- 1件あたりの最大録音時間について→P.74

1 ▶ [メニュー] ▶ [伝言メモ]

伝言メモ応答設定	伝言メモを利用するかどうかを設定します。
応答時間	応答するまでの時間を設定します。
伝言メモリスト	伝言メモの再生や削除、保護／解除をします。
応答メッセージ	応答メッセージを設定します。

お知らせ

- 録音された伝言メモがある場合は、ステータスバーに ✓ が表示されます。ステータスバーを下にスライド ▶ [伝言メモ録音あり] と操作すると、伝言メモリスト画面が表示され、録音された伝言メモを確認できます。
- 録音された伝言メモを削除するには、伝言メモリスト画面で削除する伝言メモをタップ ▶ [メニュー] ▶ [削除] ▶ [OK] と操作します。

通話設定

ネットワークサービスや、通話、発着信など通話に関する設定ができます。

1 ▶ [メニュー] ▶ [通話設定]

ネットワークサービス・海外設定	ネットワークサービスや国際ローミング時の設定、利用者情報の送信について設定します。 <ul style="list-style-type: none">● ネットワークサービスについて→P.35● 海外設定について→P.68
国際ダイヤルアシスト	国際ダイヤルアシストについて→P.67
伝言メモ	伝言メモについて→P.35
着信拒否設定	着信拒否設定について→P.36
迷惑電話対策	ONに設定すると、電話帳に登録されていない番号からの着信の場合、着信画面に「迷惑電話対策作動中」と表示され、通話は自動的に録音されます。また、通話履歴などから発信する場合、電話帳に登録されていない番号であることの注意喚起が表示されます。
応答拒否SMS	電話に出られない場合などに、着信を拒否して送信するメッセージを確認、編集します。
ステップアップ着信	着信音を徐々に大きく（ステップアップ）してお知らせするように設定します。
ライト点滅着信	着信時にライトを点滅させて、着信をお知らせするかどうかを設定します。
着信相手非表示	着信時に相手の名前を表示しないようにするかどうかを設定します。

市外局番メモリ	電話の発信時に、入力した電話番号に登録した市外局番を付与して発信するように設定します。
通話音声メモ	録音した通話音声メモを再生、削除などをしたり、あとから録音の設定をしたりできます。
聞こえ調整	相手の声の聞こえかたを調整します。
スグ電設定	→P.27
通話時間	国内または海外での通話時間を確認できます。
オフィスリンク設定	オフィスリンクの保留転送、プッシュクスに関する設定を行います。

お知らせ

- オフィスリンクは法人のお客様向け内線サービスです。

ネットワークサービスの設定

1 ▶ [メニュー] ▶ [通話設定] ▶ [ネットワークサービス・海外設定] ▶ [ネットワークサービス]

留守番電話サービス	電話をかけてきた相手に応答メッセージでお答えし、お客様に代わって伝言メッセージをお預かりするサービスです。
転送でんわサービス	電話を転送するサービスです。
キャッチホン	通話中に別の電話がかかってきたときに、現在の通話を保留にして新しい電話に出ることができるサービスです。
発信者番号通知	電話をかけるときに、相手の電話機に自分の電話番号を表示させることができます。
迷惑電話ストップサービス	いたずら電話などの「迷惑電話」を着信しないように登録することができます。
番号通知お願いサービス	電話番号が通知されない電話に対して、番号通知のお願いをガイダンスで応答します。
着信通知	着信の情報をSMSでお知らせします。
英語ガイダンス	各種ネットワークサービス設定時のガイダンスや、圏外などの音声ガイダンスを英語に設定することができます。
遠隔操作設定	留守番電話サービスや転送でんわサービスなどを、プッシュ式の一般電話や公衆電話、ドコモの携帯電話などから操作できるようにします。
公共モード（電源OFF）設定	電源を切っている場合の着信時に、電話をかけてきた相手に電源を切る必要がある場所にいるため、電話に出られない旨のガイダンスが流れ、自動的に電話を終了します。

着信拒否設定

- 1 [☰] ▶ [メニュー] ▶ [通話設定] ▶ [着信拒否設定]

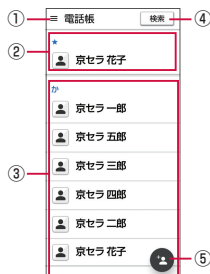
登録外着信拒否	電話帳に登録されていない相手からの着信を受けないように設定します。
非通知着信拒否	電話番号が通知されない相手からの着信を受けないように設定します。
公衆電話着信拒否	公衆電話からの着信を受けないように設定します。
通知不可能着信拒否	電話番号の通知が不可能な相手からの着信を受けないように設定します。
番号指定拒否	指定した電話番号からの着信とSMSを拒否するように設定します。 ● 指定電話番号の編集：[メニュー] ▶ [追加] ▶ 電話番号を編集 ▶ [登録]

電話帳

電話帳には電話番号やメールアドレスなどの情報を入力できます。

電話帳を表示する

- 1 ホーム画面で[ドコモ電話帳]
● 連絡先一覧画面が表示されます。



- 1 メニュー
- 2 お気に入りに登録した連絡先
- 3 連絡先に登録された写真・名前
- 4 検索
- 5 新しい連絡先の作成

電話帳を管理する

連絡先を登録する

- 1 ホーム画面で[ドコモ電話帳] ▶ [+]
● Googleアカウントなどを設定している場合は、保存先のアカウントを選択します。
- 2 必要な項目を入力
● 各項目をタップすると、項目を入力できます。
● 項目によっては[▽]をタップすると、さまざまな設定の変更ができます。
- 3 [保存]

お知らせ

- 登録する電話番号が一般電話の場合は、市外局番から入力してください。

電話帳から電話をかける

- 1 ホーム画面で[ドコモ電話帳]
- 2 連絡先を選択 ▶ [電話]

連絡先を編集する

- 1 ホーム画面で[ドコモ電話帳]
- 2 編集する連絡先を選択 ▶ [メニュー] ▶ [編集]
- 3 各項目を編集 ▶ [保存]

連絡先をお気に入りに追加する

- 1 ホーム画面で[ドコモ電話帳]
- 2 よく使う連絡先を選択 ▶ [メニュー] ▶ [お気に入りに追加]

メニューを利用する

- 1 ホーム画面で[ドコモ電話帳]
- 2 [≡] ▶ [設定]

ユーザー情報	自分のプロフィールを表示して編集できます。
クラウドメニュー	クラウドメニューを表示します。
dアカウント設定	dアカウントの設定をします。
海外利用設定	ドコモ電話帳を海外で利用する際、クラウドとの同期や設定など、通信が発生する機能を利用するかどうかを設定します。
利用状況レポート設定	利用状況の情報をドコモに送信するかどうかを設定します。 ● クラウドの利用開始と連動してオンになります。
アカウント	アカウントについて→P.59
新しい連絡先のデフォルト アカウント	連絡先をどのアカウントに登録するかを設定します。登録する際に[保存先]をタップして、アカウントを変更することもできます。
表示する連絡先	連絡先一覧画面に表示する連絡先を設定します。
フリガナ (名前)	連絡先に表示するふりがなを設定します。
インポート	連絡先をインポートします。
エクスポート	連絡先をエクスポートします。
番号指定拒否	着信拒否の設定を行います。

連絡先にラベル (グループ) を設定する

- 1 ホーム画面で[ドコモ電話帳]
- 2 [≡] ▶ [ラベルを作成]
● Googleアカウントなどを設定している場合は、アカウントを選択します。
- 3 ラベル(グループ)の名前を入力 ▶ [OK]
- 4 [連絡先を追加] ▶ ラベル(グループ)に追加する連絡先

Kyocera
Confidential

自分のプロフィールを確認して情報を編集する

- 1 ホーム画面で[ドコモ電話帳]
- 2 [三] ▶ [設定] ▶ [ユーザー情報]
 - 自分のプロフィール画面が表示されます。
- 3 [メニュー] ▶ [編集] ▶ 各項目を入力 ▶ [保存]

連絡先をエクスポート／インポート／共有する

連絡先を内部ストレージやmicroSDメモリカードからインポート／エクスポートできます。

- 連絡先によっては、データの一部がインポート／エクスポートされない場合があります。

- 1 ホーム画面で[ドコモ電話帳]
- 2 [三] ▶ [設定] ▶ [インポート]／[エクスポート]
- 3 インポート元やエクスポート方法を選択 ▶ 項目を選択
 - 「エクスポート」で「すべての連絡先を共有」を選択した場合は、通知パネルの通知表示（→P.26）から「ドコモ電話帳」の通知をタップして共有に使用するアプリを選択します。
 - 以降は画面の指示に従います。

メール／ウェブブラウザ

ドコモメール

ドコモのメールアドレス (@docomo.ne.jp) を利用して、メールの送受信ができます。

送受信したメールはドコモのメールサーバに保存されるので、機種変更時のデータ移行や、端末紛失時のデータ復旧が簡単に行えます。またdアカウントを利用すれば、タブレットやPCブラウザなど複数のデバイスから同一のメールアドレスを使ってメールの送受信や閲覧が行えます。

●ドコモメールの詳細については、ドコモのホームページをご覧ください。

<https://www.nttdocomo.co.jp/service/docomomail/>

1 ホーム画面で[メール] ▶ [ドコモメール]

- 以降は画面の指示に従って操作してください。

+メッセージ

携帯電話番号を宛先にして、テキストメッセージだけでなく、画像、動画、スタンプなどをチャット形式で送受信できます。また、1対1でのメッセージのやりとりだけでなく、複数人でのグループメッセージのやりとりもできます。

+メッセージを利用していない相手とは、+メッセージアプリでショートメッセージサービス (SMS) での送受信をすることができます。

また、公式アカウントを利用することで企業とのメッセージのやりとりを行うことができます。

+メッセージの詳細については、ホーム画面で [メール] ▶ [+メッセージ] ▶ [マイページ] ▶ [ヘルプ] ▶ [使い方ガイド] を参照するか、ドコモのホームページをご覧ください。

https://www.nttdocomo.co.jp/service/plus_message/

1 ホーム画面で[メール] ▶ [+メッセージ]

- 画面下部のメニューより [連絡先] をタップすると連絡先一覧画面が、[メッセージ] をタップするとメッセージ一覧画面が表示されます。



1 切替タブ

- タップすることで、すべての連絡先を表示するか、+メッセージの利用者 (👤のアイコンが表示されている連絡先) のみを表示するか、切り替えることができます。

2 マイプロフィール

- お客様の連絡先が表示されています。タップすることでマイプロフィールを表示・編集できます。

3 公式アカウントを探す

- タップすると公式アカウントストアが表示されます。

4 お気に入りの連絡先

- お気に入りの設定した連絡先が連絡先一覧の上段、「公式アカウントを探す」の下に表示されます。

5 +

- +メッセージを利用している連絡先を表すアイコンです。このアイコンが表示されている連絡先とグループメッセージのやりとりができたり、写真、スタンプなどをやりとりしたりすることができます。

6 連絡先

- タップすることで、連絡先の詳細を確認することができます。

7 +

- タップすることで連絡先を追加できます。

8 プロフィール画像

- 相手のプロフィール画像が表示されます。連絡先に登録されたプロフィール画像より、相手が登録したプロフィールの画像が優先して表示されます。

9 メッセージ

- タップするとメッセージ画面を表示することができます。

10 公式アカウント

- 企業が運営しているアカウントです。アイコンが丸囲いの四角 (□) で表示されます。

11 i

- サブメニューを表示します。

- すべて既読: 未読メッセージをすべて既読にします。
- メッセージの並べ替え: メッセージの並べ替えを行います。

12 ✓

- ドコモの審査を通過したことを示す認証済みマークです。

13 +

- 新しいメッセージと新しいグループメッセージを作成できます。

メッセージを送信する

1 ホーム画面で[メール] ▶ [+メッセージ]

2 画面下部のメニューより[メッセージ] ▶ [👤] ▶

[新しいメッセージ] / [新しいグループメッセージ]

- グループメッセージとは、+メッセージサービス利用者 (連絡先に👤マークがついている人) 複数人でメッセージのやりとりができる機能です。

3 宛先を選択

- 連絡先に登録されていない宛先に送信する場合は、「[名前] や電話番号を入力」をタップし、電話番号を直接入力してください。
- グループメッセージの場合は、宛先を複数選択後、[OK] をタップしてください。

4 メッセージ入力欄をタップ ▶ 文字を入力 ▶ [➤]

- 宛先が+メッセージ利用者であれば、写真や動画、スタンプを送信できます。

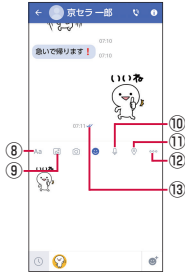
(アイコン表示なし)：サーバにメッセージを送信済み
✕：メッセージ送信に失敗

ショートメッセージサービス (SMS) についてのお知らせ

- 海外通信事業者をご利用のお客様の間でも送受信できます。ご利用可能な国・海外通信事業者については、ドコモのホームページをご覧ください。
- 宛先が海外通信事業者の場合、「+」、「国番号」、「相手先携帯電話番号」の順に入力します。携帯電話番号が「0」で始まる場合は、先頭の「0」を除いた電話番号を入力します。また、「010」、「国番号」、「相手先携帯電話番号」の順に入力しても送信できます。
- 宛先に「#」または「✳」がある場合、SMSを送信できません。
- 宛先の電話番号に184/186を付与した場合はSMSを送信できません。

+メッセージについてのお知らせ

- 海外ローミングにより+メッセージアプリをご利用いただくには、+メッセージアプリにて海外ローミング時の+メッセージ利用設定を「オン」に設定していただく必要があります（お買い上げ時は「オフ」に設定されています）。また、本端末のデータローミングの設定を「オン」にしてください。
- 機種変更前、またはMNPによる転入前端末で+メッセージを利用されていた場合であっても、メッセージの受信を行うには+メッセージアプリを起動し、+メッセージ利用規約等に同意いただく必要があります。



- 1 ● 電話アプリが起動し、発信できます。
- 2 ● サブメニューを表示します。
 - 連絡先の登録や、通知設定の変更などができます。
- 3 ● 写真やスタンプ、位置情報などを送信するためのシェアトレイを表示します。
 - シェアトレイを表示すると、画像送信や音声録音などの機能が使用できます。
- 4 ● タップするとカメラが起動します。ロングタッチすると、写真が撮影されそのまま送信することができます。
- 5 **メッセージ入力欄**
 - メッセージを入力することができます。
- 6 ● スタンプ選択画面への切り替え
- 7 ● 入力したメッセージを送信します。
- 8 **Aa**
 - テキスト入力画面への切り替え
- 9 ● 画像選択画面への切り替え
- 10 ● 音声録音画面への切り替え
- 11 ● 地図画面への切り替え
- 12 ● 連絡先/スケッチ/ファイル共有が選択できます。
- 13 **配信状態**
 - メッセージの配信状態を表示します。
 - ✓：相手がメッセージを閲覧済み
 - 送受信者両方の「メッセージの既読機能」設定がある場合のみ、お互いの既読状態を確認できます。
 - ✓：相手が端末にメッセージを受信済み

メッセージを読む

送受信したメッセージは、宛先/送信者ごとにスレッドにまとめて表示されます。

- 1 ホーム画面で[メール] ▶ [+メッセージ]
- 2 画面下部のメニューより[メッセージ] ▶ **読みたいメッセージのスレッドを選択**
 - メッセージを返信する際に使用する各機能について →P.38

メッセージを転送する

- 1 ホーム画面で[メール] ▶ [+メッセージ]
- 2 画面下部のメニューより[メッセージ] ▶ **スレッドを選択**
- 3 転送するメッセージをロングタッチ ▶
- 4 宛先を選択 ▶ **メッセージを入力** ▶ [Aa]

メッセージを削除する

- 1 ホーム画面で[メール] ▶ [+メッセージ]
- 2 画面下部のメニューより[メッセージ] ▶ **スレッドを選択**
- 3 削除するメッセージをロングタッチ ▶ ▶ **[削除]**
 - 本端末上のメッセージのみ削除され、相手側のメッセージは削除されません。なお、削除したメッセージは元に戻すことができません。
 - 画像選択時等、ごみ箱アイコンが表示されない場合があるため、メッセージを選択 ▶ ▶ **[削除]** ▶ **[削除]** の順

スレッドを削除する

- 1 ホーム画面で[メール] ▶ [+メッセージ]
- 2 画面下部のメニューより[メッセージ] ▶ 削除するスレッドをロングタッチ
- 3 [削除] ▶ [削除]
 - グループメッセージのスレッドを削除すると、グループから退出されます。

+メッセージの設定を変更する

- 1 ホーム画面で[メール] ▶ [+メッセージ]
- 2 画面下部のメニューより[マイページ] ▶ [設定]
- 3 各項目を選択

メッセージ	メッセージに関する設定や、バックアップ・復元などができます。
公式アカウント	公式アカウントの通知音設定ができます。
写真や動画	送受信時の写真や動画などの添付ファイルなどに関する設定ができます。
テーマカラー・背景	テーマカラーやメッセージ画面の背景が設定できます。
通知	通知に関する設定ができます。
プライバシー	パスコードやブロックなどが設定できます。
その他	ユーザー情報引継ぎの設定や+メッセージサービスの初期化などができます。

公式アカウント機能を利用する

- 1 ホーム画面で[メール] ▶ [+メッセージ]
- 2 画面下部のメニューより[公式アカウント]
- 3 「公式アカウントストア」画面にて利用したいアカウントをタップ
- 4 「利用規約に同意し、この公式アカウントを利用します」のチェックボックスにチェックを入れる
- 5 [利用する]

Gmail

Googleのメールサービスや一般のプロバイダが提供するEメールを利用できます。

- GoogleアカウントやEメールアカウントを設定していない場合は、画面の指示に従って設定してください。

Gmailを表示する

- 1 ホーム画面で[Google] ▶ [Gmail]
 - メッセージスレッドの一覧が表示されます。

お知らせ

- Gmailの詳細については、[≡] ▶ [ヘルプとフィードバック] をタップしてGmailのヘルプをご覧ください。

緊急速報「エリアメール」

エリアメールは、気象庁が配信する緊急地震速報、津波警報、気象等に関する特別警報、国・地方公共団体が配信する災害・避難情報を、回線混雑の影響を受けずに受信できるサービスです。

- エリアメールはお申し込み不要の無料サービスです。
- 次の場合はエリアメールを受信できません。
 - 電源オフ時
 - 国際ローミング中
 - 機内モード中
 - ソフトウェアアップデート中
 - PINコード入力画面表示中
 - 音声通話中（VoLTE音声通話中を除く）
- メインユーザの通話とSMSの許可がOFFになっている場合、サブユーザは一律で災害・避難情報が受信できません。
- 本端末のメモリの空き容量が少ないとき、3Gエリアにおいてテザリング設定中およびパケット通信を利用している場合は、エリアメールを受信できないことがあります。

緊急速報「エリアメール」を受信する

エリアメールを受信すると、内容通知画面が表示され、専用ブザー音または専用着信音とバイブレーションでお知らせします。

- 専用ブザー音および専用着信音は変更できません。

- 1 エリアメールを自動的に受信する
- 2 エリアメールを受信すると専用ブザー音または専用着信音が鳴る
 - ステータスバーにアイコンが表示されます。
- 3 エリアメールの本文が表示される

受信したエリアメールを後で確認する

- 1 ホーム画面で[安心サポート] ▶ [災害用キット]
- 2 [緊急速報「エリアメール」] ▶ [エリアメール]
- 3 エリアメール一覧から、任意のエリアメールを選択

エリアメールを削除する

- 削除したエリアメールは元には戻せません。

- 1 ホーム画面で[安心サポート] ▶ [災害用キット]
- 2 [緊急速報「エリアメール」] ▶ [エリアメール]
- 3 エリアメール一覧から、任意のエリアメールをロングタッチ ▶ [削除] ▶ [削除]

ウェブブラウザ

ウェブブラウザを利用して、パケット通信やWi-Fi機能による接続で、パソコンと同じようにインターネットのウェブサイトを閲覧できます。

ウェブサイトを表示する

- 1 ホーム画面で[インターネット]
 - ウェブブラウザが起動しウェブサイトが表示されます。



ウェブサイト表示中の基本操作

- 操作が完了します（ウェブサイトに

Kyocera
Confidential

メール/ウェブブラウザ

よっては操作できない場合があります。

- タップ：リンクやボタンを選択・実行できます。
 - スライド/フリック：ページをスクロールできます。
 - スームイン/アウト：ページを拡大/縮小できます。
 - 前のページに戻るには「戻る」をタップします。
- ウェブサイト内のテキストをコピーする場合は、テキストをロングタッチ▶/▶をドラッグしてテキストの範囲を選択▶「コピー」▶貼り付け先の入力欄をロングタッチ▶「貼り付け」と操作します。

URLを入力してウェブサイトを表示する

- 1 ウェブサイト表示中に画面上部のURL表示欄をタップ
- 2 ウェブサイトのアドレスまたは検索する語句を入力▶[実行]
 - 入力した文字を含む検索候補がURL表示欄の下に一覧表示された場合は、タップしてWebページを表示することもできます。
 - [ホーム] をタップすると、ホームページに設定されているページに戻ります。

新しいタブを追加する

複数のタブを開き、ウェブサイトの閲覧ができます。

- 1 ウェブサイト表示中に[メニュー]▶[新規タブ]
 - ウェブサイトが表示されます。

タブを切り替える

- 1 ウェブサイト表示中に[メニュー]▶[タブ一覧]
- 2 表示するタブを選択

タブを閉じる

- 1 ウェブサイト表示中に[メニュー]▶[タブ一覧]
- 2 閉じるタブを左または右にスライド
 - 閉じるタブの右上の「×」をタップしても閉じることができます。

ウェブブラウザの設定を変更する

- 1 ホーム画面で[インターネット]
- 2 [メニュー]▶[設定]

全般	ホームページの設定や画像表示の設定をします。
プライバシー	履歴の消去や位置情報に関する設定などをします。
文字サイズの変更	文字サイズに関する設定をします。
高度な設定	検索エンジンの設定やページコンテンツに関する設定をします。
Labs	クイックメニューや全画面モードの設定をします。
プライバシーポリシー	位置情報に関するプライバシーポリシーを確認できます。

ブックマーク/履歴を利用する

登録したブックマークや履歴を利用してウェブサイトを表示します。

- 1 ホーム画面で[インターネット]
- 2 [メニュー]▶[ブックマーク]
 - ブックマーク画面が表示されます。
- 3 「ブックマーク」/「履歴」タブをタップ
- 4 利用するブックマーク/履歴を選択

ブックマークに登録する

表示中のウェブサイトやブックマークに登録します。

- 1 ホーム画面で[インターネット]
- 2 [メニュー]▶[ブックマークを保存]
 - ブックマーク登録画面が表示されます。
- 3 タイトルなどの項目を入力▶[OK]

ブックマーク/履歴画面のメニューを利用する

ブックマーク画面で「メニュー」をタップすると、ブックマークの編集や削除などの操作が行えます。また、ブックマーク画面▶「履歴」タブをタップ▶[メニュー]▶「履歴をすべて削除」▶[OK]と操作すると、履歴をすべて削除できます。

カメラ／ギャラリー

カメラ

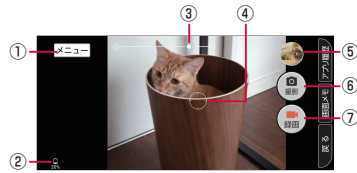
カメラをご利用になる前に

本端末はアウトカメラとインカメラで静止画や動画の撮影ができます。

撮影した静止画や動画は、すべてmicroSDメモリーカードまたは内部ストレージに保存されます。

- レンズ部に指紋や油脂などが付くと、鮮明な静止画／動画を撮影できなくなります。撮影する前に、柔らかい布などでレンズをきれいに拭いてください。
- 撮影時にはレンズ部に指や髪、ストラップなどがつかないようにご注意ください。
- 手ブレにご注意ください。画像がブレる原因となりますので、本端末が動かないようにしっかりと持って撮影するか、セルフタイマー機能を利用して撮影してください。特に室内など光量が十分でない場所では、手ブレが起きやすくなりますのでご注意ください。また、被写体が動いた場合もブレた画像になりやすいためご注意ください。
- 被写体がディスプレイに確実に表示されていることを確認してから、シャッター操作をしてください。カメラを動かしながらシャッター操作をすると、画像がブレる原因となります。
- 動画を録画する場合は、マイクを指などで覆わないようにご注意ください。また、録画時の声の大きさや周囲の環境によって、マイクの音声の品質が悪くなる場合があります。
- 次のような被写体に対しては、ピントが合わないことがあります。
 - ・ 無地の壁などコントラストが少ない被写体
 - ・ 強い逆光のもとにある被写体
 - ・ 光沢のあるものなど明るく反射している被写体
 - ・ ブラインドなど、水平方向に繰り返しパターンのある被写体
 - ・ カメラからの距離が異なる被写体がいっつもあるとき
 - ・ 暗い場所にある被写体
 - ・ 動きが速い被写体
- 撮影ライトを目に近づけて点灯させないでください。撮影ライト点灯時は発光部を直視しないようにしてください。また、他の人の目に向けて点灯させないでください。視力低下などの障がいを起こす原因となります。
- マナーモード設定中でも静止画撮影のフォーカスロック音やシャッター音、動画撮影の開始音、終了音は鳴ります。
- 不安定な場所に本端末を置いてセルフタイマー撮影を行うと、着信などでバイブレータが振動するなどして本端末が落下するおそれがあります。
- 本端末を利用して撮影または録音したものを複製、編集などする場合は、著作権侵害にあたる利用方法をお控えいただくことはもちろん、他人の肖像を勝手に使用、改変などをすると肖像権を侵害することとなりますので、そのような利用方法もお控えください。なお実演や興行、展示物などの中には、個人として楽しむなどの目的であっても、撮影または録音などが禁止されている場合がありますので、ご注意ください。
- お客様が本端末のカメラ機能を利用して公衆に著しく迷惑をかける不良行為などを行った場合、法律や条例／迷惑防止条例などに従って罰せられることがあります。
- 位置情報が付加された写真をインターネット上にアップロードする場合、第三者に位置情報を知られる可能性がありますので、ご注意ください。
- 極端に高温になっている場合は、カメラを使用することができません。また、使用中は温度上昇に応じてディスプレイの輝度が落ちる場合があります。

撮影画面の見かた



- ① メニュー
 - カメラを設定します (→P.43)。
- ② 電池レベル状態
 - 電池残量が少なくなったときや、充電中に表示されます。
- ③ ズーム
 - 画面上で2本の指を広げたり狭めたりするとズームバーが表示され、ズームを調整できます。[+] / [-] を押してズームを調整することもできます。
- ④ フォーカス枠
- ⑤ 直前に撮影／録画したデータ
 - 直前に撮影／録画したデータのサムネイルを表示します。タップするとデータを確認できます (→P.43)。
- ⑥ 撮影 (シャッター)
- ⑦ 録画／停止

お知らせ

- モニター画面で約2分間何も操作しないと、カメラが終了します。

静止画の撮影

- ① ホーム画面で[カメラ]
- ② 画面をタップ
 - タップしたところにピントが合います。
 - モニター画面をロングタッチするとフォーカスロックされます。
- ③ [撮影]
 - 撮影したデータは自動的に保存されます。

お知らせ

- 常時、オートフォーカスが動作し、自動でピントを合わせるコンティニューAF機能を搭載しておりますが、被写体によっては、ピントが合うまでに時間がかかる場合があります。

動画の撮影

- ① ホーム画面で[カメラ]
- ② [録画]
 - 録画が開始されます。
 - 録画中に「撮影」をタップすると、静止画を撮影できます。
- ③ [停止]
 - 録画が停止します。録画したデータは自動的に保存されます。

お知らせ

- 録画中は送話口／マイクでのみ、録音できます。

Kyocera
Confidential

カメラの設定

1 ホーム画面で[カメラ]

2 [メニュー]

サイズ	静止画／動画のサイズを選択します。
カメラ切替	アウトカメラとインカメラを切り替えます。
フラッシュ	撮影ライトの点灯方法を設定します。
連写	静止画撮影の際、シャッターを長く押しと連写撮影するように設定します。
画像補正	画像補正に関する設定をします。露出しレベルの異なる複数枚の写真を1枚の写真に合成する設定（自動HDR）にしたり、手振れ補正を有効にしたりできます。
タイマー	静止画撮影のセルフタイマーを設定します。設定した秒数が経過した後、静止画を撮影します。 <ul style="list-style-type: none">・カウントダウン中はカウントダウン音が鳴動し、撮影ライトが点滅します。・カウントダウン中に「撮影」をタップすると、カウントダウンを中止して撮影を開始します。
位置情報付加	設定後に撮影したすべての静止画／動画に位置情報を付加します。
保存先	保存先を設定します。
QRコード読取	QRコード、バーコードを検出し、対応したアプリを起動する通知を表示するかどうかを設定します。

お知らせ

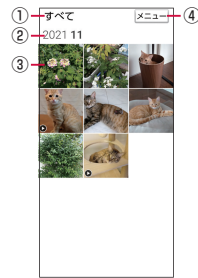
- 静止画を撮影する場合、アウトカメラとインカメラで撮影できるサイズが異なります。撮影できるサイズは次の通りです。
 - ・アウトカメラ：特別画質（4800万画素）、高画質（1200万画素）、低画質（720万画素）
 - ・インカメラ：高画質（800万画素）、低画質（480万画素）

ギャラリー

写真／動画で、内部ストレージ／microSDメモリカード内の画像／動画を一覧表示し再生できます。また、アルバムとして管理することもできます。

写真や動画を表示する

1 ホーム画面で[写真/動画] ▶ [写真/動画]



① 表示カテゴリ名

② 保存年月

- データを保存した年月が表示されます。

③ 保存データ

④ メニュー

- 表示中の各画面で、メニューが表示されます。表示カテゴリの変更やデータの削除、選択、スライドショーなどの操作ができます。

2 データを選択

- データが再生されます。
 - ・動画を再生するときは「動画を再生」をタップします。
- 表示中のデータをタップすると、以下の項目が表示されます。
 - ・メニュー：表示中のデータの共有やお気に入りへの追加、スライドショーへの登録、データの削除などが行えます。
 - ・送る：表示中の写真をメールなどで送ります。
 - ・壁紙に登録：表示中の写真を壁紙に設定します。
 - ・動画を再生：表示中の動画を再生します。

お知らせ

- 写真／動画で表示されるデータの中には、再生できないものもあります。

写真や動画を削除する

1 ホーム画面で[写真/動画] ▶ [写真/動画]

2 削除するデータをロングタップ ▶ [OK]

- 右上にチェックマークがついていることを確認します。
- 他のデータも削除する場合は削除するデータをタップしてチェックマークを付けます。

3 [メニュー] ▶ [削除] ▶ [OK]

アプリ

dメニュー

dメニューでは、ドコモのおすすめするサイトや便利なアプリに簡単にアクセスすることができます。

- 1 ホーム画面で[ドコモサービス] ▶ [dメニュー]
 - ブラウザが起動し、「dメニュー」が表示されます。

お知らせ

- dメニューをご利用になる場合は、ネットワークに接続されていることをご確認ください(→P.25)。
- dメニューへの接続およびdメニューで紹介しているアプリのダウンロードには、別途パケット通信料がかかります。なお、ダウンロードしたアプリによっては自動的にパケット通信を行うものがあります。
- dメニューで紹介しているアプリには、一部有料のアプリが含まれます。

dマーケット

音楽、動画、書籍などのデジタルコンテンツの販売や、ショッピングサイトや旅行予約サイトなどさまざまなサービスを提供しています。

- 1 ホーム画面で[ドコモサービス] ▶ [dマーケット]

お知らせ

- dマーケットの詳細については、次のホームページをご覧ください。
<https://d.dmkt-sp.jp/common/about/index.html>

Playストア

Google Playを利用して、便利なアプリや楽しいゲームを本端末にダウンロード、インストールできます。

- Google Playの利用にはGoogleアカウントの設定が必要です(→P.59)。
- 有料アプリの購入、返品、払い戻し請求などについて詳しくは、Google Play画面右上のアカウントアイコンをタッチして「ヘルプとフィードバック」からGoogle Playのヘルプをご覧ください。
- アプリのインストールに同意すると、アプリの使用に関する責任を負うことになります。多くの機能または大量のデータにアクセスするアプリには特にご注意ください。
- アプリのインストールは安全であることを確認の上、自己責任において実施してください。ウイルスへの感染や各種データの破壊などが発生する可能性があります。
- お客様がインストールしたGoogle LLCが提供するアプリを含む第三者提供アプリなどにより、各種動作不良や自己または第三者などへ不利益が生じた場合、当社では責任を負いかねます。
- お客様がPlayストアからインストールしたGoogle LLCが提供するアプリを含む第三者提供アプリにつきましては、各提供元にお問い合わせください。

アプリをインストールする

- 1 ホーム画面で[Play ストア]
 - Google Play画面が表示されます。

- 2 アプリを検索 ▶ インストールするアプリを選択
 - 表示内容をよくご確認のうえ、画面の指示に従って操作してください。

お知らせ

- アプリによっては、自動的にパケット通信を行うものがあります。パケット通信料が高額になる場合がありますのでご注意ください。
- アプリによっては、自動的にアップデートが実行される場合があります。

アプリをアンインストールする

- 1 ホーム画面で[Play ストア]
 - Google Play画面が表示されます。
- 2 Google Play画面右上のアカウントアイコンをタップ
 - Googleアカウントメニューが表示されます。
- 3 [マイアプリ&ゲーム] ▶ [インストール済み] タブをタップ
- 4 アンインストールするアプリをタップ ▶ [アンインストール] ▶ [アンインストール]
 - 有料アプリをアンインストールする場合は、画面の指示に従って操作してください。詳しくはGoogle Playのヘルプをご覧ください。

おサイフケータイ

お店などの読み取り機に本端末をかざすだけで、お支払いやポイントカードなどとして使える「おサイフケータイ対応サービス」がご利用いただける機能です。

電子マネーやポイントなどを本端末のICカード内に保存し、画面上で残高やポイントの確認などができます。また、おサイフケータイの機能をロックすることにより、盗難、紛失時に無断で使用されることを防ぐこともできます。

おサイフケータイの詳細については、ドコモのホームページをご覧ください。

- おサイフケータイ対応サービスをご利用いただくには、サイトまたはアプリでの設定が必要です。
 - 本端末の故障により、ICカード内データ*が消失・変化してしまう場合があります(修理時など、本端末をお預かりする場合は、データが残った状態でお預かりすることができますので、原則データをお客様自身で消去していただきます)。データの再発行や復元、一時的なお預かりや移し替えなどのサポートは、おサイフケータイ対応サービス提供者にご確認ください。重要なデータについては、必ずバックアップサービスのあるおサイフケータイ対応サービスをご利用ください。
 - 故障、機種変更など、いかなる場合であっても、ICカード内データが消失・変化、その他おサイフケータイ対応サービスに関して生じた損害について、当社としては責任を負いかねます。
 - 本端末の盗難、紛失時は利用停止などの対応方法について、速やかに当社およびご利用のおサイフケータイ対応サービス提供者へお問い合わせください。
- ※おサイフケータイ対応端末に搭載されたICカードに保存されたデータ

Kyocera
Confidential

「おサイフケータイ対応サービス」の利用方法

おサイフケータイ対応サービスをご利用いただくには、おサイフケータイ アプリよりサービスを設定してください。

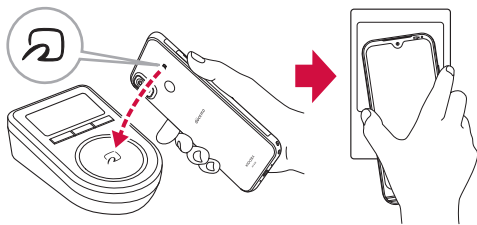
- 1 ホーム画面で[おサイフケータイ]
 - 初期設定が完了していない場合は、初期設定画面が表示されます。画面の指示に従って操作してください。
- 2 サービスを選択
- 3 サービスに関する設定をする
 - サービスのアプリまたはサイトから設定してください。
- 4 端末のマークを読み取り機にかざす

お知らせ

- おサイフケータイ対応のアプリを起動せずに、読み取り機にかざして利用することができます。
- 本端末の電源を切っても利用できますが、電源を長時間入れなかったり、電池残量が少ない場合や電源を入れてから一定時間は、利用できなくなる場合があります。
- 端末の省電力設定やデータセーバーの設定にかかわらず、おサイフケータイ対応のアプリはおサイフケータイ対応サービスの提供に必要な通信をバックグラウンドで行うため、パケット通信料がかかる場合があります。
- 本端末の電源を入れた後、再起動後およびソフトウェアアップデート後は、画面ロックを解除してから読み取り機にかざしておサイフケータイ対応サービスをご利用ください。
- spモード以外での通信において、ご利用のおサイフケータイ対応サービスによっては一部機能がご利用にならない場合がございますので、あらかじめご了承ください。なお、ahamoプランはspモードに対応しておりません。

対向機にかざす際の注意事項

読み取り機やNFCモジュールが内蔵された機器など、対向機にかざすときは、以下のことにご注意ください。



- マークを対向機にかざす際には、強くぶつけたりせず、ゆっくりと近づけてください。
- マークを対向機の中心へ平行になるようにかざしてください。中心にかざしても読み取れない場合は、本端末を少し浮かしたり、前後左右にずらしたりしてかざしてください。
- マークと対向機の間に金属物があると読み取れないことがあります。また、ケースやカバーに入れたことにより、通信性能に影響を及ぼす可能性がありますので読み取れない場合はケースやカバーから取り外してください。

NFC／おサイフケータイの機能をONにする

- 1 ホーム画面で[設定] ▶ [その他] ▶ [接続済みのデバイス] ▶ [接続の設定]
- 2 [NFC/おサイフケータイ] ▶ [NFC/おサイフケータイ]をON
 - NFC/おサイフケータイ機能がONになり、おサイフケータイ対応サービスのすべてが利用できます。

NFC／おサイフケータイの機能をロックする

画面ロック中にNFC／おサイフケータイの機能をOFFに設定します。

- 1 ホーム画面で[設定] ▶ [その他] ▶ [接続済みのデバイス] ▶ [接続の設定]
- 2 [NFC/おサイフケータイ] ▶ [NFC/おサイフケータイ ロック ON/OFF]をON

非接触型決済を利用する

- あらかじめNFC／おサイフケータイ機能をONに設定してください(→P.45)。
- 1 ホーム画面で[設定] ▶ [その他] ▶ [接続済みのデバイス] ▶ [接続の設定]
 - 2 [NFC/おサイフケータイ] ▶ [非接触型決済]
 - 3 [お支払いのデフォルトのアプリ] ▶ アプリを選択
 - 4 [デフォルトのアプリを使用] ▶ [別の決済アプリが起動されている場合を除く] / [常時]

iDアプリ

「iD」とは、ドコモが提供する電子マネーです。「iD」を設定したおサイフケータイをお店の読み取り機にかざして簡単・便利にショッピングができます。カード情報は複数枚登録できるので、特典などに応じて使い分けすることもできます。

- おサイフケータイでiDをご利用の場合、iD アプリなどで設定を行う必要があります。発行の方法については、各カード会社にお問い合わせください。
- iDサービスのご利用にかかる費用(年会費など)は、カード発行会社により異なります。
- 海外でiDアプリの設定・確認を行う場合は国内でのパケット通信料と異なります。
- iDに関する情報については、iDのホームページ (<https://id-credit.com/>) をご覧ください。

Kyocera
Confidential

ラジオ

radiko+FMを利用する

インターネットに接続して、インターネットラジオの放送を聞くことができます。

また、市販のイヤホンに接続することで、アナログFMラジオをFMチューナーで受信して聞くこともできます。

① ホーム画面で[ツール] ▶ [radiko+FM]

- インターネットラジオの放送局一覧画面が表示されます。

② 放送局を選択

アナログFMラジオへ切り替える

アナログFMラジオを聴くには、市販のイヤホンの接続が必要です。

① 放送局一覧画面 ▶ [📶] ▶ [FMチューナー]

② [📶] ▶ 放送局を選択 ▶ 本局または中継局を選択 ▶ [閉じる]

③ [▶]

お知らせ

- インターネットラジオの詳細については、[📶] ▶ [ヘルプ] と操作してご確認ください。
- アナログFMラジオの受信には、市販のイヤホンがアンテナとなります。
- アナログFMラジオは屋内や乗り物の中では電波を受信しにくいことがあります。できるだけ窓際で使用した方が受信しやすくなります。

位置情報サービスについて

GPS機能と対応するアプリを使用して、現在地の表示や目的地までのルート検索などを行うことができます。

GPS機能

- 本端末には、衛星信号を使用して現在地を算出するGPS受信機が搭載されています。GPS機能を利用する際にパケット通信料が発生する場合があります。
- GPSシステムのご利用には十分注意してください。システムの異常などにより損害が生じた場合、当社では一切の責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- 本端末の故障、誤動作、異常、あるいは停電などの外部要因（電池切れを含む）によって、測位（通信）結果の確認などの機会を逸したために生じた損害などの純粋経済損害につきましては、当社は一切その責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- 本端末は、航空機、車両、人などの航法装置として使用できません。そのため、位置情報を利用して航法を行うことによる損害が発生しても、当社は一切その責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- 高精度の測量用GPSとしては使用できません。そのため、位置の誤差による損害が発生しても、当社は一切その責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- GPSは、米国防務省により運営されており、米国の国防上の都合により、GPSの電波の状態がコントロール（精度の劣化、電波の停止など）されることがあります。
- ワイヤレス通信製品（携帯電話やデータ検出機など）は、衛星信号を妨害するおそれがあり、信号受信が不安定になることがあります。

- 各国・地域の法制度などにより、取得した位置情報（緯度経度情報）に基づく地図上の表示が正確でない場合があります。

■ 受信しにくい場所

GPSは人工衛星からの電波を利用しているため、次の条件では、電波を受信できない、または受信しにくい状況が発生しますのでご注意ください。

- 建物の中や直下
- 地下やトンネル、地中、水中
- かばんや箱の中
- ビル街や住宅密集地
- 密集した樹木の中や下
- 高圧線の近く
- 自動車、電車などの室内
- 大雨、雪などの悪天候
- 本端末の周囲に障害物（人やもの）がある場合

GPS機能 / 位置情報サービスをオンにする

① ホーム画面で[設定] ▶ [その他] ▶ [位置情報] ▶ 「位置情報の使用」をON ▶ [OK]

Googleマップを使用する

Googleマップで現在地の表示や場所の検索、経路の検索などことができます。

- Googleマップを利用するには、ネットワークに接続されていることをご確認ください（→P.25）。
- Googleマップは、すべての国や地域を対象としているわけではありません。

① ホーム画面で[マップ]

- Googleマップについて詳しくは、マップ画面でGoogleアカウントメニューを表示 ▶ [ヘルプとフィードバック] ▶ [ヘルプ] をタップしてサポートをご覧ください。

時計 / アラーム

アラームを設定する

指定した時刻をアラーム音やバイブレータでお知らせできません。

① ホーム画面で[アラーム]

② 登録先の時刻をタップ

- 登録先を追加するには、[メニュー] ▶ [追加] をタップしてください。

③ 時刻を設定 ▶ [OK]

- 設定済みのアラームを編集する場合は、編集するアラームの「詳細」をタップし、変更する項目を選択します。

④ 詳細を設定します。

繰り返し	アラームの繰り返しを曜日で指定します。平日（土日、日本の祝日以外）のみアラームを鳴動させる場合は「平日（祝日除く）」を選択します。
アラーム音	アラーム音を設定します。「なし」に設定すると「マナーモード」になります。
バイブレーション	アラーム音と同時にバイブレータを動作させるかどうかを設定します。
スヌーズ	スヌーズを利用するかどうかや、スヌーズの間隔を設定します。
アラーム名追加	名称を設定します。

5 [ON] / [OFF]

お知らせ





- アラームを設定した時刻になると、アラーム音やバイブレータが設定時間の間鳴動し、アラーム名が表示されます。
- 通話中にアラームが起動した場合、受話口/レシーバーからアラームを知らせる割込音が鳴ります。
- アラームを停止する場合は、「解除」をタップするか「スヌーズ」をタップします。
- 電源が入っていない場合は、アラームは鳴りません。

アラームを削除する

- 1 ホーム画面で[アラーム]
- 2 削除するアラームの「詳細」をタップ ▶ [削除]

アラームの設定をする

- 1 ホーム画面で[アラーム]
- 2 [メニュー] ▶ [設定]

アラーム優先	マナーモード設定中にアラーム音を鳴動するかどうかを設定します。
アラームの音量	アラームの音量を設定します。
アラーム鳴動時間	アラーム音やバイブレータが停止するまでの時間を設定します。
ボタン動作	アラーム鳴動時に  /  /  /  を押した場合の動作を設定します。
デフォルトのアラーム音	アラーム音を選択します。「なし」を選択すると、アラーム音は鳴りません。
週の始まり	週の始まりの曜日を選択します。

タイマーを利用する

指定した時間をタイマー音でお知らせできます。

- 1 ホーム画面で[ツール] ▶ [タイマー]
 - タイマー画面が表示されます。
 - 「+10分」、「+1分」、「+10秒」をタップすると、設定済みの時間を増やすことができます。
 - 「0秒に戻す」をタップすると、設定済みの時間が0秒になります。
 - [メニュー] ▶ [設定] をタップすると、タイマーの設定画面が表示され、マナーモード設定中にタイマーを優先するかどうかなどを設定できます。

2 時間をタップ

3 時間を入力 ▶ [OK] ▶ [スタート]

- カウントダウンが始まります。カウントダウンが終了すると、タイマー音が鳴ります。「止める」をタップするとタイマー音は止まります。

お知らせ

- 「+10分」、「+1分」、「+10秒」をタップすると、時間を増やしてカウントダウンを再開できます。
- タイマーを途中で停止する場合は「一時停止」をタップします。
- 「スタート」をタップするとカウントダウンを再開します。
- 「最初から」をタップするとカウントダウンをリセットします。

ストップウォッチを利用する

- 1 ホーム画面で[ツール] ▶ [ストップウォッチ]
 - ストップウォッチ画面が表示されます。
- 2 [スタート]
 - 時間計測が始まります。

お知らせ

- 計測を一時停止する場合は「ストップ」をタップし、再開する場合は「スタート」をタップします。「リセット」をタップすると、計測をリセットします。
- ラップタイムを計測する場合は、「ラップ」をタップします。

世界時計を利用する

複数の都市を登録して、日付・時刻を確認できます。

- 1 ホーム画面 ▶ [ツール] ▶ [世界時計]
 - 世界時計画面が表示されます。
 - [メニュー] ▶ [設定] と操作すると、世界時計の設定画面が表示され、自宅タイムゾーンなどを設定できます。
- 2 [メニュー] ▶ [都市追加]
 - 世界時計の都市選択画面が表示されます。
 - [メニュー] ▶ [並び順-時間] / [並び順-名前] と操作すると、時間順/名前順に並び替えて選択することもできます。
- 3 登録する都市にチェックを入れる ▶ [戻る]
 - 「全ての地域」をタップして地域を選択すると、選択した地域が表示されます。
 - 「国と都市を全て表示」にチェックを入れると、全ての国と都市を表示します。

お知らせ

- 登録した都市を削除する場合は、[メニュー] ▶ [都市追加] ▶ 選択した都市のチェックを外します。

カレンダー／スケジュール

カレンダーを利用する

カレンダーをスケジュール、1日、1週間、1ヶ月、1年で表示することができます。

- 1 ホーム画面で[カレンダー]
 - カレンダー画面が表示されます。

お知らせ

- カレンダー画面 ▶ [月] ▶ [年] / [月] / [週] / [日] / [予定リスト] と操作すると、カレンダーの表示を切り替えることができます。

カレンダーのメニューを利用する

- 1 ホーム画面で[カレンダー]
- 2 [メニュー]

今日に戻る	カレンダーを当日に移動します。
検索	予定を検索します。
更新	同期しているカレンダーを更新します。

表示するカレンダー	同期するカレンダーを選択します。
設定	アカウントの設定や週の開始日、タイムゾーン、通知などを設定します。

予定を新規登録する

- 1 ホーム画面で[カレンダー]
- 2 [予定を作成]
 - 新規作成画面が表示されます。
- 3 必要な項目を入力▶[完了]

メモ

メモ帳を利用する

- 1 ホーム画面で[メモ帳]
 - メモ一覧画面が表示されます。
 - 「検索」をタップして検索ワードを入力すると登録したメモを検索できます。
- 2 [新規作成]▶タイトルとメモを入力▶[保存]
 - メモが保存されます。

メモを確認/編集する

- 1 ホーム画面で[メモ帳]▶メモをタップ
 - メモ詳細画面が表示されます。
 - タイトルまたはメモをタップするとメモ入力画面に切り替わり、タイトルやメモを編集できます。
 - メモ詳細画面で「メニュー」をタップすると、メモの削除や共有、カラーの設定を行えます。

お知らせ

- メモ詳細画面の電話番号/メールアドレス/URLをタップすると、発信、SMSの作成、メールの作成、インターネットでサイトの表示などが行えます。

メモを選択して削除する

- 1 メモ一覧画面▶[メニュー]▶[削除]
- 2 削除するメモにチェックを入れる▶[OK]▶[OK]

音声レコーダー

音声レコーダーを利用する

- 1 ホーム画面で[ツール]▶[音声レコーダー]
 - 音声レコーダー画面が表示されます。
- 2 [録音]
 - 録音が始まります。
- 3 [停止]
 - 録音が停止され、録音した音声は保存されます。
 - 「一時停止」をタップすると録音を一時停止することができます。録音を再開する場合は「録音」をタップしてください。
 - 録音を停止すると再生画面が表示され、「再生」をタップすると録音した音声を再生して確認できます。
 - 音声レコーダー画面▶[メニュー]▶[ファイル形式]/

[保存先]と操作すると、録音した音声データの録音ファイル形式や保存先を設定できます。

お知らせ

- Bluetooth機能が接続しているマイクから録音することはできません。本端末の送話口/マイクで録音してください。

音声を再生する

- 1 音声レコーダー画面▶[録音データ一覧]
 - 音声データ一覧画面が表示されます。
 - 音声データ一覧画面▶[メニュー]▶[削除]と操作すると、音声データを削除することができます。
- 2 音声データをタップ
 - 再生画面が表示され、音声の再生が始まります。
 - 再生画面の「メニュー」をタップすると、音声データの削除や名称変更、共有、詳細情報の表示を行うことができます。
 - 再生画面で再生中/一時停止中に「巻き戻し」/「早送り」をタップすると、再生の巻き戻し/早送りができます。

音声データを選択して削除する

- 1 音声データ一覧画面▶[メニュー]▶[削除]
- 2 削除する音声データにチェックを入れる▶[OK]▶[OK]
 - 音声データが削除されます。
 - [すべて選択]▶[OK]▶[OK]と操作すると、すべての音声データを削除することができます。

電卓

電卓を利用する

電卓を利用できます。

- 1 ホーム画面で[ツール]▶[電卓]
 - 電卓画面が表示されます。
 - [AC]：計算結果を消去します。
 - [DEL]：最後に入力した数字/記号を消去します。

ドコモデータコピー

「ドコモデータコピー」は、本端末に保存されているデータを他の端末へコピーしたり、バックアップ・復元をしたりするためのアプリです。

機種変更時のデータ移行や、大切なデータの定期的なバックアップにご利用ください。

- 機種やOS、ファイルの種類によっては、正しくコピー、バックアップ、復元ができない場合があります。
- コピー、バックアップ対象の電話帳は、docomoおよび本体のアカウントとして登録されている電話帳です。
- 電池残量が不足しているとコピー、バックアップ、復元が実行できない場合があります。
- ドコモデータコピーの詳細については、ドコモのホームページをご覧ください。

データ移行

インターネットを使用しない1対1のダイレクト通信を利用して、電話帳、画像などのデータを移行先の端末へ直接コピーすることができます。

Kyocera
Confidential

アプリ

コピー元端末とコピー先端末の両方で「ドコモデータコピー」を起動し、2台並べた状態で利用してください。

- 1 ホーム画面で[安心サポート] ▶ [ドコモデータコピー] ▶ [データ移行]
 - 以降は画面の指示に従って操作してください。
 - コピー元端末とコピー先端末の両方に本アプリが必要で、インストールされていない場合、ドコモのホームページよりダウンロードできます。

バックアップ・復元

microSDカードを利用して、電話帳、画像などのデータの移行やバックアップ・復元ができます。

- バックアップまたは復元中にmicroSDカードを取り外したり、本端末の電源を切ったりしないでください。データが破損する場合があります。
- 名前が登録されていない電話帳はバックアップできません。
- 本端末やmicroSDカードの空き容量が不足していると、バックアップ・復元が実行できない場合があります。
- 本アプリでは静止画・動画などのデータのうち本端末に保存されているもののみバックアップされます。microSDカードに保存されているデータはバックアップされません。
- 画面ロック中や省電力設定の作動中などは、設定した時刻どおりには定期バックアップが実行されず、次回起動可能となったときに実行されます。

バックアップ

電話帳、メディアファイルなどのデータのバックアップを行います。

- 1 ホーム画面で[安心サポート] ▶ [ドコモデータコピー] ▶ [バックアップ&復元]
- 2 [バックアップ] ▶ [バックアップ開始] ▶ [開始する]
 - 選択したデータがmicroSDカードに保存されます。
- 3 [トップに戻る]

復元

microSDカードにバックアップした電話帳、メディアファイルなどのデータを本端末に復元します。

- 1 ホーム画面で[安心サポート] ▶ [ドコモデータコピー] ▶ [バックアップ&復元]
- 2 [復元] ▶ [次へ] ▶ [復元開始] ▶ [開始する]
 - 選択したデータが本端末に復元されます。
- 3 [トップに戻る]
 - 定期バックアップスケジュールが未設定の場合は「定期バックアップをONにする」と表示されますので、画面の指示に従って操作してください。

電話帳をdocomoのアカウントにコピー

Googleアカウントおよび本体に登録された連絡先をdocomoのアカウントにコピーします。

- 1 ホーム画面で[安心サポート] ▶ [ドコモデータコピー] ▶ [バックアップ&復元]
- 2 [電話帳アカウントコピー] ▶ コピーする電話帳の[選択] ▶ [上書き] / [追加]
 - コピーした電話帳がdocomoのアカウントに保存されます。
- 3 [OK]

歩数計

歩数計を利用する

歩数や消費カロリー、目標歩数の設定などができます。

- 1 ホーム画面で[歩数計]
 - 案内が表示されたら画面に従い操作します。
 - 歩数計画面が表示されます。

お知らせ

- 「データの初期化」(→P.49)を利用すると、歩数データをリセットできます。
- 次のような場合、正確に歩行を測定できないことがあります。
 - 本端末が不規則に動くとき
 - 体当たってはねるかばんの中など
 - 首や腰、かばんからぶら下げたとき
 - 不規則な歩行をしたとき
 - すり足歩行、サンダル、草履などの履物での歩行
 - 混雑した街を歩くなどの歩行の乱れ
 - 水辺や水中などでの歩行
 - 上下運動や振動の多い所で使用したとき
 - 立ったり、座ったりする動作
 - 歩行以外のスポーツ
 - 階段や急斜面の昇り降り
 - 乗り物(自転車、自動車、電車、バスなど)に乗車中の振動
 - 振動する台の上や連続する振動が伝わるような場所に置くと、歩数としてカウントされる場合があります。
 - 歩き始めは歩行かどうかの判断を行うため、10秒程度(5秒以上)の歩行を検出するまで、カウントを始めません。カウント開始時に、それまでに取得した歩数も合わせて表示します。
 - 日付が変更されると、前日までのデータを記録し、歩数カウントをゼロから開始します。
 - 測定した歩数や歩行距離、移動手段別時間の記録、消費カロリーはあくまで目安です。基礎代謝量は含まれません。

歩数計を設定する

- 1 ホーム画面で[歩数計] ▶ [メニュー] ▶ [設定]
- 2 各項目を設定

歩数計	歩数計のON/OFFを設定します。
歩数計通知	前日の歩数を指定した連絡先へ通知するかどうかを設定します。
プロフィール設定	身長、体重などを設定します。
目標設定	歩数・消費カロリーの目標を設定します。
お知らせ通知	目標達成をお知らせするかどうかを設定します。
表示形式	歩数計の表示形式を設定します。 「東海道五十三次」を設定すると、東海道五十三次の行程を使用して、歩数計で測定した結果を元に日本橋からゴールの京師を指して旅をすることができます。歩数に応じて歌川広重の東海道五十三次の浮世絵を手に入れることができます。

データの初期化	すべてのデータや設定をリセットします。
---------	---------------------

ライト

ライトを利用する

ライトを利用できます。

- 1 ホーム画面で[ツール] ▶ [ライト]
 - ライト画面が表示されます。
- 2 [ON] / [OFF]
 - ライトが点灯/消灯します。

お知らせ

- ライトを目に近づけて点灯させないでください。また、ライト点灯時は発光部を直視しないようにしてください。同様にライトを他の人の目に向けて点灯させないでください。視力低下などの障がいを起こす原因となります。
- カメラ起動中は使用できません。
- ご使用時は電池の減りにご注意ください。

スマホの健康診断

スマホの健康診断を利用する

本製品の状態を確認する「スマホの健康診断」を利用します。

- 1 ホーム画面で[安心サポート] ▶ [スマホ健康診断]
 - スマホの健康診断画面が表示されます。
 - 利用規約の確認画面が表示された場合は、内容を確認して「同意する」をタップします。
- 2 [診察]
 - 診断が開始されます。特に問題がなければ、「異常なし」と表示されます。「健康診断を終了する」をタップしてください。
- 3 気になる症状をタップ ▶ [解決する]
 - 治療を開始します。治療が完了すると「処置しました」と表示されるか、症状の原因が表示されます。
 - 他の症状を治療したい場合は「他の症状を治す」を、診断を終了する場合は「健康診断を終了する」をタップしてください。
 - 「治療」が表示されずに、原因と対処方法が表示される場合もあります。

お知らせ

- 「スマホの健康診断」アプリの利用に際し、費用は発生しません。ただし、データ通信を利用して本製品からインターネットに接続するとき、データ通信に課金が発生します。

Kyocera
Confidential

本体設定

設定メニューを表示する

ホーム画面の「設定」で、基本的な設定を行うことができます。

① ホーム画面で【設定】

プロフィール	プロフィールについては→P.51
Wi-Fi	Wi-Fiについては→P.51
壁紙と画面表示	ホーム画面とスタート画面の壁紙や画面の明るさなどを設定します。
音	音に関する設定を行います。
スタート画面	スタート画面に関する設定を行います。
フォントサイズ	画面に表示されるフォントサイズを設定します。
ソフトウェア更新	ソフトウェア更新については→P.71
スマホの利用状況の確認と管理	本端末の利用時間の確認や保護者による使用の管理ができます。
その他	その他の設定メニューについては→P.51

その他の設定メニューを表示する

その他の設定メニューから、本端末の各種設定を行うことができます。

① ホーム画面で【設定】▶【その他】

プロフィール	プロフィールについては→P.51
ネットワークとインターネット	ネットワークとインターネットについては→P.51
接続済みのデバイス	接続済みのデバイスについては→P.54
アプリと通知	アプリと通知については→P.54
電池	電池については→P.55
ディスプレイ	ディスプレイについては→P.55
音とバイブレーション	音とバイブレーションについては→P.55
ダイレクトボタン	ダイレクトボタンについては→P.22
ホーム切替	利用するホームアプリを切り替えます。
ストレージ	ストレージについては→P.56
プライバシー	プライバシーについては→P.56
位置情報	位置情報については→P.56
セキュリティ	セキュリティについては→P.56
ドコモのサービス/クラウド	ドコモのサービス/クラウドについては→P.58
アカウント	アカウントについては→P.59
ユーザー補助	ユーザー補助については→P.59
Digital Wellbeing と保護者による使用制限	Digital Wellbeing と保護者による使用制限については→P.60
Google	Googleについては→P.60
システム	システムについては→P.60
デバイス情報	デバイス情報については→P.61
認証情報	認証情報を確認できます。

プロフィール

- ① ホーム画面で【設定】▶【その他】▶【プロフィール】
 - プロフィール画面が表示されます。

プロフィールのメニュー

- ① ホーム画面で【設定】▶【その他】▶【プロフィール】
- ② 【メニュー】

編集	プロフィールの編集については→P.51
統合された連絡先を表示	表示している連絡先を統合/分割します。
共有	プロフィールの情報を共有します。

プロフィールの編集

- ① ホーム画面で【設定】▶【その他】▶【プロフィール】
- ② 【メニュー】▶【編集】
- ③ 必要な項目を入力▶【保存】

ネットワークとインターネット

Wi-Fiやホームネットワークの設定など、通信に関する設定を行うことができます。

- ① ホーム画面で【設定】▶【その他】▶【ネットワークとインターネット】

Wi-Fi	Wi-Fiについては→P.51
モバイルネットワーク	モバイルネットワークについては→P.52
機内モード	機内モードについては→P.53
テザリング	テザリングについては→P.53
データセーバー	データセーバーについては→P.54
VPN	VPNについては→P.54
プライベートDNS	セキュリティとプライバシーの保護のため、プライベートDNSを切り替えることができます。

Wi-Fi

端末のWi-Fi機能を利用して、自宅や社内ネットワーク、公衆無線LANサービスのアクセスポイントに接続して、メールやインターネットを利用できます。

- Bluetooth機器との電波干渉について
無線LAN (IEEE802.11b/g/n) とBluetooth機器は同一周波数 (2.4GHz) を使用するため、Bluetooth機器の近くで使用すると、電波干渉が発生し、通信速度の低下、雑音や接続不能の原因になる場合があります。この場合、次の対策を行ってください。
 - 本端末とBluetooth機器は、約10m以上離してください。
 - 約10m以内で使用する場合は、Bluetooth機器の電源を切ってください。

- ① ホーム画面で【設定】▶【その他】▶【ネットワークとインターネット】▶【Wi-Fi】


Kyocera
Confidential

2 「Wi-Fiの使用」をONにする

3 アクセスポイントを選ぶ

- セキュリティで保護されたアクセスポイントを選択した場合、パスワード（セキュリティキー）を入力し、[接続]をタップしてください。
- アクセスポイントを手動で登録：[ネットワークを追加] ▶ ネットワーク名を入力 ▶ セキュリティを設定 ▶ [保存]

お知らせ

- お使いの環境によっては通信速度が低下したり、ご利用にできない場合があります。
- Wi-FiがONのときでもパケット通信を利用できます。Wi-Fiネットワークが切断された場合には、自動的にモバイルネットワークでの接続に切り替わります。切り替わったまま利用すると、パケット通信料が発生する場合がありますのでご注意ください。
- Wi-Fi機能を使用しないときは、OFFにすることで電池の消費を抑制できます。
- Wi-Fi機能を使用するときには十分な電波強度が得られるようにご注意ください。
- インターネットに接続されていないアクセスポイントなどに接続すると、が表示され、Wi-Fiネットワークではなくモバイルネットワークで通信が行われる場合があります。

Wi-Fiの詳細設定

1 ホーム画面で[設定] ▶ [その他] ▶ [ネットワークとインターネット] ▶ [Wi-Fi]

2 [Wi-Fi設定]

Wi-Fiを自動的にONにする	高品質な保存済みWi-Fiネットワークを検出したときに、自動的にWi-FiをONにして接続するかどうかを設定します。 ONにするには、位置情報の設定をONにする必要があります。
パブリックネットワークを通知する	品質のWi-Fiオープンネットワークを検出したときに通知するかどうかを設定します。
証明書のインストール	証明書をインストールします。
ネットワーク評価プロバイダ	ネットワーク評価のプロバイダを設定します。
Wi-Fi Direct	Wi-Fi Directについては→P.52
高度なWi-Fi設定	スキャン間隔の設定、ハンドオーバー閾値、ネットワークの接続確認などの、高度なWi-Fi設定を行います。

Wi-Fi Direct

アクセスポイントやインターネットを利用せずに、他のWi-Fi Direct規格対応機器とWi-Fi機能で接続できます。

- Wi-FiをONにしている場合に利用できます。

1 ホーム画面で[設定] ▶ [その他] ▶ [ネットワークとインターネット] ▶ [Wi-Fi]

2 [Wi-Fi設定] ▶ [Wi-Fi Direct]

- 以降は画面の指示に従って操作してください。

アクセスポイントの設定の削除

1 ホーム画面で[設定] ▶ [その他] ▶ [ネットワークとインターネット] ▶ [Wi-Fi]

2 接続しているアクセスポイントを選ぶ ▶ [削除]

モバイルネットワーク

通話モードやアクセスポイントなどの設定をします。

1 ホーム画面で[設定] ▶ [その他] ▶ [ネットワークとインターネット]

2 [モバイルネットワーク]

モバイルデータ	モバイルネットワーク経由でデータにアクセスするかどうかを設定します。
データローミング	データローミングについては→P.66
アプリのデータ使用量	モバイルネットワーク経由のデータ使用量をグラフで表示したり、モバイルネットワークを使用したアプリを確認したりできます。
データ使用量の警告と制限	データ使用量の警告と制限については→P.52
4G回線による通話	通話時に4G回線を利用するかどうかを設定します。
優先ネットワークの種類	優先ネットワークの種類については→P.67
ネットワークを自動的に選択	ネットワークを自動的に選択については→P.66
ネットワークを選択	「ネットワークを自動的に選択」をOFFに設定しているとき、利用可能なネットワークを検索します。
アクセスポイント名	アクセスポイントの設定や確認をします。

お知らせ

アプリのデータ使用量について

- 表示されるデータ通信量は目安であり、実際の通信量とは異なる場合があります。
 - ahamoプラン以外をご契約のお客様
ご利用のデータ通信量はMy docomoからご確認ください。
 - ahamoプランをご契約のお客様
ご利用のデータ通信量はahamoのホームページからご確認ください。

データ使用量の警告と制限

モバイル ネットワーク経由のデータ使用量について、月単位の測定開始日や警告を発するデータ使用量などを設定します。

1 ホーム画面で[設定] ▶ [その他] ▶ [ネットワークとインターネット] ▶ [モバイル ネットワーク]

2 [データ使用量の警告と制限]

モバイルデータの使用サイクル	パイルデータ使用量の使用サイクル（測定期間）を設定します。
データ使用量を警告	パイルデータ使用量が指定した警告値に達したとき、警告の通知を表示するかどうかを設定します。
警告するデータ使用量	パイルデータ使用量の警告値を設定します。

データ使用量を制限	モバイルデータ使用量が指定した上限値に達したとき、モバイルデータ通信を一時停止するかどうかを設定します。
データ上限	モバイルデータ使用量の上限値を設定します。

お知らせ

- データ使用量が「データ上限制限サイズ」に達し、データ通信が利用できなくなった場合は、データ使用量の警告と制限画面で「データ使用量を制限」をOFFにしたり、「データ上限」で上限のサイズを変更したりすると、データ通信を再開できます。また、「モバイルデータが一時停止」と表示された場合は、「再開」を選択すると、データ通信を再開できます。

アクセスポイントの設定

インターネットに接続するためのアクセスポイント(spモード)は、あらかじめ登録されており、必要に応じて追加、変更することもできます。
spモードの詳細については、ドコモのホームページをご覧ください。

<https://www.nttdocomo.co.jp/service/sprmode/>

■ 利用中のアクセスポイントを確認

- 1 ホーム画面で[設定] ▶ [その他] ▶ [ネットワークとインターネット] ▶ [モバイルネットワーク] ▶ [アクセスポイント名]

■ アクセスポイントを追加で設定<新しいAPN>

- MCCを440、MNCを10以外に変更しないでください。画面上に表示されなくなります。

- 1 ホーム画面で[設定] ▶ [その他] ▶ [ネットワークとインターネット] ▶ [モバイルネットワーク] ▶ [アクセスポイント名]
- 2 [+]
- アクセスポイントを編集する場合は、編集するアクセスポイントをタップします。
- 3 [名前] ▶ 作成するネットワークプロファイルの名前を入力 ▶ [OK]
- 4 [APN] ▶ アクセスポイント名を入力 ▶ [OK]
- 5 その他、通信事業者によって要求されている項目を入力 ▶ [OK]
- 6 [メニュー] ▶ [保存]

お知らせ

- MCC、MNCの設定を変更して画面上に表示されなくなった場合は、初期設定にリセットするか、手動でアクセスポイントの設定を行ってください。

アクセスポイントの初期化

アクセスポイントを初期化すると、お買い上げ時の状態に戻ります。

- 1 ホーム画面で[設定] ▶ [その他] ▶ [ネットワークとインターネット] ▶ [モバイルネットワーク] ▶ [アクセスポイント名]
- 2 [メニュー] ▶ [初期設定にリセット]

機内モード

電話やメールなど、通信を利用する一部の機能を使用できないようにします。

- 1 ホーム画面で[設定] ▶ [その他] ▶ [ネットワークとインターネット]
- 2 [機内モード]

お知らせ

機内モードについて

- 「SIMカードをロック」が有効の場合は、緊急通報番号(110番、119番、118番)に発信できません。「SIMカードをロック」が無効の場合は、機内モード中でも緊急通報番号(110番、119番、118番)に発信できます。緊急通報番号をダイヤルすると、「機内モード」がOFFになり、発信を行います。
- 「機内モード」がONの場合でも、「Wi-Fi」や「Bluetooth」をONにすることができます。

テザリング

本端末をアクセスポイントとして利用することで、Wi-Fi対応機器やUSBケーブルまたはBluetooth通信で接続したパソコンなどをインターネットに接続するテザリング機能を利用することができます。

- 同時に接続できる機器数は、Wi-Fi対応機器◆◆台、USBケーブルで接続したパソコン◆◆台、Bluetooth機器◆◆台の計◆◆台です。
- Bluetoothテザリングを行うには、あらかじめ相手のBluetooth機器を登録しておいてください(→P.63)。Bluetooth機器側の設定については、Bluetooth機器の取扱説明書をご覧ください。
- テザリングのご利用には、パケットバック/パケット定額サービスのご利用を強くおすすめします。

- 1 ホーム画面で[設定] ▶ [その他] ▶ [ネットワークとインターネット]
- 2 [テザリング]

Wi-Fiテザリング	Wi-Fiテザリングを利用するかどうかとアクセスポイント名やセキュリティなどの設定をします。
USBテザリング	USBテザリングを利用するか設定します。
Bluetooth テザリング	Bluetoothテザリングを利用するか設定します。

お知らせ

- テザリングの詳細については、次のサイトをご覧ください。
<http://www.android.com/tether>

Wi-Fiテザリングについて

- 本端末がアクセスポイントとして機能している場合、本端末はWi-Fi接続でインターネットにアクセスすることはできません。

USBテザリングについて

- テザリング機能は、パソコンのOSがWindows 8.1、Windows 10の場合にご利用いただけます。
- USBテザリング中は、本端末に取り付けられたmicroSDカードをパソコンでマウントすることはできません。

Kyocera
Confidential

- USBテザリングの詳細については、次のサイトをご覧ください。
http://www.android.com/tether#usb

データセーバー

アプリがバックグラウンドで行うモバイルデータ通信を制限し、データ使用量を抑制します。

- 1 ホーム画面で【設定】▶【その他】▶【ネットワークとインターネット】
- 2 【データセーバー】
- 3 「データセーバーを使用」をONにする

VPN (仮想プライベートネットワーク)

VPNの追加

VPN (Virtual Private Network) とは、外出先などから自宅のパソコンや社内のネットワークに仮想的な専用回線を用意し、安全にアクセスできる接続方法です。

- 端末からVPN接続を設定するには、ネットワーク管理者からセキュリティに関する情報を入手してください。

- 1 ホーム画面で【設定】▶【その他】▶【ネットワークとインターネット】▶【VPN】
- 2 【追加】
- 3 各項目を設定▶【保存】

VPNの接続

- 1 ホーム画面で【設定】▶【その他】▶【ネットワークとインターネット】▶【VPN】
- 2 接続するVPNを選ぶ
- 3 VPNの接続情報を入力▶【接続】

VPNの切断

- 1 ホーム画面で【設定】▶【その他】▶【ネットワークとインターネット】▶【VPN】
- 2 接続しているVPNを選ぶ▶【切断】

接続済みのデバイス

- 1 ホーム画面で【設定】▶【その他】▶【接続済みのデバイス】

USB	USBケーブルでパソコンに接続しているときの動作を設定します。 ● 本端末をUSBケーブルでパソコンに接続しているときに表示されません。
新しいデバイスとペア設定する	使用可能なBluetooth機器とのペア設定ができます。 Bluetooth機能の利用については→P.63
以前接続されていたデバイス	以前ペアリングを行ったデバイス名が表示されます。
接続の設定	接続の設定については→P.54

接続の設定

- 1 ホーム画面で【設定】▶【その他】▶【接続済みのデバイス】
- 2 【接続の設定】

Bluetooth	Bluetooth機能については→P.63
NFC/おサイフケータイ	NFC/おサイフケータイの機能については→P.44
キャスト	Miracast等の機器と接続し、他のデバイスと画面や音を共有します。
印刷	Googleクラウドプリントを利用したプリンタの設定を行います。
Bluetoothで受信したファイル	Bluetooth®機能で受信したファイルを確認します。
Chromebook	Chromebookと接続します。
ニアバイシェア	近くにある他のデバイスとファイルを共有します。
Android Auto	車の画面に接続し、車内でもアプリやGoogleサービスが使えるように設定できます。

アプリと通知

アプリごとに通知や権限、デフォルトアプリの設定などを行います。

- 1 ホーム画面で【設定】▶【その他】▶【アプリと通知】

最近開いたアプリ	最近開いたアプリ (アプリ情報) については→P.54
会話	優先度の高い会話や設定を変更した会話を表示できます。
通知	アプリの通知をスタート画面に表示するかどうかを設定したり、通知音や高度な通知管理などを設定したりします。
利用時間	本端末の利用時間や、アプリの利用時間を表示します。
デフォルトのアプリ	デフォルトで使用するブラウザアプリやホームアプリ、電話アプリ、SMSアプリなどを設定します。
権限マネージャ	権限マネージャについては→P.23
緊急速報メール	緊急速報メールを設定します。
特別なアプリアクセス	本端末の機能や情報にアクセスするアプリの設定を確認/変更します。 ● 「通知へのアクセス」をタップすると、ホーム画面の通知 (バッジ) を表示するかどうかを設定できます。

アプリ情報

アプリの名前やメモリの使用状況、バージョンなどの確認、有効/無効の設定、アンインストールなどができます。

- 1 ホーム画面で【設定】▶【その他】▶【アプリと通知】
- 2 【XX個のアプリをすべて表示】▶アプリを選ぶ

アプリの無効

アプリの動作を停止し、アンインストールせずに起動させないように設定します。

- アンインストールできないアプリを無効にできます。

- 1 ホーム画面で[設定] ▶ [その他] ▶ [アプリと通知]
- 2 [XX個のアプリをすべて表示] ▶ アプリを選ぶ
- 3 [無効にする] ▶ [アプリを無効にする]

電池

電池利用状況の確認やバッテリーセーバーの設定などができます。

- 1 ホーム画面で[設定] ▶ [その他] ▶ [電池]

バッテリーセーバー	「バッテリーセーバー」をONにすると、電池の消費を抑えることができます。「自動的にON」を選択すると、電池残量に応じて自動的にバッテリーセーバーをONにするかどうかを設定することができます。
自動調整バッテリー	使用頻度の低いアプリの電池使用量を自動調整するか設定します。
電池残量	ステータスバーに電池残量 (%) を表示するかどうかを設定します。
前回のフル充電	前回のフル充電から現在までの経過時間が表示されます。
最後にフル充電してからの使用時間	前回のフル充電から現在までの画面による電池の使用時間が表示されます。
電池の状態	電池の状態を確認することができます。

電池の最適化

電池の最適化を行うと、画面消灯中（充電中を除く）はアプリが動作しないように設定されます。

- 1 ホーム画面で[設定] ▶ [その他] ▶ [アプリと通知]
- 2 [特別なアプリアクセス] ▶ [電池の最適化]
 - 最適化していないアプリの一覧が表示されます。
- 3 [最適化していないアプリ] ▶ [すべてのアプリ]
- 4 アプリを選ぶ ▶ [最適化する] / [最適化しない] ▶ [完了]

ディスプレイ

画面表示などについて設定します。

- 1 ホーム画面で[設定] ▶ [その他] ▶ [ディスプレイ]

明るさのレベル	画面の明るさを設定します。
夜間モード	画面を黄味がかかった色にして、薄明かりでも画面を見やすくするように設定します。
明るさの自動調節	周囲の明るさに合わせて、画面の明るさを自動調節するかどうかを設定します。

壁紙	ホーム画面とスタート画面の壁紙を設定します。
画面消灯	スリープモードへ移行するまでの時間を設定します。
画面の自動回転 フォントサイズ	画面の自動回転については→P.22 画面に表示されるフォントサイズを設定します。
スクリーンセーバー	スクリーンセーバーの種類や起動するタイミングを設定します。
スタート画面の表示	スタート画面の表示する情報について設定します。
スマートフォン を持ち上げて点灯	本端末を持ち上げる動作でディスプレイを点灯させるかどうかを設定します。
通知パネルの並べ替え	通知パネルのON/OFF設定アイコンの並べ替えができます。

音とバイブレーション

画面表示などについて設定します。

- 1 ホーム画面で[設定] ▶ [その他] ▶ [音とバイブレーション]

メディアの音量	各種音量の調節については→P.55
通話の音量	
着信・通知音の音量	
アラームの音量	
マナーモード	マナーモードについては→P.56
マナーモードのショートカット	マナーモードのショートカットを設定します。
メディア	メディアの再生時にクイック設定パネルに表示されるプレーヤーを、再生終了時に非表示にするかどうかを設定します。
着信音	着信音や通知音などに設定するデータを選択して登録したり、バイブレーションを設定したりします。
バイブレーション バイブレーションの強さ	
デフォルトの通知音	
デフォルトのアラーム音	
ダイヤルパッドの操作音	タッチ操作音や充電開始音などの設定をします。
スタート画面音	
充電開始音とバイブレーション	
充電完了音とバイブレーション	
タッチ操作音	
高度な通知管理	着信音やバイブレーションなどの、高度な通知管理を設定します。

各種音量の調節

メディアの音量、通話の音量、着信・通知音の音量、アラームの音量を調節します。

- 1 ホーム画面で[設定] ▶ [その他] ▶ [音とバイブレーション]

Kyocera
Confidential

- 2 「メディアの音量」／「通話の音量」／「着信・通知音の音量」／「アラームの音量」のスライダを左右にドラッグして、音量を調節

マナーモードの種類

- 1 ホーム画面で【設定】▶【その他】▶【音とバイブレーション】▶【マナーモード】
- 2 【マナーモード種別】

マナーモード	着信音や操作音は鳴らず、着信時などはバイブレータが動作します。
サイレントモード	着信音や操作音は鳴らず、着信時などはバイブレータも動作しません。
ドライブモード	信音や操作音は鳴らず、着信時などはバイブレータも動作しません。着信時は運転中であることをお知らせするアナウンスが流れ、自動的に伝言メモが起動します。

ストレージ

内部ストレージやmicroSDカードの使用量を確認したり、microSDカードのマウント（認識する）やマウントの解除（取り外し）をすることができます。

- 1 ホーム画面で【設定】▶【その他】▶【ストレージ】

内部共有ストレージ	内部ストレージの使用量と合計容量を確認できます。 <ul style="list-style-type: none"> 項目をタップすると項目ごとのデータの使用量を確認できます。
SDカード	microSDカードの使用量と合計容量を確認できます。 <ul style="list-style-type: none"> microSDカードが認識されている時に「取り外し」をタップすると、マウント（認識）を解除してmicroSDカードを安全に取り外しできます。 microSDカードがマウント（認識）されていない時に【SDカード】▶【マウント】と操作すると、microSDカードを認識します。

- 2 【内部共有ストレージ】／【SDカード】

- microSDカードのマウント解除：【SDカード】横の【取り外し】
- microSDカードのマウント：【SDカード】▶【マウント】
- microSDカードのフォーマット：【SDカード】▶アプリを選択する画面で「ファイル」を選択▶▶▶【ストレージの設定】▶【フォーマット】▶【SDカードをフォーマット】

お知らせ

microSDカードのマウント／マウント解除について

- microSDカードの取り付け／取り外しは、microSDカードをマウント解除し、電源を切ってから行ってください。

microSDカードのフォーマットについて

- 初期化を行うと、microSDカードの内容がすべて消去されますのでご注意ください。

プライバシー

権限やアカウント アクティビティなど、プライバシーに関する設定を行います。

- 1 ホーム画面で【設定】▶【その他】▶【プライバシー】
- 2 項目を選ぶ
 - 以降は画面の指示に従って操作してください。

位置情報

- 1 ホーム画面で【設定】▶【その他】▶【位置情報】
- 2 「位置情報の使用」を「ON」にする

最近の位置情報リクエスト	位置情報を取得したアプリを表示します。 <ul style="list-style-type: none"> アプリをタップするとアプリ情報を表示します。
位置情報へのアプリのアクセス	アプリごとに位置情報の使用を許可するかどうかを設定します。
Wi-FiのスキャンとBluetoothのスキャン	位置情報の精度を向上させるため、Wi-FiやBluetooth®の電波をスキャンするかどうかを設定します。
Google ロケーション履歴	Googleロケーション履歴などの設定を確認／変更します。
Google 位置情報の精度	
Google 現在地の共有機能	
緊急位置情報サービス	

お知らせ

位置情報（GPS機能）の使用について

- 電池の消費を節約する場合は、「位置情報の使用」を「OFF」にしてください。
- 周囲に建物などがなく、天空が見える場所では精度が高くなります。周囲の環境により、正しい位置情報が取得できない場合は、天空が見える場所へ移動してください。

セキュリティ

画面表示などについて設定します。

- 1 ホーム画面で【設定】▶【その他】▶【セキュリティ】

Google Play プロテクト	アプリや本端末に不正な動作がないか定期的にチェックするかどうかを設定します。
セキュリティアップデート	セキュリティのアップデートを行います。
デバイスを探す	端末の現在地をリモートで探すかどうかを設定します。
Google Play システム アップデート	アップデートの確認、更新を行います。
セキュリティの種類	セキュリティの種類については →P.57

Kyocera
Confidential

指紋	指紋については→P.57
顔認証	顔認証については→P.58
Smart Lock	信頼できる端末や場所の登録、または持ち運び検知機能でセキュリティを自動的に解除する「Smart Lock」を設定します。
デバイス管理アプリ	デバイス管理アプリを表示または無効にします。
SIMカードロック	SIMカードロックについては→P.20
暗号化と認証情報	端末のデータを保護するため、端末内部に保存されているシステムデータはお買い上げ時には暗号化されています。
信頼エージェント	信頼できるエージェント（Smart Lockなどの機能）を管理します。
アプリ固定	特定のアプリの画面を固定して表示するように設定します。 <ul style="list-style-type: none"> 「アプリ固定」をONにすると画面固定の解除後に、スタート画面を表示するかどうかを設定できます。

画面ロックの解除方法を設定

本端末の電源を入れたり、スリープモードを解除したりしたときの画面ロックの解除方法を設定します。

- 1 ホーム画面で[設定] ▶ [その他] ▶ [セキュリティ] ▶ [セキュリティの種類]
- 2 [パターン] / [ロックNo.] / [パスワード]
 - 以降は画面の指示に従って操作してください。

お知らせ

- セキュリティの種類を「パターン」 / 「ロックNo.」 / 「パスワード」に設定している場合、各種設定を行うときにロック解除の画面が表示される場合があります。ロック解除の画面が表示された場合は、設定している方法でロックを解除してください。
- 「パターン」 / 「ロックNo.」 / 「パスワード」の入力を5回連続して間違えた場合は、画面ロックを解除できなくなります。30秒経過してから再度画面ロック解除の操作を行ってください。
- セキュリティの種類を「パターン」 / 「ロックNo.」 / 「パスワード」に設定している場合、「セキュリティの種類」の横に「設定」が表示されます。「設定」をタップすると、次の項目を設定することができます。
 - パターンを表示する
パターンの入力時に軌跡を線で表示します。セキュリティの種類を「パターン」に設定しているときに表示されます。
 - 画面消灯後にロック
画面が消灯してから自動で画面ロックがかかるまでの時間を設定します。
 - 電源ボタンですぐにロックする
電源ボタンを押して画面を消灯したときに、すぐに画面ロックがかかるようにするかどうかを設定します。
- 設定した「パターン」 / 「ロックNo.」 / 「パスワード」を忘れた場合は、ドコモショップにお問い合わせください。

指紋認証

本端末には指紋センサーが搭載されており、登録した指で触れることで、画面ロックを指紋認証で解除できます。

指紋認証機能利用時のご注意

- 指紋の特徴情報を利用して認証を行うため、特徴情報が少ないお客様の場合は、指紋認証を利用できないことがあります。
- 認証性能（指で指紋センサーに正しく触れた際に指紋が認証される性能）は、お客様の使用状況により異なります。指の状態が次のような場合は、指紋の登録が困難になったり、認証性能が低下したりすることがあります。なお、手を拭く、手を洗う、認証する指を変える、指の登録範囲を広くするなど、認証性能が改善されることがあります。
 - お風呂上がりなどで指がふやけていたり、濡れていたりしている
 - 指に汗や脂（ハンドクリームなど）が多く付着している
 - 泥や油などで指が汚れている
 - 手荒れや、指に損傷（切傷やただれなど）がある
 - 指が極端に乾燥している
 - 太ったりやせたりして指紋が変化したり
 - 指の表面が磨耗して指紋が薄い
 - 登録時に比べ、認証時の指の表面状態が極端に異なる
- 指紋認証技術は完全な本人認証・照合を保証するものではありません。当社では第三者に本端末を使用されたこと、または使用できなかったことによって生じるいかなる損害に関して、一切責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

指紋センサー利用時のご注意

- ぶつかけたり、強い衝撃を与えないでください。また、表面をひっかいたり、先の尖ったものでついたりしないでください。故障および破損の原因となることがあります。
- 指紋センサーにシールを貼ったり、インクなどで塗りつぶしたりしないでください。
- 指紋センサーが汚れると、指紋の読み取りが困難になったり、認証性能が低下したりすることがあります。指紋センサー表面は時々柔らかい布などで清掃してください。

指紋の登録

指紋認証に使う指の指紋を登録します。

- 指紋は5件まで登録できます。
- 読み取りに失敗する場合は、指を変えることで認証性能が改善されることがあります。
- あらかじめ画面ロックのセキュリティの種類を「なし」や「スワイプ」以外に設定しておいてください。

1 ホーム画面で[設定] ▶ [その他] ▶ [セキュリティ] ▶ [指紋]

- セキュリティの解除画面が表示されたときは、設定した解除方法でセキュリティを解除してください。

2 [次へ]

- 以降は画面の指示に従って操作してください。
- 登録が完了すると、指紋の登録が完了したことをお知らせする画面が表示され、「別の指紋を登録」をタップすると他の指紋を登録できます。

お知らせ

- 指紋設定画面では、次の操作ができます。
 - 指紋の名前を変更する
登録した指紋をタップ ▶ 名前を入力 ▶ [OK]
 - 指紋を削除する
登録した指紋の [削除] ▶ [削除]

Kyocera
Confidential

指紋認証を行う

1 スタート画面表示中に、登録した指で指紋センサーに触れる

- スタート画面で左にスライドすると、設定した画面ロックの解除方法を入力する画面が表示されます。

お知らせ

- 指紋認証が5回連続して認識されなかった場合は、指紋認証ができなくなります。しばらくしてから再度指紋認証を行うか、スタート画面で左にスライドして、設定した画面ロックの解除方法で解除してください。

顔認証

顔認証利用時のご注意

- 顔認証は他のロック解除方法(パターン、ロックNo.、パスワードなど)より安全性が低くなります。
- 認証性能(顔をインカメラに向けた際に顔が認証される性能)はお客様の使用状況により異なります。
- 顔認証を最適な形で実現するために、顔の登録時に次の点にご注意ください。
 - 明るい場所で顔を登録してください。ただし、逆光となる場所では顔を登録しないでください。
 - 衣類、髪の毛、サングラス、マスクなどで顔を覆わないようにしてください。
 - 顔を正面に向け、普通の表情で、顔全体を登録エリアの枠内に入れた状態で撮影し、顔を動かしたり、目を閉じたりしないでください。
- スタート画面で顔認証を行う際は、以下の点にご注意ください。
 - 極端に暗い場所や明るい場所、逆光となる場所では、顔認証の成功率が下がる場合があります。
 - 衣類、髪の毛、サングラス、マスクなどで顔の全体、あるいは一部が覆われると、顔認証の成功率が下がる場合があります。
 - 顔の角度が大きすぎると、顔認証の成功率が下がる場合があります。
 - 自分に似た人や物でもロック解除されてしまう場合があります。

顔の登録

顔認証に使う顔を登録します。

- あらかじめ画面ロックのセキュリティの種類を「なし」や「スワイプ」以外に設定しておいてください。

1 ホーム画面で[設定] ▶ [その他] ▶ [セキュリティ] ▶ [顔認証]

- セキュリティの解除画面が表示されたときは、設定した解除方法でセキュリティを解除してください。

2 [同意する]

- 「スマホを持ち上げて画面起動を有効にする」にチェックを入れると、「スマートフォンを持ち上げて点灯」(→P.55)が有効になります。

3 [スタート]

- 以降は画面の指示に従って操作してください。

顔認証を行う

1 スタート画面表示中に、インカメラに顔を向ける

- 正しく認証されない場合は、顔の角度や距離を変更してください。

お知らせ

- 顔認証が5回連続して認識されなかった場合は、顔認証ができなくなります。しばらくしてから再度指紋認証を行うか、スタート画面で左にスライドして、設定した画面ロックの解除方法で解除してください。

ドコモのサービス/クラウド

1 ホーム画面で[設定] ▶ [その他] ▶ [ドコモのサービス/クラウド]

dアカウント設定	ドコモアプリで利用するdアカウントを設定します。また、端末に登録されている生体情報(指紋)を利用したdアカウント認証の設定もできます。
ドコモアプリデータバックアップ	ドコモアプリのデータを自動的にバックアップ/復元する機能を利用するかどうかを設定したり、データがバックアップされたアプリの一覧を確認したりできます。
ドコモアプリ管理	ドコモアプリの管理をしたり、通知や自動アップデートの設定をしたりします。
おすすめアプリ	おすすめアプリの設定をしたり、過去に受信した通知を確認したりします。
おすすめ使い方ヒント	おすすめ使い方ヒントを表示するかどうかを設定したり、過去に表示されたヒントを確認したりします。
スグアプ設定	スマホを振るなどの直感操作で、スグにアプリの起動や電話の操作ができます。スグアプ設定については→P.27
ドコモ位置情報	イマドコサーチ、イマドコかんたんサーチ、ケータイお探しサービスの位置情報サービス機能の設定をします。
端末情報送信	端末情報をドコモが管理するサーバーに送信するかどうかを設定します。
会員情報/プロフィール情報設定	ドコモの各種サービスで利用する会員情報/プロフィール情報の確認や変更ができます。
ドコモ初期設定	ドコモサービスの初期設定を行います。
USBデバッグ切替	ドコモショップなどの専用端末を利用するための設定をします。
オープンソースライセンス	オープンソースライセンスを表示します。

お知らせ

- ドコモのサービス/クラウドで表示されるアプリの中には無効化できるものがあります。無効化した場合、ドコモのサービス/クラウドの一覧には表示されなくなることがあります。また、新たにドコモ提供のアプリをダウンロードすると、ドコモのサービス/クラウドの一覧に項目が追加されることがあります。

Kyocera
Confidential

アカウント

1 ホーム画面で[設定] ▶ [その他] ▶ [アカウント]

アカウントを追加	アカウントを追加については→P.59
自動的にデータを同期	自動的にデータを同期については→P.59

アカウントを追加

オンラインサービスのアカウントを追加したり、削除したりできます。

- Googleなどのアカウントの設定については→P.19

1 ホーム画面で[設定] ▶ [その他] ▶ [アカウント]

2 [アカウントを追加]

3 アカウントの種類をタップ

- 以降は画面の指示に従って操作してください。

お知らせ

- docomoのアカウントは、お買い上げ時から設定されています。

アカウントを削除

1 ホーム画面で[設定] ▶ [その他] ▶ [アカウント]

2 削除するアカウントを選択

3 [アカウントを削除] ▶ [アカウントを削除]

お知らせ

- docomoのアカウントは削除できません。

アカウントの自動同期を設定

本端末とオンラインサービス上の情報を自動的に同期できません。本端末およびパソコンのどちらからでも情報を表示、編集できます。

- 自動同期を設定すると、同期するときに通信が発生し、パケット通信料がかかる場合があります。

1 ホーム画面で[設定] ▶ [その他] ▶ [アカウント]

2 [自動的にデータを同期] ▶ [OK]

手動同期

自動同期がOFFのとき、登録されたアカウントを同期します。
• アカウントの種類によっては操作できない場合があります。




1 ホーム画面で[設定] ▶ [その他] ▶ [アカウント]

2 アカウントを選択

3 [アカウントの同期] ▶ 同期する項目を選択

ユーザー補助

1 ホーム画面で[設定] ▶ [その他] ▶ [ユーザー補助]

おすすめ使い方のヒント	操作や利用状況に合わせて端末の使いかたを紹介するか設定します。
TalkBack	画面上の項目を読み上げるかどうかを設定します。
選択して読み上げ	選択したテキストを読み上げるかどうかを設定します。
テキスト読み上げの設定	端末に表示される文字を読み上げる音声について設定します。
フォントサイズ拡大	文字のサイズを設定します。 画面を拡大するショートカットについて設定します。
色補正	ディスプレイに表示されている色の補正について設定します。
色反転	色反転について設定します。
アニメーションを無効化	表示のアニメーションを省略するか設定します。
スイッチ アクセス	外付けのスイッチなどを利用して、本端末を操作するかどうかを設定します。
ユーザー補助機能メニュー	きな画面メニューを表示するかどうかを設定します。
画面消灯中のボタン操作を許可	ディスプレイ消灯時に、  、  、  の操作を無効にするかどうかを設定します。
電源ボタンで通話を終了	電源ボタンを押して通話を終了できるようにするかどうかを設定します。
画面の自動回転	本端末の向きに合わせて、自動的に縦表示/横表示を切り替えるかどうかを設定します。
長押しする時間	ロングタッチの時間を設定します。
操作までの時間(ユーザー補助タイムアウト)	操作が必要な、短い時間しか表示されないメッセージの表示時間を設定します。
バイブレーションの強さ	着信時や通知時、タップ操作時のバイブレーションの強さを設定します。
モノラル音声	音声をモノラルで再生するかどうかを設定します。
オーディオバランス	音声の左右のバランスを設定します。
字幕の設定	字幕表示に対応したアプリ使用時に、字幕を表示するかどうかを設定します。
高コントラストテキスト	画面に表示されるテキストのコントラストを上げるかどうかを設定します。
スタート画面からのショートカット	音量上ボタンと音量下ボタンを同時に3秒以上長く押して、ユーザー補助機能を起動するかどうかを設定します。

お知らせ

- 「電源ボタンで通話を終了」がONの状態でも、通話中にスリープモードになった場合は、電源ボタンを押しても通話は終了せず、スリープモードが解除されます。

Digital Wellbeingと保護者による使用制限

本端末の利用習慣を確認したり、アプリタイマーなどのツールで利用時間を管理したりして、本端末の使いすぎを防止することができます。また、保護者による使用制限を設定することもできます。

- 1 ホーム画面で[設定] ▶ [その他] ▶ [Digital Wellbeingと保護者による使用制限]
- 2 各項目を設定

● 以降は画面の指示に従って操作してください。

Google

Googleのアカウントおよびサービスに関する、情報や設定の確認/変更/削除などができます。

- 1 ホーム画面で[設定] ▶ [その他] ▶ [Google]
- 2 各項目を設定

● 以降は画面の指示に従って操作してください。

システム

- 1 ホーム画面で[設定] ▶ [その他] ▶ [システム]

言語と入力	言語と入力については→P.60
ジェスチャー	☐と☐を同時に押して、マナーモード(マナーモード/サイレントモード/ドライブモード)を設定するように設定できます。
日付と時刻	日付と時刻については→P.60
バックアップ	Googleアカウントを利用して、アプリのデータや本端末の設定などを自動的にバックアップするか設定します。
リセットオプション	リセット オプションについては→P.60
システム アップデート	システム アップデート(ソフトウェアアップデート)については→P.71
ハードウェアに関するフィードバック	端末情報をQualcomm Incorporatedに送信するか設定します。

言語と入力

- 1 ホーム画面で[設定] ▶ [その他] ▶ [システム]
- 2 [言語と入力]

言語	表示言語を選択します。
現在のキーボード	現在使用しているキーボードを確認します。
画面キーボード	本端末に表示されるソフトウェアキーボードについて設定します。
物理キーボード	本端末にキーボードを接続したときの動作について設定します。
スペルチェック	スペルチェッカーを使用するかどうかを設定します。
自動入力サービス	自動入力サービスを設定します。

単語リスト	単語を登録できます。
ポインタの速度	ポインティングデバイス使用時の、ポインタの反応速度を設定します。
テキスト読み上げの設定	本端末に表示される文字を読み上げる音声について設定します。

日付と時刻

- 1 ホーム画面で[設定] ▶ [その他] ▶ [システム]
- 2 [日付と時刻]

ネットワークの時刻を使用する	日時を自動的に補正するか設定します。
日付	日付を手動で設定します。
時刻	時刻を手動で設定します。
ネットワークから提供されたタイムゾーンを使用する	ネットワークから提供されたタイムゾーンを利用するか設定します。
タイムゾーン	タイムゾーンを手動で設定します。
言語/地域のデフォルトを使用する	ユーザーの言語/地域の標準に合わせ、時刻の表示形式を自動的に切り替えるか設定します。
24時間表示	12時間制/24時間制を手動で切り替えます。

お知らせ

ネットワークの時刻を使用するについて

- 電源を入れてもしばらく時刻が補正されない場合は、電源を入れ直してください。
- 電波状況によっては時刻を補正できないときがあります。
- 数秒程度の誤差が生じるときがあります。

リセットオプション

- 1 ホーム画面で[設定] ▶ [その他] ▶ [システム]
- 2 [リセットオプション]

Wi-Fi、モバイル、Bluetooth をリセット	Wi-Fi、モバイルデータ、Bluetoothに関する設定をすべてリセットします。
アプリの設定をリセット	アプリに設定した内容をリセットします。
すべてのデータを消去(出荷時リセット)	本体メモリ内のすべてのデータをリセットし、本端末をお買い上げ時の状態に戻します。

お知らせ

すべてのデータを消去(出荷時リセット)について

- 消去されるデータは次のとおりです。
 - ・作成、保存、登録したデータ
 - ・システムやアプリのデータ、設定値
 - ・ダウンロードしたアプリ
 - ・Googleアカウント

Kyocera
Confidential

デバイス情報

① ホーム画面で[設定] ▶ [その他] ▶ [デバイス情報]

デバイス名	デバイス名を変更できます。
電話番号	電話番号を確認できます。
救急あんしん情報	所有者の情報や緊急連絡先を確認できます。
法的情報	利用規約などの法的情報を表示しません。
SIMのステータス	SIMのステータスを確認できます。
モデルとハードウェア	バージョンや各番号を確認できます。
IMEI	
Androidバージョン	
IP アドレス	
Wi-Fi MACアドレス	
デバイスのWi-Fi MACアドレス	
Bluetoothアドレス	
稼働時間	
ビルド番号	

ファイル管理

ストレージ構成

本体メモリ（内部ストレージ）

お買い上げ時の本体メモリ（/storage/emulated/0）のフォルダ構成と、各フォルダに保存されるデータの種類などは次のとおりです。

• 本端末の操作状況により、表示されるフォルダが異なる場合があります。

Alarms	アラーム音などが保存されます。
Android	アプリのデータなどが保存されます。
Audiobooks	オーディオブックなどが保存されます。
DCIM	画像や動画が保存されます。
Documents	テキストデータなどが保存されます。
Download	ウェブブラウザでダウンロードしたファイルが保存されます。
Movies	動画などが保存されます。
Music	音楽データなどが保存されます。
Notifications	お知らせ音などが保存されます。
Pictures	静止画などが保存されます。
Podcasts	ポッドキャストから取り込んだ音楽データなどが保存されます。
Ringtones	着信音などが保存されます。

microSDカード（外部ストレージ）

端末内のデータをmicroSDカードに保存したり、microSDカード内のデータを端末に取り込んだりすることができます。

• microSDカードについては→P.17

ファイル操作

ファイルやフォルダの操作

「Files」アプリを利用して、内部ストレージやmicroSDカードに保存されているデータを操作します。

- 1 ホーム画面で [Google] ▶ [Files]
 - 最近使用したファイル、カテゴリ、コレクション、ストレージデバイスが表示されます。
- 2 「ストレージ デバイス」の [内部ストレージ] / [SDカード]
- 3 フォルダを選ぶ
- 4 ファイルを選ぶ

フォルダを作成

- 1 ホーム画面で [Google] ▶ [Files]
- 2 「ストレージ デバイス」の [内部ストレージ] / [SDカード]
- 3 フォルダを作成する場所へ移動
- 4 [:] ▶ [新しいフォルダを追加]
- 5 作成したいフォルダ名を入力 ▶ [フォルダを作成]

フォルダ／ファイルの名前を変更

- 1 ホーム画面で [Google] ▶ [Files]
- 2 「ストレージ デバイス」の [内部ストレージ] / [SDカード]
- 3 名前を変更するフォルダ／ファイルの場所へ移動
- 4 [:] ▶ [名前を変更]
- 5 名前を入力 ▶ [OK]

フォルダ／ファイルを削除

- 1 ホーム画面で [Google] ▶ [Files]
- 2 「ストレージ デバイス」の [内部ストレージ] / [SDカード]
- 3 名前を変更するフォルダ／ファイルの場所へ移動
- 4 [:] ▶ [完全に削除]
- 5 [削除]

フォルダまたはファイルをコピー

- 1 ホーム画面で [Google] ▶ [Files]
- 2 「ストレージ デバイス」の [内部ストレージ] / [SDカード]
- 3 コピーするフォルダ／ファイルの場所へ移動
- 4 [:] ▶ [コピー]
- 5 [内部ストレージ] / [SDカード]
- 6 コピーする場所を選択 ▶ [ここにコピー]

フォルダまたはファイルを移動

- 1 ホーム画面で [Google] ▶ [Files]
- 2 「ストレージ デバイス」の [内部ストレージ] / [SDカード]
- 3 移動したいフォルダ／ファイルの場所へ移動
- 4 [:] ▶ [移動]
- 5 [内部ストレージ] / [SDカード]
- 6 移動する場所を選択 ▶ [ここに移動]

データ検索

「Files」アプリを利用して、内部ストレージやmicroSDカードに保存されているデータを検索します。

- 1 ホーム画面で [Google] ▶ [Files]
 - 最近使用したファイル、カテゴリ、コレクション、ストレージデバイスが表示されます。
- 2 [Q]
- 3 検索するキーワードを入力 ▶ [検索]
- 4 検索結果からファイルを選ぶ

データ通信

Bluetooth®通信

Bluetooth機能は、パソコンやハンズフリーヘッドセットなどのBluetooth機器とワイヤレス接続できる技術です。

- すべてのBluetooth機器とのワイヤレス接続を保証するものではありません。
- 対応しているBluetoothプロファイルについては→P.74

お知らせ

- Bluetooth機能のON/OFFの設定は、電源を切っても変更されません。
- Bluetooth機能を使用しないときは、OFFにすることで電池の消費を抑制できます。

■ Wi-Fi対応機器との電波干渉について

- Bluetooth機器と無線LAN (IEEE802.11b/g/n) は同一周波数帯 (2.4GHz) を使用するため、無線LANを搭載した機器の近くで使用すると、電波干渉が発生し、通信速度の低下や雑音、接続不能の原因になることがあります。この場合、無線LANの電源を切るか、端末や接続相手のBluetooth機器を無線LANから約10m以上離してください。

Bluetooth機能の利用

本端末とBluetooth機器を接続するには、ペア設定が必要です。

- 一度ペア設定を行うと、ペア設定情報は記録されます。
- ペア設定を行うときに、パスコード (PIN) の入力が必要になる場合があります。本端末のパスコード (PIN) は「0000」です。「0000」を入力してもペア設定できない場合は、Bluetooth機器の取扱説明書をご覧ください。
- あらかじめペア設定を行う機器側で、Bluetooth機能およびBluetooth検出機能がONになっていることを確認してください。

- 1 ホーム画面で [設定] ▶ [その他] ▶ [接続済みのデバイス]
- 2 [接続の設定] ▶ [Bluetooth]
- 3 ONにする
- 4 [新しいデバイスとペア設定する]
- 5 Bluetooth機器を選ぶ ▶ [ペア設定する]

- 接続確認画面が表示される場合があります。
- 相手のBluetooth機器によっては、Bluetoothペア設定コード (パスコード) を入力する場合があります。また、登録完了後、続けて接続まで行う場合があります。

お知らせ

- 最大7台まで同時に接続できます。プロファイルによっては、正しく動作しない場合や、同時に接続できる機器数が異なる場合があります。
- 接続に失敗する場合、Bluetooth機器を再登録すると接続できるようになる場合があります。
- Bluetooth機能を「ON」にすると、他のBluetooth機器からの登録要求/接続要求を受けられる状態になります。他のBluetooth機器から検索する場合は、本体設定の「接続済みのデバイス」を表示しておいてください。
- 接続待機中、Bluetooth機器からの接続要求を受けても、電波状況などにより接続できないことがあります。

- 相手のBluetooth機器の操作方法の詳細は、ご使用になるBluetooth機器の取扱説明書をお読みください。

Bluetooth機器からの登録要求や未登録のBluetooth機器からの接続要求を受けた場合

- 1 Bluetooth機器からの登録要求/接続要求
- 2 ペア設定画面で [ペア設定する]
 - 相手のBluetooth機器によっては、Bluetoothパスキーの入力をする場合もあります。
 - 接続確認画面が表示される場合があります。

Bluetooth機器の登録解除

- 1 ホーム画面で [設定] ▶ [その他] ▶ [接続済みのデバイス]
- 2 登録を解除するBluetooth機器名の横の [設定]
- 3 [削除] ▶ [ペア解除する]

Bluetooth機器の接続解除

- 1 ホーム画面で [設定] ▶ [その他] ▶ [接続済みのデバイス]
- 2 接続を解除するBluetooth機器名の横の [設定]
- 3 [接続を解除]

Bluetooth通信送受信

データを送信

例：写真/動画のとき

- 1 ホーム画面で [写真/動画] ▶ [写真/動画]
- 2 一覧画面から送信する写真や動画をタップ
- 3 表示された写真や動画をタップ ▶ [送る]
- 4 「共有」の画面で [Bluetooth]
- 5 送信先のBluetooth機器名をタップ

データを受信

- 1 送信側のBluetooth機器からデータ送信
- 2 着信通知の [許諾]
 - 通知の表示が消えたときは、ステータスバーを下にドラッグして表示します。
- 3 「Bluetooth共有」の通知をタップ
 - 通知の表示が消えたときは、ステータスバーを下にドラッグして表示します。
- 4 「外部からの転送」の画面で受信したデータをタップ

お知らせ

- データの種類によっては、全件受信できないことがあります。
- 受信中に保存先の空き容量が不足した場合は、それまでに受信したデータを保存し、受信を終了します。

NFC通信

NFCとはNear Field Communicationの略で、ISO（国際標準化機構）で規定された国際標準の近接型無線通信方式です。非接触ICカード機能やReader／Writer機能、P2P機能などが本端末でご利用いただけます。

- NFC／おサイフケータイの機能の設定については→P.45

外部機器接続

パソコンとの接続

端末とパソコンの接続方法

本端末とパソコンなどを接続することで、本端末または相手機を充電したり、本体メモリまたはmicroSDカードのデータを転送したりできます。

USBケーブル A to C 02（別売）を使って接続する場合は、次の操作を行います。

- 1 USBケーブル A to C 02のUSB Type-Cプラグを端末のUSB Type-C接続端子に水平に差し込む
- 2 USBケーブル A to C 02のUSBプラグをパソコンのUSBコネクタに水平に差し込む

お知らせ

- 本端末が対応するUSBケーブルをご利用ください。プラグ部の形状が異なるものは使用できません。
- USB HUBや変換プラグを使用すると、正常に動作しない場合があります。
- パソコンとデータのやりとりをしているときは、USBケーブル A to C 02を取り外さないでください。データが壊れることがあります。
- 接続可能なパソコンのOSは、Windows 8.1、Windows 10（いずれも日本語版）です。

データ転送

パソコンから本体メモリまたはmicroSDカードにデータを転送することができます。

- 1 端末をUSBケーブル A to C 02（別売）でパソコンに接続する
- 2 「USB接続の用途」の「ファイルを転送する」
 - 「USB接続の用途」を変更するには、ステータスバーを下にドラッグして、USB接続の使用方法についての通知を選択します。
- 3 データを転送する
- 4 利用が終わったら、USBケーブル A to C 02を端末とパソコンから取り外す

海外利用

国際ローミング (WORLD WING) の概要

国際ローミング (WORLD WING) とは、日本国内で使用している電話番号やメールアドレスはそのままに、ドコモと提携している海外通信事業者のサービスエリアでご利用になれるサービスです。電話、SMSは設定の変更なくご利用になります。国際ローミング (WORLD WING) の詳細については、ドコモのホームページをご覧ください。

<https://www.nttdocomo.co.jp/service/world/roaming/>

対応ネットワークについて

本端末はLTEネットワーク、3GネットワークおよびGSM/GPRSネットワークのサービスエリアでご利用になります。また、3G850MHz/GSM850MHzに対応した国・地域でもご利用になります。

お知らせ

- 国番号・国際電話アクセス番号・ユニバーサルナンバー用国際識別番号・接続可能な国・地域および海外通信事業者は、ドコモのホームページをご確認ください。

海外で利用可能なサービス

主な通信サービス	LTE	3G	3G850	GSM (GPRS)
電話	○	○	○	○
SMS	○	○	○	○
パケット通信*	○	○	○	○

*ローミング時にパケット通信を利用するには、データローミング設定を「ON」にしてください。→P.66

お知らせ

- 接続する海外通信事業者やネットワークによりご利用にならないサービスがあります。
- 接続している通信事業者名は、通知パネルやスタート画面で確認できます。

海外でご利用になる前に

出発前の確認

海外でご利用になる際は、出発前に日本国内で次の確認をしてください。

ご契約について

- WORLD WINGのお申し込み状況をご確認ください。詳細は裏表紙の「総合お問い合わせ先」までお問い合わせください。
- ahamoプランでご利用になる場合、WORLD WINGのお申し込みは不要で廃止はできません。

充電について

- 充電についてはドコモのホームページをご確認ください。

料金について

海外でのご利用料金（通話料、パケット通信料）は、日本国内とは異なります。詳細はドコモのホームページをご確認ください。また、ahamoプランでご利用になる際は、必ず

ahamoのホームページで詳細をご確認ください。

- ご利用のアプリによっては自動的に通信を行うものがありますので、パケット通信料が高額になる場合があります。各アプリの動作については、お客様ご自身でアプリ提供元にご確認ください。

事前設定

海外でご利用になる際は、出発前に日本国内で次の確認をしてください。

ネットワークサービスの設定について

ネットワークサービスをご契約いただいている場合、海外からも留守番電話サービス・転送でんわサービス・番号通知のサービスなどのネットワークサービスをご利用になります。ただし、一部のネットワークサービスはご利用になりません。

- 海外でネットワークサービスをご利用になるには、「遠隔操作設定」を開始する必要があります。渡航先で「遠隔操作設定」を行うこともできます。日本国内から（→P.35）、海外から（→P.68）
- 設定／解除などの操作が可能なネットワークサービスの場合でも、利用する海外通信事業者によっては利用できないことがあります。

滞在国での確認

海外に到着後、本端末の電源を入れると自動的に利用可能な通信事業者／ネットワークに接続されます。

接続について

「モバイルネットワーク」の設定で「ネットワークを自動的に選択」をONに設定している場合は、最適なネットワークを自動的に選択します。

海外で利用するための設定

データローミングの設定

海外でパケット通信を行うためには、データローミングの設定を「ON」にする必要があります。

- 1 ホーム画面で【設定】▶【その他】▶【ネットワークとインターネット】▶【モバイルネットワーク】
- 2 「データローミング」の【OFF】▶注意画面の内容を確認して【OK】

通信事業者の設定

お買い上げ時は、自動的に利用できるネットワークを検出して切り替えるように設定されています。手動でネットワークを切り替える場合は、次の操作で設定してください。

- 1 ホーム画面で【設定】▶【その他】▶【ネットワークとインターネット】▶【モバイルネットワーク】
- 2 「ネットワークを自動的に選択」をOFFにする
 - 利用可能なネットワークを検索して表示します。
 - ネットワーク検索でエラーが発生する場合は、「モバイルデータ」を「OFF」にして再度実行してください。（→P.52）
- 3 通信事業者のネットワークを選択

お知らせ

- 自動でネットワークを切り替える場合は、手順2で「ネットワークを自動的に選択について」をONにしてください。

優先ネットワークの種類の設定

- 1 ホーム画面で[設定] ▶ [その他] ▶ [ネットワークとインターネット] ▶ [モバイルネットワーク] ▶ [優先ネットワークの種類]
- 2 [5G/4G/3G/GSM]/[4G/3G/GSM]/[3G/GSM]/[GSM]

日付と時刻について

「ネットワークと時刻を使用する」、「ネットワークから提供されるタイムゾーンを使用する」がONの場合は、接続している海外通信事業者のネットワークから時刻・時差に関する情報を受信することで本端末の時刻や時差が補正されます。

- 海外通信事業者のネットワークによっては、時刻・時差補正が正しく行われない場合があります。その場合は、手動でタイムゾーンを設定してください。
- 補正されるタイミングは海外通信事業者によって異なります。
- 日付と時刻については→P.60

お問い合わせについて


- 本端末やnanoUIMカードを海外で紛失・盗難された場合は、現地からドコモへ速やかにご連絡いただき利用中断の手続きをお取りください。お問い合わせ先については、裏表紙をご覧ください。My docomoからも利用中断の手続きは可能です。
- なお、紛失・盗難されたあとに発生した通話・通信料もお客様のご負担となりますのでご注意ください。
- 一般電話などからご利用の場合は、滞在国内に割り当てられている「国際電話アクセス番号」または「ユニバーサルナンバー用国際識別番号」が必要です。
- ahamoプランをご利用の場合、ahamoのホームページからお問い合わせください。

滞在先で電話をかける／受ける

滞在国外(日本含む)に電話をかける

国際ローミングサービスを利用して、滞在国内からほかの国・地域へ電話をかけることができます。

- 先頭に「+」を付けてから相手の国番号と電話番号を入力すると、滞在先から日本、またはほかの国・地域へ簡単に国際電話をかけることができます。
- 接続可能な国および通信事業者などの情報については、ドコモのホームページをご覧ください。

- 1  ▶ [ダイヤル]
- 2 + ([0] をロングタッチ) ▶ 国番号、地域番号(市外局番)、相手先電話番号の順に入力
 - 地域番号(市外局番)が「0」で始まる場合には、先頭の「0」を除いて入力してください。ただし、イタリアなど一部の国・地域では「0」が必要になる場合があります。
 - 電話をかける相手が海外での「WORLD WING」利用者の場合は、国番号として「81」(日本)を入力してください。


- 3 [発信]

- 4 通話が終了したら[電話を切る]

国際ダイヤルアシストを利用して電話をかける

滞在国内からほかの国・地域へ電話をかける場合、国際ダイヤルアシストを利用すると、簡単な操作で国際電話をかけることができます。


- あらかじめ国際ダイヤルアシストの自動変換機能をONに設定する必要があります(→P.68)。
- 地域番号の先頭の「0」があらかじめ設定した国番号に自動的に変換されます。

- 1  ▶ [ダイヤル]
- 2 地域番号(市外局番)、相手先電話番号の順に入力
- 3 [発信]
 - 国際ダイヤルアシスト画面が表示された場合は「発信」をタップします。
- 4 通話が終了したら[電話を切る]

滞在国内に電話をかける

日本国内で電話をかける操作と同様に、相手の一般電話や携帯電話の番号を入力するだけで電話をかけることができます。

- あらかじめ国際ダイヤルアシストの自動変換機能をONに設定する必要があります(→P.68)。
- 地域番号の先頭の「0」があらかじめ設定した国番号に自動的に変換されます。

- 1  ▶ [ダイヤル]
- 2 電話番号を入力
 - 一般電話にかける場合は、地域番号(市外局番)、相手先電話番号の順に入力します。
- 3 [発信]
 - 国際ダイヤルアシスト画面が表示された場合は「元の番号で発信」をタップします。
- 4 通話が終了したら[電話を切る]

海外にいるWORLD WING利用者に電話をかける

日本国内で電話をかける操作と同様に、相手の一般電話や携帯電話の番号を入力するだけで電話をかけることができます。

- 滞在先にかかわらず日本経由での通信となるため、日本への国際電話と同じようにダイヤルしてください。
- +(「0」をロングタッチ)-81(日本の国番号)-先頭の「0」を除いた電話番号

滞在先で電話を受ける

海外でも日本にいるときと同様の操作で電話を受けることができます。

お知らせ

- 国際ローミング中に電話がかかってきた場合は、いずれの国・地域からの電話であっても日本からの国際転送となります。発信側には日本までの通信料がかかり、着信側には着信料がかかります。

Kyocera
Confidential

相手からの電話のかけかた

■日本国内から滞在先に電話をかけてもらう場合

日本国内の一般電話、携帯電話から滞在先の本端末に電話をかけてもらう場合は、日本国内にいるときと同様に電話番号をダイヤルしてもらうだけで電話をかけることができます。

■日本以外から滞在先に電話をかけてもらう場合

滞在先にかかわらず日本経由で電話をかけるため、発信国の国際電話アクセス番号および「81」（日本の国番号）をダイヤルしてもらう必要があります。

発信国の国際電話アクセス番号-81-90（または80、70）-XXXX-XXXX

国際ローミングの設定

国際ローミングサービスを利用するときの設定を行います。

・海外通信事業者によっては設定できない場合があります。

① ▶ [メニュー]

② [通話設定] ▶ [ネットワークサービス・海外設定]

● 確認画面が表示された場合は、画面に従って操作してください。

③ [海外設定]

ローミング時着信規制	国際ローミング中に着信を規制することができます。
ローミング着信通知	国際ローミング中に圏外などで着信できなかった場合にSMSでお知らせします。
ローミングガイドダンス	国際ローミング中に電話をかけてきた相手に、国際ローミング中であることをお知らせするガイドダンスを流すことができます。
ネットワークサービス	ネットワークサービス（海外）の設定については→P.68

国際ダイヤルアシストの設定

相手が国際ローミング中の場合は、滞在国内に電話をかける場合でも、日本への国際電話として電話をかけてください。

① ▶ [メニュー]

② [通話設定] ▶ [国際ダイヤルアシスト]

自動変換機能	国際プレフィックスまたは国番号を自動で追加します。
国番号	自動変換機能で使用する国番号を選択します。

ネットワークサービス（海外）の設定

滞在国内で利用する留守番電話サービスなどのネットワークサービスを設定します。

- ・あらかじめ、「遠隔操作設定」を開始にする必要があります（→P.35）。
- ・海外から操作した場合は、滞在国内から日本までの通話料がかかります。
- ・海外通信事業者によっては設定できない場合があります。

① ▶ [メニュー]

② [通話設定] ▶ [ネットワークサービス・海外設

定]

- 確認画面が表示された場合は、画面に従って操作してください。

③ [海外設定] ▶ [ネットワークサービス]

遠隔操作（有料）	遠隔操作を開始するかどうかを設定します。
番号通知お願サービス（有料）	発信者番号が非通知の電話がかかってきた場合に発信者に番号通知を依頼するガイドダンスを流します。
ローミング着信通知（有料）	国際ローミング中に圏外などで着信できなかった場合にSMSでお知らせします。
ローミングガイドダンス（有料）	国際ローミング中に電話をかけてきた相手に、国際ローミング中であることをお知らせするガイドダンスを流すことができます。
留守番電話サービス（有料）	電波が届かないところにいたり、電源を切っている場合などに電話をかけてきた方の伝言メッセージをお知らせします（お申し込み必要）。
転送でんわサービス（有料）	かかってきた電話を、あらかじめ登録した他の携帯電話などに転送することができます（お申し込み必要）。

④ 画面表示に従って操作

⑤ 音声ガイドダンスに従って操作

帰国後の確認

日本に帰国後は渡航前の設定に戻してください。

■海外でパケット通信を利用した場合

- ・「データローミング」をOFFに設定してください（→P.66）。

■帰国後に自動的にドコモのネットワークに接続できない場合

- ・「優先ネットワークの種類」を「5G/4G/3G/GSM」に設定してください（→P.67）。
- ・「ネットワークを自動的に選択」をONに設定してください（→P.66）。

試供品

USB Type-C 3.5mmイヤホン変換アダプタ

市販のイヤホンやヘッドホンから音声を出力する場合は、USB Type-C 3.5mmイヤホン変換アダプタ（試供品）にイヤホンやヘッドホンを接続してください。



- イヤホンやヘッドホンを接続するときは、USB Type-C 3.5mmイヤホン変換アダプタのイヤホン接続端子に対してまっすぐに、奥までしっかりと差し込んでください。

トラブルシューティング (FAQ)

故障かな？と思ったら

- 故障かな？と思ったときに、お客様ご自身で診断することができます。詳細については、ドコモのホームページをご確認ください。
- ソフトウェアを更新する必要があるかをチェックして、必要な場合にはソフトウェアを更新してください（→P.71）。
- 気になる症状のチェック項目を確認しても症状が改善されないときは、お気軽にご相談ください。お問い合わせ先については、裏表紙をご覧ください。

電源

症状	チェック項目
本端末の電源が入らない	<ul style="list-style-type: none"> 電池切れになっていませんか。
画面が動かない、電源が切れない	<ul style="list-style-type: none"> 画面が動かなくなったり、電源が切れなくなったりした場合に本端末の電源を強制的に切ることができます。  と  を同時に11秒以上長く押し、電源が切れます。 ※強制的に電源を切る操作のため、データおよび設定した内容などが消えてしまう場合がありますのでご注意ください。
ソフトウェアアップデートに失敗する（画面が動かない、再起動を繰り返す）	<ul style="list-style-type: none"> アップデート実施後、ホーム画面まで起動できていない状態であれば、以前のソフトウェアに戻すことで、本端末を復旧できる場合があります。

充電

症状	チェック項目
充電ができない 充電ランプが点灯しない、または点滅する	<ul style="list-style-type: none"> 電池パックが正しく取り付けられていますか。 アダプタの電源プラグがコンセントまたはアクセサリソケットに正しく差し込まれていますか。 アダプタと本端末が正しくセットされていますか。 ACアダプタ（別売）をご使用の場合、ACアダプタのコネクタが本端末または卓上ホルダ（別売）にしっかりと接続されていますか。 USBケーブル A to C 02（別売）をご使用の場合、パソコンの電源が入っていますか。 卓上ホルダを使用する場合、本端末の充電端子は汚れていませんか。汚れたときは、端子部分を乾いた綿棒などで拭いてください。 充電しながら通話や通信、その他機能の操作を長時間行うと、本端末の温度が上昇して充電ランプが点滅する場合があります。その場合は、本端末の温度が下がってから再度充電を行ってください。

端末操作

症状	チェック項目
操作中・充電中に熱くなる	<ul style="list-style-type: none"> 操作中や充電中、充電しながらアプリや動画撮影などを長時間行った場合などには、本端末や内蔵電池、アダプタが熱くなる場合がありますが、動作上問題ありませんので、そのままご使用ください。
電池の使用時間が短い	<ul style="list-style-type: none"> 圏外の状態でも長時間放置されるようなことはありませんか。 圏外時は通信可能な状態にできるよう電波を探すため、より多くの電力を消費しています。圏外の状態が続く場所では電源を切るか、機内モードに設定してください（→P.53）。 内蔵電池の使用時間は、使用環境や劣化度により異なります。 内蔵電池は消耗品です。充電を繰り返すごとに、1回で使える時間が次第に短くなっていきます。 十分に充電してもお買い上げ時に比べて使用時間が極端に短くなった場合は、内蔵電池の交換時期です。内蔵電池の交換につきましては、端末をお預かりして有料で承ります。修理受付での対応となりますので「保証とアフターサービス」（→P.72）をご確認ください。 使用していないアプリは終了してください（→P.27）。 Wi-Fi機能やBluetooth機能を使用していないときは、設定をOFFにしてください（→P.51、63）。 バッテリーセーバーを利用すると、電池の消費を抑えることができます（→P.23）。

症状	チェック項目
タップしたり、ボタンを押したりしても動作しない	<ul style="list-style-type: none"> 電源が切れていませんか (→P.19)。
タップしたり、ボタンを押ししたりしたときの画面の反応が遅い	<ul style="list-style-type: none"> 本端末に大量のデータが保存されているときや、本端末とmicroSDカードの間で容量の大きいデータをやりとりしているときなどに起きる場合があります。
nanoUIMカードを認識しない	<ul style="list-style-type: none"> nanoSIMカードを正しい向きで挿入していますか (→P.16)。
時計がずれる	<ul style="list-style-type: none"> 長い間電源を入れた状態にしていると時計がずれる場合があります。「ネットワークの時刻を使用する」「ネットワークから提供されたタイムゾーンを使用する」「言語/地域のデフォルトを使用する」がONになっているかを確認し、電波の良い場所で電源を入れ直してください (→P.60)。
端末動作が不安定	<ul style="list-style-type: none"> お買い上げ後に端末へインストールしたアプリケーションによる可能性があります。セーフモードで起動して症状が改善される場合には、インストールしたアプリケーションをアンインストールすることで症状が改善される場合があります。セーフモードとはご購入時の状態に近い状態で起動させる機能です。 <input type="checkbox"/>を1秒以上長く押す▶「電源を切る」をロングタッチ▶「OK」をタップすると、本端末が再起動してセーフモードで起動できます。セーフモードが起動すると画面左下に「セーフモード」と表示されます。セーフモードを終了するには、電源を入れ直してください。 ※必要なデータを事前にバックアップした上でセーフモードをご利用ください。 ※アプリやウィジェットによっては非表示になる場合があります。 ※セーフモードは通常の起動状態ではありません。通常ご利用になる場合には、セーフモードを終了しご利用ください。
アプリが正しく起動しない(起動できない、エラーが頻繁に起こるなど)	<ul style="list-style-type: none"> 無効化されているアプリはありませんか。無効化されているアプリを有効にしてから再度お試しください (→P.54)。

通話

症状	チェック項目
発信ができない	機内モードを設定していませんか (→P.53)。
着信音が鳴らない	<ul style="list-style-type: none"> 「着信・通知音の音量」を消音にしていませんか (→P.55)。 マナーモードを設定していませんか (→P.22)。 機内モードを設定していませんか (→P.53)。 留守番電話サービスまたは転送でんわサービスの呼び出し時間を「0秒」にしていますか (→P.35)。 伝言メモの応答時間設定を「0秒」にしていますか (→P.35)。 着信拒否の設定をしていませんか (→P.36)。
通話ができない(場所を移動しても電波の表示が消えない、電波の状態は悪くないのに発信または着信ができない)	<ul style="list-style-type: none"> 電源を入れ直すか (→P.19)、nanoUIMカードを入れ直してください (→P.16)。 電波の性質により、「圏外ではない」「電波状態は」を表示している状態でも発信や着信ができない場合があります。場所を移動してかけ直してください。 着信拒否など着信制限を設定していませんか (→P.36)。 電波の混み具合により、多くの人が集まる場所では電話やメールが混み合い、つながりにくい場合があります。その場合は話中音が流れます。場所を移動するか、時間をずらしてかけ直してください。

画面

症状	チェック項目
ディスプレイが暗い	<ul style="list-style-type: none"> 「画面消灯」を短い時間で設定していませんか (→P.55)。 「明るさの自動調節」をONにしている場合は、周囲の明るさに応じて画面の明るさが変わります (→P.55)。 近接/光センサーをシールなどでふさいでいませんか (→P.15)。

音声

症状	チェック項目
通話中、相手の声が聞こえにくい、相手の声が大きすぎる	<ul style="list-style-type: none"> 「通話の音量」を変更していませんか (→P.55)。 「聞こえ調整」をONに設定を変更すると、相手の音声聞こえやすくなります (→P.35)。

メール

症状	チェック項目
メールを自動で受信しない	ドコモメールの「自動通信設定」をOFFに設定していませんか。

カメラ

症状	チェック項目
カメラで撮影した静止画や動画がぼやける	カメラのレンズにもくもりや汚れが付着していないかを確認してください。

おサイフケータイ

症状	チェック項目
おサイフケータイが使えない	<ul style="list-style-type: none"> • おまかせロックを設定すると、NFC/おサイフケータイ ロック ON/OFFの設定に関わらずおサイフケータイの機能が利用できなくなります。 • NFC/おサイフケータイ ロック ON/OFFを設定していませんか(→P.45)。 • 本端末のマークがある位置を読み取り機にかざしていますか(→P.45)。

海外利用

症状	チェック項目
海外で本端末が使えない(■が表示されている場合)	<ul style="list-style-type: none"> • WORLD WINGのお申し込みをされていますか。WORLD WINGのお申し込み状況をご確認ください。
海外で本端末が使えない(■が表示されている場合)	<ul style="list-style-type: none"> • 国際ローミングサービスのサービスエリア外か、電波の弱い場所にいませんか。利用可能なサービスエリアまたは海外通信事業者かどうか、ドコモのホームページをご覧ください(→P.66)。 • ネットワークの設定や海外通信事業者の設定を変更してみてください。優先ネットワークの種類を「5G/4G/3G/GSM」に設定してください(→P.67)。ネットワークを自動的に選択を「ON」に設定してください(→P.66)。 • 本端末の電源を入れ直すことで回復することがあります(→P.19)。
海外でデータ通信ができない	<ul style="list-style-type: none"> • データローミングを「ON」にしてください(→P.66)。
海外で利用中に、突然本端末が使えなくなった	<ul style="list-style-type: none"> • 利用停止目安額を超えていませんか。「国際ローミングサービス(WORLD WING)」のご利用には、あらかじめ利用停止目安額が設定されています。利用停止目安額を超えてしまった場合、ご利用累積額を精算してください。
相手の電話番号が通知されない/相手の電話番号とは違う番号が通知される/電話帳の登録内容や発信者番号通知を利用する機能が動作しない	<ul style="list-style-type: none"> • 相手が発信者番号を通知して電話をかけてきても、利用しているネットワークや通信事業者から発信者番号が通知されない場合は、本端末に発信者番号は表示されません。また、利用しているネットワークや通信事業者によっては、相手の電話番号とは違う番号が通知される場合があります。

データ管理

症状	チェック項目
データ転送が行われない	<ul style="list-style-type: none"> • USB HUBを使用していませんか。USB HUBを使用すると、正常に動作しない場合があります。
microSDカードに保存したデータが表示されない	<ul style="list-style-type: none"> • microSDカードを取り付け直してください(→P.17)。

症状	チェック項目
画像を表示しようとするとき正しく表示されない	<ul style="list-style-type: none"> • 画像データが壊れている場合は黒色の画面が表示されるなどとして、画像が正しく表示されません。

Bluetooth機能

症状	チェック項目
Bluetooth通信対応機器と接続ができない/検索しても見つからない	<ul style="list-style-type: none"> • Bluetooth通信対応機器(市販品)側を機器登録待ち受け状態にしてから、本端末側から機器登録を行う必要があります。登録済みの機器を削除して再度機器登録を行う場合には、Bluetooth通信対応機器(市販品)、本端末双方で登録した機器を削除してから機器登録を行ってください(→P.63)。
カーナビやハンズフリー機器などの外部機器を接続した状態で本端末から発信できない	<ul style="list-style-type: none"> • 相手が電話に出ない、圏外などの状態で複数回発信すると、その番号へ発信できなくなる場合があります。その場合は、本端末の電源を一度切ってから、再度電源を入れ直してください。

エラーメッセージ

エラーメッセージ	原因と対処
◆◆◆◆◆	• ◆◆◆◆◆
◆◆◆◆◆	• ◆◆◆◆◆
◆◆◆◆◆	• ◆◆◆◆◆
◆◆◆◆◆	• ◆◆◆◆◆
◆◆◆◆◆	• ◆◆◆◆◆
◆◆◆◆◆	• ◆◆◆◆◆
◆◆◆◆◆	• ◆◆◆◆◆
◆◆◆◆◆	• ◆◆◆◆◆

ソフトウェアアップデート

ソフトウェアアップデート*とは、本端末をより安全で快適にご利用いただくためにソフトウェアの更新を行う機能です。以下の内容が含まれますので、必ず最新ソフトウェアへのアップデートをお願いいたします。

ソフトウェアアップデートの種類としては以下の4つがあります。

※本端末ではシステムアップデートと表示されます。

- Android OSバージョンアップ
Android OSおよびプリインストールされているアプリや端末機能のバージョンアップを行うことで、機能・操作性・品質等が向上し、本端末をより快適に安心してご利用いただけます。
- 新機能追加
プリインストールされているアプリや端末機能を更新することで、機能・操作性が向上し、本端末をより快適にご利用いただけます。
- 品質改善
プリインストールされているアプリや端末機能を更新することで、品質が向上し、本端末より快適にご利用いただけます。
- セキュリティパッチの更新
セキュリティパッチの更新を行うことで、脆弱性を対処するためのソフトウェアを適用することができます。適用することができます。

Kyocera
Confidential

本端末に提供されている具体的なソフトウェアアップデートの内容および期間については、ドコモのホームページをご覧ください。

ご利用条件

- 5G/Xiでのパケット通信をご利用の場合、モバイルネットワーク設定でアクセスポイントをspmode.ne.jpに設定してください。
- 5G/Xiでのパケット通信をご利用の場合、ダウンロードによる通信料金は発生しません。
- 国外でソフトウェアアップデートを行う場合は、Wi-Fi接続が必要です。
- ソフトウェアが改造されているときはアップデートができません。

ソフトウェアアップデートを行う

更新の開始

更新を開始する方法としては以下のいずれかの操作を行います。

- 更新をお知らせする通知から
本端末のステータスバーから通知を選択し、更新を開始します。
- 定期的に表示される画面から
本端末が更新可能になると、確認画面が表示される場合があります。その確認画面にて動作を選択いただき、更新を進めてください。
- 本体設定から
ホーム画面で[設定] ▶ [その他] ▶ [システム] ▶ [システム アップデート] を選択し、更新を開始します。
※アップデートが不要な場合、「お使いのシステムは最新の状態です」と表示されます。

更新の流れ

更新は以下の流れで行われます。

詳細な操作手順は本端末の表示内容に従ってください。

1 更新ファイルのダウンロードおよびインストール

- 更新の種類によっては、更新ファイルのダウンロードとインストールが自動的に行われます。
- 更新ファイルのダウンロードとインストールの前に通知もしくは確認画面が表示される場合があります。いずれかが表示された場合は、表示されている手順に従いシステムアップデートを進めてください。
※通信料金が発生すると表示される場合がありますが、spmode.ne.jpに設定の場合、通信料金は発生しません。

2 再起動

- 更新の準備が整い次第、通知もしくは確認画面が表示されます。
[今すぐ再起動] を選択すると、すぐに本端末が再起動します。
[2:00以降に再起動] を選択すると、夜間に自動で再起動されます。
※再起動の直前に確認画面が表示されます。再起動を中止したい場合は、一定時間内に「後で行う」をタップしてください。

3 更新完了の通知

- 更新が完了すると、本端末に完了画面が表示されます。
- 更新の種類がAndroid OSバージョンアップの場合は、更新完了後にお客様自身でインストールされたアプリのアップデートを確認してください。アップデートを行わないと動作が不安定になることや、機能が正常に動作しなくなることがあります。

注意事項

- ソフトウェアアップデート完了後は、以前のソフトウェアへ戻すことはできません。
- ソフトウェアアップデート中、本端末固有の情報（機種や製造番号など）が当社のサーバーに送信されます。当社は送信された情報を、ソフトウェアアップデート以外の目的には利用いたしません。
- ソフトウェアアップデート中は一時的に各種機能を利用できない場合があります。
- ソフトウェアアップデートを行うと、一部の設定が初期化されることがありますので、再度設定を行ってください。
- PINコードが設定されているときは、書き換え処理後の再起動の途中で、PINコードを入力する画面が表示され、PINコードを入力する必要があります。
- ソフトウェアアップデートに失敗し、一切の操作ができなくなった場合には、ご相談ください。お問い合わせ先については、裏表紙をご覧ください。
- ソフトウェアアップデートは、本端末に保存されたデータを残したまま行うことができますが、お客様の端末の状態（故障・破損・水濡れなど）によってはデータの保護ができない場合があります。必要なデータは事前にバックアップを取っていただくことをおすすめします。各アプリの持つデータについて、バックアップ可能な範囲はアプリにより異なります。各アプリでのバックアップ方法は、各アプリの提供元にご確認ください。
- 以下の場合はソフトウェアアップデートができません。事象を解消後に再度お試しください。
 - 通話中
 - 日付・時刻を正しく設定していないとき
 - 必要な電池残量がないとき
 - 内部ストレージに必要な空き容量がないとき
 - 国際ローミング中
- ソフトウェアアップデート中は電源を切らないでください。

保証とアフターサービス

保証について

- 保証期間は、お買い上げ日より1年間です。
- USB Type-C 3.5mmイヤホン変換アダプタは無料修理保証の対象外となります。
- USB Type-C 3.5mmイヤホン変換アダプタは、試作品となります。試作品のお問い合わせ先をご覧ください。
- 本端末の仕様および外観は、付属品を含め、改良のため予告なく変更することがありますので、あらかじめご了承ください。
- 本端末の故障・修理やその他お取り扱いによって電話帳などに登録された内容が変化・消失する場合があります。万が一に備え、電話帳などの内容はご自身で控えをお取りくださるようお願いいたします。
- ※本端末は、電話帳などのデータをmicroSDカードに保存していただくことができます。
- ※本端末はドコモクラウドをご利用いただくことにより、電話帳などのデータをバックアップしていただくことができます。
- ※お客様のご契約内容により、ご利用になれないアプリやサービスがあります。詳しくは、ドコモのホームページをご覧ください。

無料修理規定

- 保証期間内に取扱説明書などの注意にしたがった使用状態のもとで、故障が発生した場合は無料で修理いたします。（代替品と交換となる場合があります。）
- 保証期間内で修理が必要な場合がご

Kyocera
Confidential

ございます。

- (1) 改造（ソフトウェアの改造も含む）による故障、損傷。
- (2) 落下や、外部からの圧力などで本端末、ディスプレイ及び外部接続端子などが破損したことによる故障、損傷、または本端末内部の基板が破損、変形したことによる故障、損傷。
- (3) 火災、公害、異常電圧、地震、雷、風水害その他天災地変などによる故障、損傷。
- (4) 本端末に接続している当社指定以外の機器、消耗品による故障、損傷。
- (5) 本端末内部への水の浸入による故障、損傷、本端末の水濡れシールが反応している場合、本端末に水没・水濡れなどの痕跡が発見された場合、または結露などによる腐食が発見された場合。
- (6) ドコモ指定の故障取扱拠点以外で修理を行ったことがある場合。

3.本保証は日本国内においてのみ有効です。

4.本保証は明示した期間、条件においての無料修理をお約束するものでお客様の法律上の権利を制限するものではありません。

5.お預かり品に故障箇所が複数あった場合、一部分の修理だけでは製品の品質が保証できないため、全て修理してご返却いたします。その際は無料修理対象外となる場合がございます。

6.修理実施の有無に関わらず、動作確認試験を実施したお預かり品は、最新のソフトウェアに更新してご返却する場合がございます。

7.修理を実施した場合の修理箇所や修理実施日は、修理完了時にお渡しする修理結果票でご確認ください。

<販売元>

株式会社NTTドコモ

東京都千代田区永田町2-11-1

アフターサービスについて

調子が悪い場合

修理を依頼される前に、本書の「故障かな?と思ったら」をご覧ください。

修理が必要な場合

ドコモ指定の故障取扱拠点（店頭もしくはホームページ）にて修理を受付いたします。お問い合わせ先については、裏表紙をご覧ください。なお、故障の状態によっては修理に日数がかかる場合がございますので、あらかじめご了承ください。

■保証期間が過ぎたときは

ご要望により有料修理いたします。

■部品の保有期間は

本端末の補修用性能部品（機能を維持するために必要な部品）の最低保有期間は、製造打ち切り後4年間を基本としております。

修理受付対応状況については、ホームページをご覧ください。ただし、故障箇所によっては修理部品の不足などにより修理ができない場合もございますので、詳細はドコモ指定の故障取扱拠点へお問い合わせください。お問い合わせ先については、裏表紙をご覧ください。

お願い

●本端末および付属品の改造はおやめください。

■火災・けが・故障の原因となります。

■改造が施された機器などの故障修理は、改造部分を元の状態に戻すことをご承いただいた上でお受けいたします。ただし、改造の内容によっては故障修理をお断りする場合があります。

以下のような場合は改造とみなされる場合があります。

- ・ディスプレイ部やボタン部にシールなどを貼る

・接着剤などにより本端末に装飾を施す

・必要な電池残量がないとき

・外装などをドコモ純正品以外のものに交換するなど

■改造が原因による故障・損傷の場合は、保証期間内であっても有料修理となります。

●各種機能の設定などの情報は、本端末の故障・修理やその他お取り扱いによってクリア（リセット）される場合があります。お取扱いをお知らせしますが、その場合は再度設定を実施いただくようお願いいたします。その際、設定によってはパケット通信料が発生する場合があります。

●修理を実施した場合には、故障箇所に関係なく、Wi-Fi用のMACアドレスおよびBluetoothアドレスが変更される場合があります。

●本端末にキャッシュカードなど磁気の影響を受けやすいものを近づけますとカードが使えなくなることがありますので、ご注意ください。

●本端末は防水性能を有しておりますが、本端末内部が濡れたり湿気を帯びてしまった場合は、すぐに電源を切って、お早めにドコモ指定の故障取扱拠点にて修理を実施することをおすすめいたします。ただし、本端末の状態によって修理できないことがあります。

お客様が作成されたデータおよびダウンロード情報などについて

本端末を機種変更や故障修理をする際に、お客様が作成されたデータまたは外部から取り込まれたデータあるいはダウンロードされたデータが変化・消失などする場合があります。これらについて当社は一切の責任を負いません。データの再ダウンロードにより発生するパケット通信料は、当社では補償いたしかねますのであらかじめご了承ください。また、当社の都合によりお客様の端末を代替品と交換することにより修理に代えさせていただく場合がありますが、その際にはこれらのデータなどは一部を除き交換後の製品に移し替えることはできません。

あんしん遠隔サポート

お客様の端末上の画面をあんしん遠隔サポートセンターのオペレーターと共有することで、端末操作設定やアプリの使い方、パソコンなどの周辺機器との接続に関する操作サポートを受けることができます。

- ・nanoUIMカード未挿入時、国際ローミング中、機内モードなどではご利用できません。
- ・あんしん遠隔サポートはお申し込みが必要な有料サービスです。
- ・一部サポート対象外の操作・設定があります。
- ・あんしん遠隔サポートの詳細については、ドコモのホームページをご確認ください。

オペレーターとの画面共有（電話でのお問い合わせ）

① あんしん遠隔サポートセンターへ電話する

ドコモの携帯電話からの場合

☎（局番なしの）15710（無料）

一般電話などからの場合

☎0120-783-360

受付時間：午前9:00～午後8:00（年中無休）

- ・本端末からあんしん遠隔サポートセンターへ電話する場合は、ホーム画面で「安心サポート」▶「遠隔サポート」▶「電話をかける」▶「発信」と操作します。

② ホーム画面で「安心サポート」▶「遠隔サポート」

③ 「接続画面に進む」▶「同意する」

④ ドコモからご案内する接続番号を入力▶「開始」

Kyocera
Confidential

5 接続後、遠隔サポートを開始

あんしん遠隔サポートご契約者様専用のQ&Aサイトのご利用や、LINE、+メッセージでオペレーターにお問い合わせいただくこともできます。

※LINE、+メッセージでのお問い合わせでは、画面共有はご利用いただけません。

Q&Aサイトで調べる

- 1 ホーム画面で[安心サポート] ▶ [遠隔サポート]
- 2 [Q&Aサイト/アプリで調べる]

LINEでのお問い合わせ

- 1 ホーム画面で[安心サポート] ▶ [遠隔サポート]
- 2 [LINE]

+メッセージでのお問い合わせ

- 1 ホーム画面で[安心サポート] ▶ [遠隔サポート]
- 2 [+メッセージ]

主な仕様

ソフトウェアアップデートなどにより、変更が生じる場合があります。最新の情報は、ドコモのホームページをご覧ください。

本体

品名	KY-51B	
サイズ	高さ：約◆◆mm、幅：約◆◆mm、厚さ：約◆◆mm（最厚部：約◆◆mm）	
重量	約◆◆g	
ディスプレイ	サイズ	約◆◆インチ
	種類 解像度（ピクセル数 横×縦）	◆◆◆◆◆ ◆◆（◆◆×◆◆）
内蔵メモリ	RAM：◆◆GB ROM：◆◆GB※1	
バッテリー容量	バッテリー容量	◆◆mAh
	ワット時定格値	◆◆Wh
連続待受時間（静止時） ※2※3※4	4G（LTE）	約◆◆時間
連続通話時間 ※4※5	4G（LTE）	LTE（VoLTE）：約◆◆分 LTE（VoLTE（HD+））：約◆◆分
充電時間	ACアダプタ ◆◆：約◆◆分	
無線LAN	対応規格	◆◆
	MIMO対応	◆◆
	MU-MIMO（クライアント）対応	◆◆
	MIMO対応規格	◆◆
	MU-MIMO（クライアント）対応規格	◆◆

Bluetooth	バージョン※6	◆◆
	出力	◆◆
	対応プロファイル※7/コーデック（バージョン）	◆◆、◆◆、◆◆、◆◆、◆◆、◆◆、◆◆、◆◆、◆◆、◆◆
		◆◆、◆◆
カメラ		
撮像素子	種類	アウトカメラ：◆◆ インカメラ：◆◆
	サイズ	アウトカメラ：◆◆インチ インカメラ：◆◆インチ
有効画素数	アウトカメラ：約◆◆万画素 インカメラ：約◆◆万画素	
記録ファイル形式	動画	MP4
	静止画	JPEG
動画1件あたりの最大録画時間	約◆◆分※8	
ズーム（デジタル）	動画	アウトカメラ：最大約◆◆倍 インカメラ：-
	静止画	アウトカメラ：最大約◆◆倍 インカメラ：-
ズーム（光学）	動画	アウトカメラ：最大約◆◆倍 インカメラ：-
	静止画	アウトカメラ：最大約◆◆倍 インカメラ：-
ズーム（デジタル×光学）	動画	アウトカメラ：最大約◆◆倍 インカメラ：-
	静止画	アウトカメラ：最大約◆◆倍 インカメラ：-
動画再生	対応コーデック	◆◆
音楽再生	対応コーデック	◆◆
マルチリンガル機能	表示言語	日本語/英語
	入力言語	日本語/英語
伝言メモ	保存可能件数	最大◆◆件
	1件あたりの最大録音可能時間	最大◆◆秒

※1 メモリ容量は、撮影した動画や静止画、ダウンロードしたアプリやデータなどの保存にすべての容量を使用することはできません。使用可能な空き容量については、「ストレージ」（→P.56）をご参照ください。

※2 連続待受時間とは、電波を正常に受信できる静止状態での平均的な利用時間です。

※3 連続待受時間は、設定状況、使用環境や通話・メール・カメラなどのご利用頻度により、大きく変動します。

※4 各種機能のご利用頻度が多い場合、実際の時間は半分以下になることがあります。

※5 連続通話時間は、設定状況、使用環境や通話・メール・カメラなどのご利用頻度により、大きく変動します。

※6 Bluetooth機器の特性や仕様によっては、操作方法が異なったり、データのやりとりができない場合があります。

※7 Bluetooth対応機器同士の使用目的に応じた仕様で、Bluetoothの標準規格です。

※8 ビデオサイズが1920×1080（フルHD）の場合の撮影時間です。

USB Type-C 3.5mmイヤホン変換アダプタ（試供品）

サイズ	約◆◆mm
重量	約◆◆g

認証および準拠

本端末に固有の認定および準拠マークに関する詳細（認証・認定番号を含む）について確認できます。

- 1 ホーム画面で[設定] ▶ [その他] ▶ [デバイス情報]
- 2 [認証]

VCCIについて

端末は、VCCI自主規制措置運用規程に基づく技術基準に適合しており、適合マークを画面に電子的に表示しています。

携帯電話機の比吸収率（SAR）について

この機種KY-51Bの携帯電話機は、国が定めた電波の人体吸収に関する技術基準および電波防護の国際ガイドラインに適合しています。

この携帯電話機は、国が定めた電波の人体吸収に関する技術基準（※1）ならびに、これと同等な国際ガイドラインが推奨する電波防護の許容値を遵守するよう設計されています。この国際ガイドラインは世界保健機関（WHO）と協力関係にある国際非電離放射線防護委員会（ICNIRP）が定めたものであり、その許容値は使用者の年齢や健康状況に関係なく十分な安全率を含んでいます。

国の技術基準および国際ガイドラインは電波防護の許容値を人体に吸収される電波の平均エネルギー量を表す比吸収率（SAR：Specific Absorption Rate）で定めており、携帯電話機に対するSARの許容値は2W/kgです。この携帯電話機の側頭部におけるSARの最大値は◆◆W/kg（※2）、身体に装着した場合のSARの最大値は◆◆W/kg（※3）です。個々の製品によってSARに多少の差異が生じることもありますが、いずれも許容値を満足しています。

携帯電話機は、携帯電話基地局との通信に必要な最低限の送信電力になるよう設計されているため、実際に通話等を行っている状態では、通常SARはより小さい値となります。

この携帯電話機は、側頭部以外の位置でも使用可能です。キャリアケース等のアクセサリをご使用するなどして、身体から1.5センチ以上離し、かつその間に金属（部分）が含まれないようにしてください。このことにより、本携帯電話機が国の技術基準および電波防護の国際ガイドラインに適合していることを確認しています。

世界保健機関は、「携帯電話が潜在的な健康リスクをもたらすかどうかを評価するために、これまで20年以上にわたって多数の研究が行われてきました。今日まで、携帯電話使用によって生じるとされる、いかなる健康影響も確立されていません。」と表明しています。

さらに詳しい情報をお知りになりたい場合には世界保健機関のホームページをご参照ください。

<https://www.who.int/peh-emf/publications/factsheets/en/>

SARについて、さらに詳しい情報をお知りになりたい方は、下記のホームページをご参照ください。

総務省のホームページ

<https://www.tele.soumu.go.jp/j/sys/ele/index.htm>

一般社団法人電波産業会のホームページ

<https://www.arib-empf.org/01denpa/denpa02-02.html>

ドコモのホームページ

<https://www.nttdocomo.co.jp/product/sar/>

※1 技術基準については、電波法関連省令（無線設備規則第14条の2）で規定されています。

※2 5G/LTEと同時に使用可能な無線機能を含みます。

※3 5G/LTEと同時に使用可能な無線機能を含みます。

Specific Absorption Rate (SAR) Information of Mobile Phones

This model KY-51B mobile phone complies with the Japanese technical regulations and the international guidelines regarding human exposure to radio waves.

This mobile phone was designed in observance of the Japanese technical regulations regarding exposure to radio waves^{(*)1} and the limits of exposure recommended in the international guidelines, which are equivalent to each other. The international guidelines were set out by the International Commission on Non-Ionizing Radiation Protection (ICNIRP), which is in collaboration with the World Health Organization (WHO), and the permissible limits include substantial safety margins designed to assure the safety of all persons, regardless of age and health conditions.

The technical regulations and the international guidelines set out the limits of exposure to radio waves as the Specific Absorption Rate, or SAR, which is the value of absorbed energy in any 10 grams of human tissue over a 6-minute period. The SAR limit for mobile phones is 2.0 W/kg.

The highest SAR value for this mobile phone when tested for use near the head is ◆◆W/kg^{(*)2}, and that when worn on the body is ◆◆W/kg^{(*)3}. There may be slight differences of the SAR values in individual product, but they all satisfy the limit. The actual value of SAR of this mobile phone while operating can be well below the indicated above. This is due to automatic changes in the power level of the device to ensure it only uses the minimum power required to access the network.

This mobile phone can be used in positions other than against your head. By using accessories such as a belt clip holster that maintains a 1.5cm separation with no metal (parts) between it and the body, this mobile phone is certified the compliance with the Japanese technical regulations and the international guidelines.

The World Health Organization has stated that "a large number of studies have been performed over the last two decades to assess whether mobile phones pose a potential health risk. To date, no adverse health effects have been

Kyocera
Confidential

mobile phone use."

Please refer to the WHO website if you would like more detailed information.

<https://www.who.int/peh-emf/publications/factsheets/en/>

Please refer to the websites listed below if you would like more detailed information regarding SAR.

Ministry of Internal Affairs and Communications Website:

<https://www.tele.soumu.go.jp/e/sys/ele/index.htm>

Association of Radio Industries and Businesses Website:

<https://www.arib-emf.org/O1denpa/denpa02-02.html>
(in Japanese only)

NTT DOCOMO, INC. Website:

<https://www.nttdocomo.co.jp/english/product/sar/>

- *1 The technical regulations are provided in Article 14-2 of Radio Equipment Regulations, a Ministerial Ordinance of the Radio Act.
- *2 Including other radio systems that can be simultaneously used with 5G/LTE.
- *3 Including other radio systems that can be simultaneously used with 5G/LTE.

FCC Notice

This device complies with part 15 of the FCC Rules. Operation is subject to the following two conditions: (1) This device may not cause harmful interference, and (2) this device must accept any interference received, including interference that may cause undesired operation.

Note:

This equipment has been tested and found to comply with the limits for a Class B digital device, pursuant to part 15 of the FCC Rules. These limits are designed to provide reasonable protection against harmful interference in a residential installation.


This equipment generates, uses, and can radiate radio frequency energy and, if not installed and used in accordance with the instructions, may cause harmful interference to radio communications.

However, there is no guarantee that interference will not occur in a particular installation. If this equipment does cause harmful interference to radio or television reception, which can be determined by turning the equipment off and on, the user is encouraged to try to correct the interference by one or more of the following measures:

- Reorient or relocate the receiving antenna.
- Increase the separation between the equipment and receiver.
- Connect the equipment into an outlet on circuit different from that to which the receiver is connected.
- Consult the dealer or an experienced radio/TV technician for help and for additional suggestions.

Warning

The user is cautioned that changes or modifications not expressly approved by the manufacturer could void the user's authority to operate the equipment.

 **FCC RF EXPOSURE INFORMATION**
Warning! Read this information before using your phone.

Warning! Read this information before using your phone. In August 1996, the Federal Communications Commission (FCC) of the United States, with its action in Report and Order FCC 96-326, adopted an updated safety standard for human to radio frequency electromagnetic energy emitted by FCC regulated transmitters. Those guidelines are consistent with the safety standard previously set by both U.S. and international standards bodies. The design of this phone complies with the FCC guidelines and these international standards.

Body-worn Operation

This device was tested for typical body-worn operations with the back of the phone kept 0.39 inches (1.0 cm) from the body. To comply with FCC RF exposure requirements, a minimum separation distance of 0.39 inches (1.0 cm) must be maintained between the user's body and the back of the phone, including the antenna. All beltclips, holsters and similar accessories used by this device must not contain any metallic components. Body-worn accessories that do not meet these requirements may not comply with FCC RF exposure limits and should be avoided. This device is not intended to be used with a lanyard or strap on the body. The device contains a mounting point that may be used to attach the device to equipment, a backpack or tool belt, etc.

Turn off your phone before flying

You should turn off your phone when boarding any aircraft. To prevent possible interference with aircraft systems, U.S. Federal Aviation Administration (FAA) regulations require you to have permission from a crew member to use your phone while the plane is on the ground. To prevent any risk of interference, FCC regulations prohibit using your phone while the plane is in the air.

■ FCC Certification Information

- The product is certified by Federal Communications Commission (FCC).
The product's FCC ID is JOYEB1086.
You can view this certification in the following way.
How to confirm:
Home screen ▶ [Settings] ▶ [More] ▶ [Compliance information]

輸出管理規制

本製品及び付属品は、日本輸出管理規制（「外国為替及び外国貿易法」及びその関連法令）の適用を受ける場合があります。また米国再輸出規制（Export Administration Regulations）の適用を受ける場合があります。本製品及び付属品を輸出又は再輸出する場合は、お客様の責任及び費用負担において必要となる手続きをお取りください。詳しい手続きについては経済産業省又は米商務省へお問い合わせください。

Kyocera
Confidential

知的財産権について

著作権・肖像権について

お客様が本製品を利用して撮影またはインターネット上のホームページからダウンロードなどにより取得した文章、画像、音楽、ソフトウェアなど第三者が著作権を有するコンテンツは、私的使用目的の複製や引用など著作権法上認められた場合を除き、著作権者に無断で複製、改変、公衆送信などすることはできません。

実演や興行、展示物などには、私的使用目的であっても撮影または録音を制限している場合がありますのでご注意ください。また、お客様が本製品を利用して本人の同意なしに他人の肖像を撮影したり、撮影した他人の肖像を本人の同意なしにインターネット上のホームページに掲載したりするなどして不特定多数に公開することは、肖像権を侵害するおそれがありますのでお控えください。

商標について

- 「FOMA」「spモード」「WORLD WING」「WORLD CALL」「おまかせロック」「おサイフケータイ」「iD」「公共モード」「エリアメール」「イマドコサーチ」「イマドコかんたんサーチ」「マチャキャラ」「Xi」「Xiノックロッシェ」「eトリセツ」「dカード」「dメニュー」「dマーケット」「あんしん遠隔サポート」「my daiz」「dフォト」「d払い」「はなして翻訳」「LIVE UX」「マイマガジン」「スグ電」「dヘルスケア」「dアカウン」「危険です、歩きスマホ。」「オフィスリンク」「おサイフケータイ」ロゴ、「iD」ロゴ、「dカード」ロゴ、「dmenu」ロゴ、「dマーケット」ロゴ、「dフォト」ロゴ、「d払い」ロゴ、「地図アプリ」ロゴ、「はなして翻訳」ロゴ、「ドコモ留守電」ロゴ、「ドコモ電話帳」ロゴ、「ドコモデータコピー」ロゴ、「データ保管BOX」ロゴ、「dヘルスケア」ロゴ、「おすすめアプリ」ロゴ、「ドコモ位置情報」ロゴ、「5G」ロゴは(株)NTTドコモの商標または登録商標です。
 - キャッチホンは日本電信電話株式会社の登録商標です。
 - Microsoft®、Windows®は、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における商標または登録商標です。
 - Bluetooth®は、Bluetooth SIG, Inc.の登録商標であり、京セラ株式会社はライセンスに基づいて使用しています。
 - Wi-Fi®、Wi-Fi Direct®はWi-Fi Allianceの商標または登録商標です。
 - microSDロゴ、microSDHCロゴ、microSDXCロゴは
- 
- SD-3C, LLCの商標です。
 - USB Type-C™はUSB Implementers Forumの商標です。
 - はフェリカネットワークス株式会社の登録商標です。
 - 「Google」「Google」ロゴ、「Android」「Google Play」「Google Play」ロゴ、「Gmail」「Gmail」ロゴ、「Googleマップ」「Googleマップ」ロゴ、「Google Calendar」「Google Calendar」ロゴ、「YouTube」「YouTube」ロゴ、「Googleドキュメント」「Googleドキュメント」ロゴ、「Google Chrome」「Google Chrome」ロゴ、「Google レンズ」「Google Cast」「Google アシスタント」「Googleアシスタント」ロゴは、Google LLCの商標または登録商標です。
 - 「Disney DX」アプリには、ウォルト・ディズニー・ジャパン株式会社やその親会社、ならびにこれらの関連会社（総称して「ディズニー」）の著作権やその他の知的財産権が含まれます。利用条件はディズニーデラックス利用規約をご覧ください。
 - FacebookおよびFacebookロゴはFacebook, Inc.の商標または登録商標です。
 - Amazon、Amazon.co.jp、KindleおよびAmazon.co.jpロ

ゴは、Amazon.com, Inc.またはその関連会社の商標または登録商標です。

- QRコードは株式会社デンソーウェーブの登録商標です。
- 文字変換は、オムロンソフトウェア株式会社のiWnnを使用しています。
- iWnn © OMRON SOFTWARE Co., Ltd. 2008-2021 All Rights Reserved.
- iWnn IME © OMRON SOFTWARE Co., Ltd. 2009-2021 All Rights Reserved.
- ラジオ川/radikoおよびradikoロゴは株式会社radikoの登録商標です。
- FeliCaは、ソニー株式会社が開発した非接触ICカードの技術方式です。
- その他、本書で登録するシステム名、製品名は、一般に各開発メーカーの登録商標あるいは商標です。なお、本文中では、TM、®マークは表記していません。
- 本書に明示されていないすべての権利は、その所有者に帰属します。
- この取扱説明書で説明されている本製品にインストールされているソフトウェアについては、お客様に使用権が許諾されています。本ソフトウェアのご使用に際しては、以下の点に注意ください。
 - ソフトウェアのソースコードの全部または一部について、複製、頒布、改変、解析、リバースエンジニアリングまたは導出を行ってはなりません。
 - 法律や規則に違反して、ソフトウェアの全部または一部を輸出してはなりません。
 - ソフトウェアの商品性、特定目的への適合性、第三者知的財産権の非侵害などの黙示の保証を行うものではありません。ただし、ソフトウェアに含まれている、GNU General Public License (GPL)、GNU Library/Lesser General Public License (LGPL) およびその他のオープンソースソフトウェアのライセンスに基づくソフトウェアならびに京セラ株式会社から許諾を受けたソフトウェアのご使用に際しては、当該ソフトウェアのライセンス条件が優先して適用されます。なお、オープンソースソフトウェアについては、以降に明示しておりますが「■オープンソースソフトウェアについて」をご確認ください。

■オープンソースソフトウェアについて

本製品は、GNU General Public License (GPL)、GNU Library/Lesser General Public License (LGPL)、その他のオープンソースソフトウェアのライセンス条件が適用されるソフトウェアを含みます。GPL、LGPLおよびその他のライセンスの具体的な条件については、本製品の「デバイス情報」からご参照いただけます。詳細については京セラ株式会社のホームページをご覧ください。

本製品には、京セラ株式会社が著作権を有するソフトウェアおよび京セラ株式会社から許諾を受けたソフトウェアが含まれています。本製品に含まれる、京セラ株式会社がオープンソースソフトウェアの規格やライセンスに準拠し設計、開発したソフトウェアの著作権は京セラ株式会社または第三者が有しており、著作権法上認められた使用法および京セラ株式会社から別途認められた使用法を除き、お客様は京セラ株式会社に無断で頒布、複製、改変、公衆送信等の使用を行うことはできません。

License

【OpenSSL License】

Copyright © 1998-2011 The OpenSSL Project. All rights reserved.
This product includes software developed by the OpenSSL Project for use in the OpenSSL Toolkit.
(<http://www.openssl.org>)

Kyocera
Confidential

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE OpenSSL PROJECT "AS IS" AND ANY EXPRESSED OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE OpenSSL PROJECT OR ITS CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

【Original SSLeay License】

Copyright © 1995-1998 Eric Young (eay@cryptsoft.com) All rights reserved.

This product includes cryptographic software written by Eric Young (eay@cryptsoft.com)

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY ERIC YOUNG "AS IS" AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE AUTHOR OR CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

SIMロック解除

本端末はSIMロック解除に対応しています。SIMロックを解除すると他社のSIMカードを使用することができます。

- ご利用になれるサービス、機能などが制限される場合があります。当社では、一切の動作保証はいたしませんので、あらかじめご了承ください。
- SIMロック解除の手続きの詳細については、ドコモのホームページをご確認ください。

- 1 他社のSIMカードを取り付ける
- 2 本端末の電源を入れる
- 3 SIMロック解除コードを入力▶【ロック解除】

Kyocera
Confidential

索引

名前から探す

あ

アウトカメラ	15
アカウント	59
アフターサービス	73
アプリ一覧	30
アプリ履歴	27
アラーム	46
暗証番号	20
dアカウントパスワード	20
PINコード	20
画面ロック用ロックNo./パスワード	20
ネットワーク暗証番号	20
あんしん遠隔サポート	73
位置情報	56
位置情報サービス	46
インカメラ	15
ウェブブラウザ	40
エラーメッセージ	71
おサイフケータイ	44
おサイフケータイ対応サービス	45
設定	45
ロック	45
おしらせLED	25
おしらせボタン	25
お手入れ	12
音	55
主な仕様	74
音声レコーダー	48
音量上ボタン	15
音量下ボタン	15

か

海外利用	66
カメラ	42
画面保存	22
画面録画	23
画面ロック	19
カレンダー	47
機内モード	53
ギャラリー	42
緊急速報「エリアメール」	40
確認	40
削除	40
近接センサー	15
空気穴	15
国際ローミング	66
故障かな？と思ったら	69

さ

材質一覧	8
撮影ライト	15
試供品	69
指紋センサー	15
充電	17
ACアダプタ	18
DCアダプタ	18
パソコン	18
充電ランプ	15
受話口	15

肖像権	77
商標	77
初期設定	19
dアカウント	20
Googleアカウント	19
ズーム	21
スグアプ	27
スグ電設定	27
スケジュール	47
ステータスアイコン	25
ステータスバー	25
ステータスアイコン	25
通知アイコン	26
通知パネル	26
ストラップ取付部	15
ストレージ	56
スピーカー	15
スマホの健康診断	50
スライド	21
スリープモード	19
スワイフ	21
セキュリティ	56
送話口	15
ソフトウェアアップデート	71

た

耐衝撃性能	11
ダイレクトボタン	15、22
タッチパネル	15
タップ	21
知的財産権	77
著作権	77
通知アイコン	26
通知パネル	26
ディスプレイ	15、55
データセーバー	54
テザリング	53
電源	
入れる	19
切る	19
電源ボタン	15
電卓	48
電池	55
電話	33
受ける	34
かける	33
通話設定	35
通話中の操作	34
通話履歴	34
伝言メモ	35
電話帳	36
インポート	37
エクスポート	37
お気に入り	36
グループ	36
電話をかける	36
登録	36
編集	36
ラベル	36
電話ボタン	15、22
時計	46
ドコモデータコピー	48
ドコモのサービス/クラウド	58
ドラッグ	21
トラブルシューティング	69

な

ナビゲーションポータル	29
ネットワークとインターネット	51

は

バイブレーション	55
バッテリーセーバー	23
光センサー	15
比吸収率	75
ファイル操作	62
ブライバナー	56
フリック	21
プロフィール	51
防塵性能	11
防水性能	11
ホーム画面	29
壁紙	29
設定	30
ナビゲーションポータル	29
ホームボタン	15、22
保証	72
歩数計	49
保留	34
本体設定	51

ま

マイク	15
マチキャラ	29
マナーモード	22
水抜き	13
メール	
+メッセージ	38
Gmail	40
緊急速報「エリアメール」	40
ドコモメール	38
メールボタン	15、22
メモ	48
文字入力	23
引用入力	25
切り取り	25
コピー	25
設定	25
トグル入力	24
入力方法切り替え	23
貼り付け	25
フリック入力	24
ユーザー辞書	25
モバイルネットワーク	52

や

ユーザー補助	59
--------	----

ら

ライト	15、50
ラジオ	46
ロングタッチ	21

英数字

APN	53
Bluetooth	63
接続解除	63

接続要求	63
注意	10
登録解除	63
登録要求	63
パスコード	63
ペア設定	63
dマーケット	44
dメニュー	44
FAQ	69
FeliCa	11
Gmail	40
GPS	56
GPS/Wi-Fi/Bluetoothアンテナ	15
microSDカード	17
取り付け	17
取り外し	17
nanoUIMカード	16
注意	9
取り付け	16
取り外し	16
nanoUIMカード/microSDカードトレイ	15
NFC通信	64
NFCリーダー/ライター	11
PINコード	20
PINロック解除コード	20
PUKコード	20
PINロック解除コード	20
Playストア	44
PUKコード	20
SAR	75
SIMロック解除	78
USB Type-C 3.5mmイヤホン変換アダプタ	69
USB Type-C接続端子	15
VPN	54
Wi-Fi	51
Wi-Fi Direct	52
設定	52
注意	10
5G/LTE/FOMAアンテナ	15
+メッセージ	38
削除	39
設定	40
送信	38
転送	39
読む	39

目的から探す

基本操作

電源を入れる／切る	19
画面ロックを解除する	19
マナーモードにする	22
ホーム画面の見かた	29
文字を入力する	24
通知パネルを利用する	26

電話

電話をかける／受ける	33、34
電話帳を利用する	36
電話の履歴を確認する	34
伝言メモを利用する	35
通話音量を調節する	34
着信音、通知音の音量を調節する	55

メール

SMS (+メッセージ) を使う	38
Gmailを使う	40
ドコモメールを使う	38
緊急速報エリアメールを使う	40

インターネット

ホームページを見る	40
ブックマーク (お気に入り) を利用する	41

Wi-Fi

自宅や公共のWi-Fiに接続する	51
------------------	----

カメラ

写真を撮影する	42
動画を撮影する	42
撮影した写真／動画を見る	43

便利な機能

メモ帳を利用する	48
歩数計を利用する	49
スケジュールを利用する	47
おサイフケータイを利用する	44

バックアップ

電話帳や画像などをバックアップする	49
-------------------	----

故障

スマホの健康診断を利用する	50
故障かな?と思ったとき	69
お問い合わせ先	裏表紙

マナーもいっしょに携帯しましょう

本端末を使用する場合は、周囲の方の迷惑にならないように注意しましょう。

こんな場合は必ず電源を切りましょう

■ 使用禁止の場所にいる場合

航空機内や病院では、各航空会社または各医療機関の指示に従ってください。使用を禁止されている場所では、電源を切ってください。

こんな場合は公共モードに設定しましょう

■ 運転中の場合

自動車などを運転中の使用にはご注意ください。法令で定める場合を除き、運転中に本端末の画面を注視したり、手で持って通話することは、罰則の対象となります。

■ 劇場・映画館・美術館・図書館など公共の場所にいる場合

静かにするべき公共の場所で本端末を使用すると、周囲の方への迷惑になります。

使用する場所や声・着信音の大きさに注意しましょう

■ レストランやホテルのロビーなどの静かな場所で本端末を使用する場合は、声の大きさなどに気をつけましょう。

■ 街の中では、通行の妨げにならない場所で使用しましょう。

プライバシーに配慮しましょう

■ カメラ付き端末を利用して撮影や画像送信を行う際は、プライバシーなどにご配慮ください。

歩きながらのスマートフォンの使用はやめましょう

■ スマートフォンや携帯電話の画面を見つめながらの歩行は大変危険です。視野が極端に狭くなり、自分自身だけでなく、周囲の方も巻き込む事故につながることもあります。

■ スマートフォンを使用する際は、安全な場所で立ち止まって使用するようにしてください。

こんな機能が公共のマナーを守ります

かかってきた電話に応答しない設定や、本端末から鳴る音を消す設定など、便利な機能があります。

● マナーモード (→P.XX)

本端末から鳴る音を消します。

● 公共モード (電源OFF) (→P.XX)

電話をかけてきた相手に、電源を切る必要がある場所にいる旨のガイダンスを流し、自動的に電話を終了します。

● バイブ (→P.XX)

電話がかかってきたことを、振動で知らせます。

● 伝言メモ (→P.XX)

電話に出られない場合に、電話をかけてきた相手の方の用件を録音します。

※その他にも、留守番電話サービス (→P. 65)、転送でんわサービス (→P.XX) などのオプションサービスが利用できます。



モバイルリサイクルネットワーク
環境省PSE/グリーンリサイクル

ご不要になった携帯電話などは、自社・他社製品を問わず回収をしていますので、お近くのドコモショップへお持ちください。
※回収対象：携帯電話、PHS、電池パック、充電器、卓上ホルダ (自社・他社製品を問わず回収)

オンラインでのご利用料金・ご利用データ量・ご契約内容の確認・各種お手続きなど

本端末から dメニュー ▶ My docomo

パソコンから My docomo

(<https://www.nttdocomo.co.jp/mydocomo/>)


● システムメンテナンスやご契約内容などにより、ご利用にならない場合があります。

● 「My docomo」のご利用には、「ネットワーク暗証番号」や「dアカウントのID/パスワード」が必要です。

Kyocera
Confidential


総合お問い合わせ先 <ドコモ インフォメーションセンター>

■ドコモの携帯電話からの場合

 (局番なしの) **151** (無料)

※一般電話などからはご利用になれません。

■一般電話などからの場合

 **0120-800-000**


※一部のIP電話からは接続できない場合があります。

受付時間 午前9:00～午後8:00 (年中無休)

- 番号をよくご確認の上、お間違いないようにおかけください。
- 各種手続き、故障・アフターサービスについては、上記お問い合わせ先にご連絡いただくか、ドコモのホームページにてお近くのドコモショップなどをご確認の上、お問い合わせください。
- オンライン修理受付サービスについては、ドコモのホームページをご覧ください。
ドコモのホームページ <https://www.nttdocomo.co.jp/>

故障お問い合わせ・修理お申込み先

■ドコモの携帯電話からの場合

 (局番なしの) **113** (無料)

※一般電話などからはご利用になれません。

■一般電話などからの場合

 **0120-800-000**

※一部のIP電話からは接続できない場合があります。

受付時間 24時間 (年中無休)

海外からのお問い合わせ先 (紛失・盗難・つながらない場合など)

■ドコモの携帯電話からの場合

[+]を画面表示 **-81-3-6832-6600** (無料)

([+]は[0]をロングタッチします。)

※「+」発信のかわりに国際電話アクセス番号でも発信できます。

■一般電話などからの場合

**滞在国の国際電話
アクセス番号** **-81-3-6832-6600** (有料)

※日本向け通話料がかかります。

※国際電話アクセス番号については、ドコモのホームページをご覧ください。

受付時間 24時間 (年中無休)

- 番号をよくご確認の上、お間違いないようにおかけください。
- 紛失・盗難などにあわれたら、速やかに利用中断手続きをお取りください。
- お客様が購入された端末に故障が発生した場合は、ご帰国後にドコモ指定の故障取扱窓口へご持参ください。

ahamo プランをご契約のお客様

■故障等のお問い合わせ

ahamoのホームページ
<https://ahamo.com/>



マナーもいっしょに携帯しましょう。

◎公共の場所で携帯電話をご利用の際は、
周囲の方への心くばりを忘れずに。



危険です、
歩きスマホ。



キケン!
水ぬれ充電



あぶない!
電池への衝撃



Li-ion00

試供品のお問い合わせ先

■京セラお客様相談室

 **0120-500-349** (無料)

受付時間 午前9:00～午後17:00

(土日祝日、所定の休日を除く)

- 番号をよくご確認の上、お間違いないようにおかけください。
- 試供品については、本書内でご確認ください。

Kyocera
Confidential

販売元 株式会社NTTドコモ

製造元 京セラ株式会社

'21.12 (1版)